

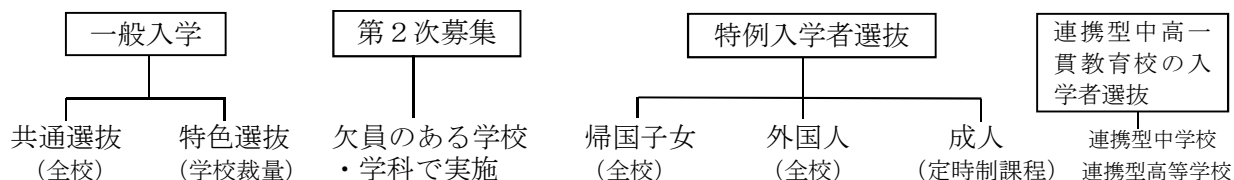
令和6年度

茨城県立高等学校入学者選抜実施細則

茨城県教育委員会

令和5年9月

茨城県立高等学校入学選抜の概要



目次

令和6年度茨城県立高等学校（全日制・定時制）入学選抜日程表	1
I 令和6年度茨城県立高等学校入学選抜実施細則	2
1 応募資格	2
2 募集の課程、学科及び定員	2
3 一般入学	2
4 第2次募集	10
5 定時制課程の追加入学	12
6 県外及び外国からの本県立高等学校への入学を志願する者の取扱い	12
7 転勤保護者の子女のための出願期間の特例	14
8 帰国子女の特例入学選抜	15
9 外国人生徒の特例入学選抜	17
10 定時制課程の成人特例入学選抜	18
11 第2次募集における定時制課程の成人特例入学選抜	19
12 連携型中高一貫教育校の入学選抜	20
13 併設型高等学校の入学選抜	22
14 障害のある受検者等の取扱い	22
15 自己申告書の提出	23
16 出願用紙の配布等	23
II 令和6年度茨城県立水戸南高等学校通信制課程入学選抜実施要項	24
《様式等》	
○ 様式一覧	27
○ 様式第1号～第27号	28
○ 調査書記入上の注意	37
《別表》	
○ 別表1 高等学校別入学選抜実施方法	61
○ 別表2 定時制課程の学力検査等の実施方法	67
○ 別表3 連携型高等学校における選抜資料	67
○ 別表4 実技検査課題等【一般入学（共通選抜）・第2次募集共通】 （普通科スポーツ科学コース、音楽科、美術科及びメディア芸術科）	68
《資料》	
○ 志願手続の概略図	72
○ 志願先変更手続の概略図	73
○ 郵送による出願	74
○ 解答用紙の写しの交付及び学力検査得点の提供方法等	75
○ 隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定	76
○ 入学願書（様式第1号）の記入例	77
○ 水戸桜ノ牧高等学校常北校への志願に係る主な様式の記載例	78
○ 令和6年度茨城県立高等学校入学選抜における特色選抜実施概要一覧	79
○ IT科及び科学技術科における特定教科の傾斜配点（特色選抜）	140
○ 令和6年度茨城県立高等学校入学選抜を実施する高等学校の連絡先一覧	141

※ 実施細則、様式等については、茨城県教育委員会のホームページからダウンロードすることができます。

茨城県教育委員会ホームページ（<https://kyoiku.pref.ibaraki.jp/>）内の「県立学校入試情報」、「高校入試（高等学校）」をご覧ください。

令和6年度茨城県立高等学校（全日制・定時制）入学者選抜日程表

2 月			3 月		
1	木		1	金	
2	金		2	土	
3	土		3	日	
4	日		4	月	
5	月		5	火	
6	火		6	水	
7	水	↑ 一般入学出願期間※ ↓ 正午まで	7	木	追検査(学力検査、定時制課程面接等)
8	木		8	金	追検査(多部制定時制課程面接、共通選抜実技検査、連携型面接等)
9	金		9	土	
10	土		10	日	
11	日	(建国記念の日)	11	月	
12	月	(振替休日)	12	火	合格者の発表(午前9時)
13	火		13	水	↑ 第2次募集出願期間※
14	水		14	木	↓
15	木		15	金	第2次検査
16	金	↑ 志願先の変更※ 転勤子女特例受付 ↓	16	土	
17	土		17	日	
18	日		18	月	
19	月		19	火	第2次合格者の発表(午前9時)
20	火		20	水	(春分の日)
21	水		21	木	
22	木		22	金	
23	金	(天皇誕生日)	23	土	
24	土		24	日	
25	日		25	月	
26	月		26	火	
27	火		27	水	
28	水	一般入学学力検査、定時制課程面接等	28	木	
29	木	特色選抜面接等、多部制定時制課程面接、共通選抜実技検査、連携型面接等	29	金	
<----> 印は、郵送出願受付日			30	土	
			31	日	

※窓口での受付時間は、以下のとおりとします。

2月7日(水)・8日(木) 9:00～16:00、9日(金) 9:00～12:00

2月16日(金)・19日(月) 9:00～16:00

3月13日(水)・14日(木) 9:00～16:00

注 水戸南高等学校通信制課程(単位制)…出願期間 3月8日(金)～3月21日(木)

ただし、土・日・祝日は除く。

受付期間 9:00～16:00

I 令和6年度茨城県立高等学校入学者選抜実施細則

1 応募資格

応募できる者は、次の(1)、(2)及び(3)のいずれかに該当し、かつ、(4)又は(5)に該当する者とする。

(1) 中学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校を卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者

(2) 中等教育学校の前期課程を修了した者又は令和6年3月修了見込みの者

(3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条各号のいずれかに該当する者又は令和6年3月該当見込みの者

※ 学校教育法施行規則第95条第5号により、中学校卒業認定試験を受けようとする入学志願者は、出願期間の前日以前に、志願先高等学校長の指示により、当該認定試験を受けなければならない。

(4) 全日制課程にあつては、原則として保護者とともに県内に居住している者

(5) 定時制課程にあつては、原則として県内に居住地又は勤務地を有する者

※ 定時制課程の単位制高等学校に応募できる過年度卒業者は、高等学校入学経験がないこと又は高等学校での修得単位数の計が18単位未満であることとする。

なお、高等学校での修得単位数の計が18単位以上の者が、定時制課程の単位制高等学校への転編入学を希望する場合は、当該高等学校長の定める転編入学試験によるものとする。

【県外及び外国からの応募】

「6 県外及び外国からの本県県立高等学校への入学を志願する者の取扱い」（P.12）参照

【高等学校等を卒業した者の応募】

既に高等学校等を卒業している者は、卒業した学科と同一の学科に出願することはできない。

2 募集の課程、学科及び定員

各高等学校の募集の課程、学科及び定員については、別に定める。

3 一般入学

すべての高等学校で共通選抜を実施するほか、高等学校の裁量で文化、芸術及び体育等の分野において優れた資質・実績を有する者を対象とする特色選抜を実施することができる。

(1) 志願校及び学科の選択

ア 1校1課程1学科に限る。ただし、次のイ～エの場合においては第2志望まで出願できる。

※ 第2志望まで出願できる学科については、「別表1 高等学校別入学者選抜実施方法」（P.61～P.67）を参照。

イ 農業、工業、商業及び水産に関する学科において、2以上の学科がある場合には、第2志望まで志願できる。

ウ 普通科のコース（筑波高等学校を除く。）を志願する場合は、同一校の普通科を第2志望とすることができる。

エ 多部制の定時制課程の午前の部又は午後の部を志願する場合は、同一校の午前の部又は午後の部を第2志望とすることができる。

オ 特色選抜において合格と判定されなかった受検者については、共通選抜において前記イ～エが適用される。

(2) 出願期間

令和6年2月7日（水）午前9時から午後4時、2月8日（木）午前9時から午後4時及び2月9日（金）午前9時から正午とする。

郵送出願（P.74）の場合は、事前に志願先高等学校長と連絡の上、簡易書留で郵送出願受付期間（令和6年2月6日、7日、8日）必着とする。

(3) 志願の手続

ア 入学志願者（以下「志願者」という。）は、卒業した、修了した、若しくは在籍する中学校、これに準ずる学校、義務教育学校又は中等教育学校（以下「中学校」という。）の校長（以下「中学校長」という。）に、次の書類を提出する。

(ア) 入学願書（様式第 1 号の 1（P. 28））

※ 入学者選抜手数料については、全日制課程は 2,200 円、定時制課程は 950 円に相当する茨城県収入証紙を入学願書の所定の欄に貼る。

なお、出願の段階で入学者選抜手数料の免除を希望する者は、志願先高等学校に問い合わせる。

また、出願後の入学者選抜手数料の還付はできないので注意する。

(イ) 学力検査受検票（様式第 1 号の 2（P. 28））

(ウ) 特色選抜を志願する者は、志願理由書（様式第 10 号（P. 39））を提出する。ただし、IT 科及び科学技術科（以下「IT 科等」という。）の特色選抜志願者は、志願理由書に代えて活動報告書（様式第 27 号の 1（IT 未来高等学校用）（P. 59）又は様式第 27 号の 2（つくばサイエンス高等学校用）（P. 60））を提出する。

(エ) 「解答用紙の写し」等送付用シート（様式第 26 号（P. 58））

イ 中学校長は、志願者から提出された前記アの書類等に、その記載事項に誤りのないことを確認の上、調査書とともに入学志願者書類送付書（様式第 21 号（P. 52））を添えて、志願先高等学校長あて提出する。

なお、中央高等学校の普通科スポーツ科学コースへの志願者については、普通科〔スポーツ科学コース〕実技検査受検者一覧・健康状況証明書（様式第 2 号（P. 30））を中学校ごとに一括作成し、入学願書に添えて提出する。

ウ 入学願書を受理した高等学校長は、中学校長を経由して学力検査受検票を志願者に交付する。

(4) 調査書の作成

ア 調査書（様式第 9 号（P. 36））は、中学校ごとに校長を委員長とする調査書作成委員会を設け、「調査書記入上の注意」（P. 37）に基づいて作成する。

イ 平成 30 年 3 月以前の卒業生（中学校卒業後 5 年を経過した者）の調査書については、中学校生徒指導要録の「学籍に関する記録」とその他必要事項を記入する。

なお、中学校卒業後 20 年を経過した者については、卒業証書授与台帳等により、記入する。

(5) 志願先の変更

志願先高等学校の変更を希望する者（以下「志願変更者」という。）及び同一校内における課程・学科の変更を希望する者（以下「志望変更者」という。）は、令和 6 年 2 月 16 日（金）及び 2 月 19 日（月）（午前 9 時から午後 4 時）の志願先変更期間内において、次の手続により、1 回に限り志願先（志望先）を変更することができる。また、この期間内に特色選抜への志願を取りやめたり、新たに特色選抜に志願したりすることができる。

ア 志願変更者

(ア) 志願変更者は、志願変更届（様式第 3 号（P. 31））に、すでに交付された学力検査受検票を添えて、中学校長を経由して旧志願先高等学校長に提出する。

(イ) 前記(ア)の書類を受理した旧志願先高等学校長は、志願取消証明書（様式第 4 号（P. 31））を志願変更者に交付する。

(ウ) 志願変更者は、新たに入学願書を作成し志願取消証明書を添えて、中学校長を経由して新志願先高等学校長に提出する。この際、中学校長は新たに作成した調査書を併せて提出する。

なお、特色選抜に志願する者は、併せて志願理由書〈様式第 10 号 (P. 39) 〉を提出する。
ただし、I T 科等の特色選抜志願者は、志願理由書に代えて活動報告書〈様式第 27 号の 1 (P. 59) 又は様式第 27 号の 2 (P. 60) 〉を提出する。

(エ) 前記(ウ)の書類を受理した新志願先高等学校長は、志願変更者に、新たに学力検査受検票を交付する。

(オ) 全日制課程から全日制課程、全日制課程から定時制課程及び定時制課程から定時制課程への志願変更については、新たに作成する入学願書に入学選抜手数料分の茨城県収入証紙を貼る必要はないが、定時制課程から全日制課程への志願変更に関し、差額分 1,250 円に相当する茨城県収入証紙を所定の欄に貼る。

イ 志望変更者

(ア) 志望変更者は、志望変更届〈様式第 5 号 (P. 32) 〉及び新たに作成した入学願書に、すでに交付された学力検査受検票を添えて、中学校長を経由して志願先高等学校長に提出する。

なお、特色選抜に志願する者は、併せて志願理由書〈様式第 10 号 (P. 39) 〉を提出する。
ただし、I T 科等の特色選抜志願者は、志願理由書に代えて活動報告書〈様式第 27 号の 1 (P. 59) 又は様式第 27 号の 2 (P. 60) 〉を提出する。

※ 同一校内における特色選抜から共通選抜への変更及び共通選抜から特色選抜への変更については、志望変更者として扱うこととする。

(イ) 前記(ア)の書類を受理した志願先高等学校長は、志望変更者に、新たな学力検査受検票及び志望変更届受理証〈様式第 6 号 (P. 32) 〉を交付する。

(ウ) 定時制課程から全日制課程への志望変更者に限り、新たに提出する入学願書に入学選抜手数料の差額 1,250 円に相当する茨城県収入証紙を所定の欄に貼る。

ウ 普通科スポーツ科学コースへの変更

普通科スポーツ科学コースに志願先又は志望先を変更しようとする者については、普通科〔スポーツ科学コース〕実技検査受検者一覧・健康状況証明書〈様式第 2 号 (P. 30) 〉を中学校ごとに一括作成し、前記(5)ア又はイの手続をとる際に、志願先高等学校長に提出する。

(6) 志願の取消し

出願後、志願取消しをする場合は、志願先変更期間に関わらず、速やかに、中学校長を経由して志願取消届〈様式第 7 号 (P. 33) 〉に学力検査受検票を添えて、学力検査前日までに志願先高等学校長に提出するものとする。

(7) 入学者の選抜

中学校長から提出された調査書、学力検査の成績等及びその他選抜に関する資料を参考とし、各高等学校、学科等の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して行うものとする。

※ 自己申告書〈様式第 20 号 (P. 50) 〉が提出された場合は、選抜資料に加える。不登校等及び障害があることにより不利益な取扱いをしないこと。

ア 共通選抜

(ア) 学力検査

- ① 入学志願者は、茨城県立高等学校進学学力検査（以下「学力検査」という。）を受けなければならない。
- ② 学力検査の実施
 - a 学力検査は、国語、社会、数学、理科及び外国語（英語）の 5 教科とする。ただし、定時制課程においては、学力検査を国語、数学及び外国語（英語）の 3 教科とすることができる。
 - b 出題内容は、中学校学習指導要領に基づくものとする。
 - c 外国語（英語）の検査に当たっては、校内放送による「聞き取りテスト」を含める。
 - d 1 教科当たりの検査時間は、50 分間とする。
 - e 1 教科当たりの配点は、100 点満点とする。
- ③ 期日等は、次のとおりとする。
 - a 期日 令和 6 年 2 月 28 日（水）
 - b 集合時間等 午前 8 時 40 分までに志願先高等学校に集合する。
 - c 時間割

項目 \ 時限	第 1 時	第 2 時	第 3 時	昼 食	第 4 時	第 5 時
検査時間等	9:20 ～10:10	10:30 ～11:20	11:40 ～12:30	12:30 ～13:20	13:20 ～14:10	14:30 ～15:20
教科名	外国語 (英語)	国語	数学		社会	理科

- ④ 定時制課程における学力検査等については、「定時制課程の学力検査等の実施方法」（別表 2）（P. 67）のとおりとする。
- ⑤ 検査教科のうち、1 教科でも受検しなかった一部教科受検者は、学力検査を放棄したものとし、ただし、病気等正当な事由により、一部受検できなかった者は、学力検査を受検したものとし、みなす。
- ⑥ 検査時、検査室へは、受検票及び H B、B 又は 2 B の黒鉛筆、消しゴム、コンパス、三角定規（以上は必ず持参する。）、下敷き及び鉛筆削り等の文具のほかは持ち込まない。
 - ※ 鉛筆は、シャープペンシルも可とする。
 - ※ 時計及び携帯電話等は、検査室に持ち込まない。
 - ※ 昼食及び上履きは各自用意する。

(イ) 実技検査

次の各高等学校の学科、コースの志願者は、令和 6 年 2 月 29 日（木）午前 9 時 10 分から実施する実技検査を受けなければならない。

- ① 水戸第三高等学校音楽科
- ② 笠間高等学校美術科及びメディア芸術科
- ③ 中央高等学校普通科スポーツ科学コース
- ④ 取手松陽高等学校音楽科及び美術科

※ 受検者は午前 8 時 40 分までに志願先高等学校に集合する。各高等学校の実技検査課題及び携行品等については、「実技検査課題等」（別表 4）（P. 68）のとおりとする。

(ウ) 面接等

- ① 全日制課程においては、実施しない。
- ② 定時制課程においては、実施することができる。ただし、学力検査を国語、数学及び外国語（英語）の３教科とする定時制課程においては、実施するものとする。
なお、学力検査を３教科とし、面接を実施する定時制課程の高等学校については、さらに作文を実施することができる。
- ③ 面接や作文を実施する定時制課程においては、令和６年２月２８日（水）、学力検査終了後に志願先高等学校で行う。
なお、学力検査を３教科とした定時制課程の面接や作文は午後１時２０分から行う。
ただし、多部制の定時制課程における面接は、令和６年２月２９日（木）に志願先高等学校で午前９時１０分から行う。
- ④ 定時制課程の面接、作文の結果については選抜の資料とするものとし、実施については、「定時制課程の学力検査等の実施方法」（別表２）（P.67）のとおりとする。

(エ) その他

(イ)の実技検査及び(ウ)の面接等を受検しなかった者の取扱いについては、前記(ア)の⑤（P.5）に準ずる。

イ 特色選抜

(ア) 応募資格

特色選抜に応募できる者は、前記「１ 応募資格」（P.2）に定める応募資格を有する者で、文化、芸術、体育、奉仕活動及び生徒会活動のいずれかの分野において優れた資質・実績を有し、かつ、各高等学校において定める出願要件を満たす者とする。

(イ) 募集人員

特色選抜枠は、すべての学科において、募集定員の５０パーセントを上限とする。

※ 特色選抜を実施する各高等学校の実施の課程、学科及び募集人員については、別に定める。

(ウ) 面接等の期日等

- ① 期日 令和６年２月２９日（木）
- ② 集合時間等

午前８時４０分までに志願先高等学校に集合し、面接等は午前９時１０分から行うこととする。詳細については各高等学校の計画により実施する。

なお、ＩＴ科等の志願者においては、当該校が示す集合時間等の計画に従うこととする。

(エ) 選抜資料

- ① 特色選抜を実施する学科においては、前記アの(ア)（P.5）の学力検査に加えて、特色選抜の志願者に対して面接を実施するほか、作文、実技検査を実施することができる。
なお、ＩＴ科等の志願者に対しては、面接に代えてプレゼンテーションを実施することができる。

- ② すべての特色選抜実施校において、調査書、学力検査の成績、面接（ＩＴ科等のプレゼンテーションを含む。）の結果を選抜資料とするほか、作文、実技検査を実施する学校・学科においては、その結果を選抜資料に加える。

なお、各高等学校の選抜資料については、「高等学校別入学者選抜実施方法」（別表１）（P.61～P.67）のとおりとする。

※ 志願理由書（様式第１０号（P.39））及び活動報告書（様式第２７号の１（P.59）又は（様式第２７号の２（P.60））の取扱いについては、面接（ＩＴ科等のプレゼンテーションを含む。）を補完するものとする。

- ③ 特色選抜における面接等を受検しなかった者については、特色選抜の合否判定の対象としない。ただし、病気等正当な事由により受検しなかった者については、特色選抜の合否判定の対象とする。

ウ 追検査

(ア) 対象者は次のとおりとする。

共通選抜に係る検査等について、インフルエンザなど学校保健安全法（昭和 33 年法律第 56 号）第 19 条で出席停止の扱いが定められている感染症、急な入院等、やむを得ない事由により、受検することができなかった者。

(イ) 共通選抜学力検査、特色選抜学力検査及び定時制課程における学力検査等の追検査については、前記アの(ア) ②から⑥（P.5）に準ずる。（ただし、令和 6 年 2 月 28 日（水）に実施する学力検査の問題とは異なる問題とする。）期日等は、次のとおりとする。

① 期日 令和 6 年 3 月 7 日（木）

② 集合時間等 午前 8 時 40 分までに志願先高等学校に集合するものとする。

③ 時間割

時限 項目	第 1 時	第 2 時	第 3 時	昼 食	第 4 時	第 5 時
検査時間等	9:20 ～10:10	10:30 ～11:20	11:40 ～12:30	12:30 ～13:20	13:20 ～14:10	14:30 ～15:20
教科名	外国語 (英語)	国語	数学		社会	理科

(ウ) 共通選抜実技検査の追検査については、前記アの(イ)（P.5）と同様とし、令和 6 年 3 月 8 日（金）午前 9 時 10 分から行う。

(エ) 面接等の追検査については、前記アの(ウ)①②④（P.6）に準ずる。期日等は、次のとおりとする。

面接や作文を実施する定時制課程においては、令和 6 年 3 月 7 日（木）、学力検査の追検査終了後に志願先高等学校で行う。

なお、学力検査を 3 教科とした定時制課程の面接や作文は午後 1 時 20 分から行う。

また、多部制の定時制課程における面接は、令和 6 年 3 月 8 日（金）に志願先高等学校で午前 9 時 10 分から行う。

ただし、前記イの(ウ)（P.6）の特色選抜における面接等については、追検査の対象としない。

(オ) 中学校長は、追検査の受検を希望する者が出た場合には、学力検査の追検査の受検希望については令和 6 年 2 月 28 日（水）の午前 8 時 40 分までに、共通選抜実技検査及び多部制の定時制課程における面接の追検査の受検希望については令和 6 年 2 月 29 日（木）の午前 8 時 40 分までに、志願先高等学校長に電話で報告する。

(カ) 中学校長は、電話で追検査の受検希望を志願先高等学校長に報告後、追検査申請書（様式第 25 号の 1（P.56））に交付済みの学力検査受検票と原則として医師の診断書（加療期間の明記されたもの）を添えて、学力検査の追検査の受検希望については令和 6 年 2 月 29 日（木）の午後 4 時までに、共通選抜実技検査及び多部制の定時制課程における面接の追検査の受検希望については令和 6 年 3 月 1 日（金）の午後 4 時までに、志願先高等学校長へ提出する。

(キ) 追検査申請書を受理した高等学校長は、追検査申請書等の書類を確認し、追検査許可書（様式第 25 号の 2（P.56））を志願者に交付する。

なお、提出のあった学力検査受検票は、確認後、志願者に返却する。

(ク) 合否判定方法及び合格者の発表は、共通選抜と同様に行うものとする。

(8) 合否判定方法

ア 特色選抜

特色選抜の合格者の決定は、次のように行う。

- (ア) 特色選抜に出願した受検者について、調査書、学力検査の成績、面接（ＩＴ科等のプレゼンテーションを含む。）の結果及びその他選抜に必要な資料を総合して合格者を決定する。学力検査以外の選抜資料の配点等、選抜方法の詳細については各高等学校が定める。

なお、ＩＴ科等においては、学力検査の数学及び理科の成績について傾斜配点を行うこととし、その配点は各高等学校が定める。ただし、学力検査の配点（500点満点。ＩＴ科等においては、700点満点。）を含む選抜資料の総合得点の満点については、1,200点を超えないものとする。

- (イ) 特色選抜において合格と判定されなかった受検者については、特色選抜に出願しなかった他の受検者と併せて、「イ 共通選抜」により合否判定を行う。

イ 共通選抜

一般入学志願者のうち、「ア 特色選抜」で合格と判定された者を除く受検者の合否判定は、次のように行う。

- (ア) 共通選抜の対象となる受検者全員について、学力検査の得点合計の高い順に並べる。ただし、普通科スポーツ科学コース、音楽科、美術科及びメディア芸術科においては、実技検査の得点を学力検査の得点に加える。

なお、実技検査の満点は、100点、200点、300点の中から各学校が定め、次のとおりとする。

学校	学科（実技検査の満点）
水戸第三高等学校	音楽科（100点）
笠間高等学校	美術科（200点）、メディア芸術科（200点）
中央高等学校	普通科スポーツ科学コース（100点）
取手松陽高等学校	音楽科（200点）、美術科（200点）

- (イ) 共通選抜の対象となる受検者全員について、調査書の評定合計（3年間）の高い順に並べる。

- (ウ) 同一人について、(ア)の順位が募集定員から特例入学者選抜枠及び特色選抜枠の合格者数を引いた数の80パーセント以内、かつ、(イ)の順位が募集定員から特例入学者選抜枠及び特色選抜枠の合格者数を引いた数以内にある者をA群とし、残りをB群とする。

- (エ) A群に属する者は、原則として合格とする。ただし、調査書の記載事項又は学力検査の結果に特に問題のある者は保留とし、B群に加える。

- (オ) B群に属する者のうちから合格者を選抜する方法は、次のとおりとし、その人数は募集定員から特例入学者選抜枠及び特色選抜枠の合格者数を引いた数から(エ)による合格者数を差し引いた人数（これを α とする。）とする。

- ① α のおよそ x パーセントに当たる人数は、学力検査の結果を重視した選抜により、合格者を決定する。
- ② α のおよそ $(100-x)$ パーセントに当たる人数は、調査書の記録を重視した選抜により、合格者を決定する。
- ③ x は20から80の範囲内で各高等学校が決定し、学力検査重視の選抜と調査書重視の選抜で合格する人数の比率は、20:80、30:70、40:60、50:50、60:40、70:30、80:20の中から各高等学校が定める。

なお、各高等学校の比率等については、「高等学校別入学者選抜実施方法」（別表 1）（P. 61～P. 67）のとおりとする。

(カ) (ウ)において、B群に属する者のうちから合格者を選抜する方法の詳細については各高等学校が定める。

① 各高等学校は、調査書重視の選抜で利用する評定以外の記載項目を、1項目以上利用する。

② 調査書に記載された内容で「高等学校別入学者選抜実施方法」に記入されていない項目についても、各高等学校において選抜の資料として参考にする。

(キ) 前記(エ)及び(ウ)により選抜した者を合格とする。

(ク) 前記(ア)から(カ)までにおいて、受検者数が募集定員内にあるときには、「募集定員」を「受検者数」と読み替えて選抜する。

(ケ) 第1志望において合格と判定されなかった受検者については、定員を満たしていない第2志望の学科において選抜する。

【例】共通選抜における合格者の決め方

（募集定員から特列入学者選抜枠及び特色選抜枠の合格者数を引いた数が100人の場合）

① はじめに、A群を決める。

学力検査		調査書	
順位	受検番号	順位	受検番号
1	〇〇〇	1	△△△
2	△△△	2	〇〇〇
3	×××	3	◇◇◇
⋮	⋮	⋮	⋮
80	⋮	⋮	⋮
80	↑	⋮	⋮
82	⋮	⋮	⋮
⋮	◇◇◇	⋮	●●●
⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	●●●	100	↑
⋮	⋮	101	⋮
⋮	⋮	⋮	×××
⋮	⋮	⋮	⋮

学力検査順位が
80位以内で、
かつ、調査書順位
が
100位以内の者

↓

70人

いたとする。

これは原則合格とする。

② 次に、B群の中から、残りの人員 $(100 - 70) = 30$ 人について、学力検査重視、調査書重視の2つの方法を使って合格者を決定する。その際、学力検査重視の選抜と調査書重視の選抜で合格する人数の比率は、各高等学校が決めるが、例えば、60:40とした高等学校の場合では、学力検査重視で18人、調査書重視で12人を合格とする。

ウ 次の場合の入学者選抜については、特例的な処理を行うこととする。

(ア) 帰国子女及び過年度卒業者等で調査書の記載に不足がある場合は、高等学校で利用する項目のうち不足している項目を除いて、受検者全体の処理を行う。

(イ) 帰国子女の特列入学者選抜（P. 15）参照

(ロ) 外国人生徒の特列入学者選抜（P. 17）参照

(エ) 定時制課程の成人特列入学者選抜（P. 18）参照

エ その他選抜に当たり必要な事項は、茨城県教育委員会教育長（以下「教育長」という。）が高等学校長に指示する。

(9) 合格者の発表

令和6年3月12日（火）午前9時にインターネット上の合格発表用Web ページにおいて合格者の受検番号を発表する。閲覧方法については受検者本人に通知する。

なお、合格者には、中学校長を経由して、合格通知書〈様式第11号（P.40）〉を交付する。

また、合格通知書の受領に当たって中学校長は、「合格通知書受領証」〈様式第23号（P.54）〉を高等学校長に提出する。

4 第2次募集

合格者が募集定員に満たない学科（コースを含む。）について、第2次募集を実施することとし、第2次募集を行う学校、課程及び学科については、令和6年3月12日（火）午後2時以降に県教育委員会のホームページで発表する。

ただし、第2次募集においては、特色選抜は実施しない。

(1) 応募資格

ア 前記「1 応募資格」（P.2）に定めるところによるものとする。

イ 前記「3 一般入学」の(7)アの(ア)（P.5）に定める学力検査受検の有無にかかわらず出願できる。ただし、公立高等学校に合格した者は出願できない。

(2) 志願校及び学科の選択

前記「3 一般入学」の(1)（P.2）に定めるところによるものとする。

(3) 出願期間

令和6年3月13日（水）及び3月14日（木）午前9時から午後4時とする。

※ 郵送出願は、認めない。

(4) 志願の手続

前記「3 一般入学」の(3)（P.3）に準じて行うものとする。その際、原則として志願者又は保護者が、必要書類を一括して、第2次募集入学志願者書類送付書〈様式第22号（P.53）〉を添えて提出するものとする。

ア 第2次募集入学願書は、様式第19号の1（P.48）を用いるものとする。

※ 入学者選抜手数料は、新たに納入しなければならない。

イ 調査書をすでに提出済の高等学校に出願する場合は、調査書を再度提出する必要はない。

ウ 当該年度の一般入学学力検査の結果を、第2次募集において参考資料とする学科（コースを含む。）に出願する場合は、一般入学学力検査の合格発表（令和6年3月12日（火））後に自宅へ送付される「解答用紙の写し」及び「解答用紙の写し」等送付用シートを提出する。また、当該高等学校長は、提出された「解答用紙の写し」及び「解答用紙の写し」等送付用シートをコピーした後、直ちに返却する。

(5) 志願先の変更

志願先（志望先）の変更はできない。

(6) 調査書の作成

前記「3 一般入学」の(4)（P.3）に準じて作成する。

(7) 入学者の選抜

中学校長から提出された調査書、面接の結果等及びその他選抜に関する資料を参考とし、各高等学校、学科等の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して行うものとする。

※ 自己申告書〈様式第 20 号 (P. 50)〉が提出された場合は、選抜資料に加える。不登校等及び障害があることにより不利益な取扱いをしないこと。

ア 第 2 次検査の期日等

(ア) 期日 令和 6 年 3 月 15 日 (金)

(イ) 集合時間等

午前 8 時 40 分までに志願先高等学校に集合し、面接等は午前 9 時 10 分から行うこととする。詳細については各高等学校の計画により実施する。

イ 選抜方法

(ア) 選抜資料等

① 第 2 次募集を実施するすべての学科において、面接を行い、調査書及び面接の結果を選抜資料とする。

なお、面接方法は、個別面接とする。

② 普通科のスポーツ科学コース、音楽科、美術科及びメディア芸術科については、前記「3 一般入学」の(7)アの(イ) (P. 5) に準じて実技検査を行い、その結果を選抜資料に加える。実技検査の課題及び携行品等については、「実技検査課題等」(別表 4) (P. 68) のとおりとする。

③ 各高等学校の裁量で、作文を実施し、その結果を選抜資料に加えることができるほか、当該年度の一般入学学力検査の結果を参考資料とすることができる。

※ 一般入学学力検査の結果については、点数化せず、参考扱いとし、不利益な取扱いをしないこと。
なお、一般入学学力検査の結果がない者については、その理由を第 2 次募集入学願書(様式第 19 号の 1 (P. 48)) に記入する。

(イ) 配点

各高等学校が定める。ただし、調査書及び面接の配点については、各 200 点以上とし、配点の合計については、400 点以上 700 点以下とする。

ウ その他

面接等を受検しなかった者の取扱いについては、前記「3 一般入学」の(7)アの(ア)⑤(P. 5) に準ずる。

(8) 合否判定方法

調査書、面接の結果及びその他選抜に必要な資料を総合して合格者を決定する。各高等学校の選抜資料の配点等、選抜方法の詳細については、令和 5 年 10 月下旬以降、県教育委員会ホームページに掲載する。

(9) 合格者の発表

令和 6 年 3 月 19 日 (火) 午前 9 時、志願先高等学校において合格者の受検番号を発表する。

なお、合格者には、中学校長を経由して、合格通知書〈様式第 11 号 (P. 40)〉を交付する。

また、合格通知書の受領に当たって中学校長は、「合格通知書受領証」〈様式第 23 号 (P. 54)〉を高等学校長に提出する。

5 定時制課程の追加入学

やむを得ない事由により第2次募集時に志願又は受検をできなかった者が定時制課程に入学を希望した場合、当該高等学校長は、合格者数が募集定員に達していないときに限り、次により入学を許可することができる。

(1) 応募資格、志願校及び学科の選択、志願の手続並びに調査書の作成

前記「4 第2次募集」の(1)、(2)、(4)及び(6) (P. 10) に準ずる。

(2) 選抜方法

教育長の指示するところによる。

(3) 選抜結果

本人あてに通知する。

(4) 入学許可期限

令和6年4月9日（火）とする。

6 県外及び外国からの本県県立高等学校への入学を志願する者の取扱い

(1) 隣接県で本県に隣接する通学区域等に居住する者が出願する場合

ア 出願の条件

隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定 (P. 76) 及び同協定第5条の規定に基づく令和6年度細部協定書の定めによる。

イ 出願に必要な書類

他の公立高等学校を併願しない旨の証明書〈様式第24号 (P. 55) 〉

ウ 出願の手続

アに該当する者は、前記「3 一般入学」の(3) (P. 3) に従い、イの証明書を添え、中学校長を経由して必要書類を志願先高等学校長に提出しなければならない。

(2) 県外（(1)の場合を除く。）及び外国から出願する場合

ア 出願の条件

保護者がすでに県内に居住している場合又は保護者が子女等の志願先高等学校の入学日までに、県内に転入することが証明される場合は、出願することができる。ただし、定時制課程については、志願者がすでに県内に勤務している場合又は勤務することになる場合も出願できる。

イ 出願に必要な書類

(ア) 県外等からの転入先等証明書〈様式第15号 (P. 44) 〉

(イ) 転入先の住居を証明する書類

① すでに持家がある場合

家屋の「登記簿謄本」、「登記簿抄本」又は「登記事項証明書」いずれかの写し

② 新築完成予定の場合

「建築確認済証」又は「工事請負契約書」いずれかの写し

③ 新築完了の場合

「検査済証」（市町村役場）の写し

④ 買取りの場合

「売買契約書」の写し

⑤ 賃借の場合

「不動産賃貸借契約書」等の写し

⑥ 社宅等の場合

会社（管理責任者等）が証明したものの写し

※ 住民票を転入先の住居を証明する書類とすることはできない。

ウ 出願の手続

(ア) 保護者

- ① 志願先高等学校から入学願書・学力検査受検票、調査書及び「解答用紙の写し」等送付用シートの用紙の交付を受ける。

※ 出願に要する書類は、志願先高等学校において、令和5年12月1日（金）から交付する。

- ② 入学願書・学力検査受検票に必要な事項を記入し、転入先の住居を証明する前記イの(イ) (P. 12)の書類を添えて、中学校長に提出する。

※ 写しによる証明書類の提出に当たっては、照合のために原本を中学校長に提示する。

- ③ 入学者選抜手数料は、あらかじめインターネット（いばらき電子申請・届出サービス）によりクレジットカードやPay-easy（ペイジー）で納付し、入学願書の茨城県収入証紙貼付欄に「電子納付済」と記入する。又は、入学願書の指定欄に茨城県収入証紙を貼付し納付する（消印はしない）。

※ 入学願書に貼る茨城県収入証紙の販売所については、茨城県会計事務局会計管理課のホームページ（<https://www.pref.ibaraki.jp/kaikei/kaikanri/syoshi.html>）を参照。

※ 出願の段階で入学者選抜手数料の免除を希望する者は、志願先高等学校に問い合わせる。
また、出願後の入学者選抜手数料の還付はできないので注意する。

(イ) 中学校長

- ① 入学願書・学力検査受検票の記載事項及び証明書類の確認を行う。
- ② 写しによる証明書類については、原本と照合する。
- ③ 前記事項確認・照合の上、県外等からの転入先等証明書（様式第15号(P. 44)）を作成する。
- ④ 県外等からの転入先等証明書及び転入先の住居を証明する書類を、入学願書、調査書等とともに一括厳封の上、前記「3 一般入学」の(2) (P. 2)に定められている出願期間内に志願先高等学校長に提出する。

なお、調査書等は、本県所定の様式により作成する。

(3) 定時制課程における県外からの応募資格の特例

ア 出願の条件

前記(1)ア (P. 12) 及び(2)ア (P. 12) に定めるほか、県外から本県県立高等学校の定時制課程に志願する者が県内に勤務していない未成年者の場合も、身元引受人がいれば、出願できる。

※ 定時制課程の応募資格については、前記「1 応募資格」の(5) (P. 2) を参照。

イ 出願に必要な書類

前記「3 一般入学」の(3) (P. 3) に従い、次の書類を添え、必要書類を志願先高等学校長に提出しなければならない。

(ア) 県外等からの転入先等証明書（様式第15号 (P. 44) ）

(イ) 身元引受人承諾書（様式第16号 (P. 45) ）

(ウ) 転入先の住居を証明する書類

前記(2)イの(イ) (P. 12) に同じ。

ウ 出願の手続

前記「(2) 県外（(1)の場合を除く。）及び外国から出願する場合」のウ (P. 13) に従って行う。

(4) 全国からの出願を認める学科の特例

ア 出願の条件

太子清流高等学校農林科学科、海洋高等学校の海洋技術科、海洋食品科、海洋産業科、大洗高等学校普通科音楽コース及び真壁高等学校農業・環境緑地科については、該当の学科に対する目的意識が強く入学日までに身元引受人がいることを条件に、全国から出願できる。

イ 出願に必要な書類

前記「3 一般入学」の(3) (P. 3) に従い、次の書類を添え、必要書類を志願する高等学校長に提出しなければならない。

(ア) 県外等からの転入先等証明書〈様式第 15 号 (P. 44) 〉

(イ) 身元引受人承諾書〈様式第 16 号 (P. 45) 〉

(ウ) 全国募集志願理由書〈様式第 17 号 (P. 46) 〉

(エ) 転入先の住居を証明する書類

前記(2)イの(イ) (P. 12) に同じ。

※ (イ)及び(エ)は入学日までに提出すればよい。

ウ 出願の手続

前記「(2) 県外 ((1)の場合を除く。) 及び外国から出願する場合」のウ (P. 13) に従って行う。

7 転勤保護者の子女のための出願期間の特例

(1) 対象

出願期間（令和 6 年 2 月 7 日（水）、2 月 8 日（木）及び 2 月 9 日（金））を過ぎてからの保護者の転勤に伴う一家転住により、高等学校入学後の通学に支障が生じるため、本県県立高等学校を新たに志願する者。

(2) 出願期間

令和 6 年 2 月 16 日（金）及び 2 月 19 日（月）午前 9 時から午後 4 時とする。

(3) 出願書類及び提出先

前記(1)に該当する者は、次の(ア)から(オ)までの書類を一括し、中学校長を経由して、志願先高等学校長に提出しなければならない。

(ア) 入学願書〈様式第 1 号 (P. 28) 〉、調査書〈様式第 9 号 (P. 36) 〉及び「解答用紙の写し」等送付用シート〈様式第 26 号 (P. 58) 〉

※ 入学願書及び調査書は、必ず本県所定の様式による。（志願先高等学校で交付）

(イ) 県外等からの転入先等証明書〈様式第 15 号 (P. 44) 〉

(ウ) 転入先の住居を証明する書類

前記「6 県外及び外国からの本県県立高等学校への入学を志願する者の取扱い」の(2)イ(イ) (P. 12) に同じ。

(エ) 保護者の勤務先の発行する転勤（転勤予定）証明書（任意様式）

(オ) 公立高等学校にすでに出席している者又は合格等している者は、当該高等学校長の発行する志願取消証明書（任意様式）又は合格等取消証明書（任意様式）

8 帰国子女の特例入学者選抜

帰国子女のために、次により帰国子女の特例入学者選抜（以下「帰国子女特例選抜」という。）を行う。

(1) 応募資格

前記「1 応募資格」（P. 2）に定める応募資格を有する者で、かつ、次のア、イ及びウに該当する者とする。

ア 令和4年3月1日から入学時まで帰国した者又は帰国見込みの者で、その帰国時からさかのぼり、外国における在学期間が継続して2年以上の者

イ 全日制課程にあっては、原則として保護者とともに県内に居住している者又は入学時までに居住見込みの者、定時制課程にあっては、原則として県内に居住地若しくは勤務地を有する者又はその予定の者

ウ 令和6年度入学者選抜において、他の公立高等学校に出願しない者

(2) 実施の課程、学科及び募集人員

ア 全校の全日制課程及び定時制課程で実施する。

イ 募集人員は、全日制課程及び定時制課程それぞれについて、1校につき、全学科を合わせて2人以上とする。

※ 各高等学校の実施の課程、学科及び募集人員については、別に定める。

(3) 出願期間

令和6年2月7日（水）午前9時から午後4時、2月8日（木）午前9時から午後4時及び2月9日（金）午前9時から正午とする。

郵送出願（P. 74）の場合は、事前に志願先高等学校長と連絡の上、簡易書留で郵送出願受付期間（令和6年2月6日、7日、8日）必着とする。

(4) 志願の手続

入学願書等は、中学校長を経由して、志願先高等学校長に提出しなければならない。その手続は次のとおりとする。

ア 入学志願者は、入学願書、帰国子女特例入学者選抜海外在住状況説明書（以下「帰国子女海外在住説明書」という。）〈様式第12号（P. 41）〉及び「解答用紙の写し」等送付用シート〈様式第26号（P. 58）〉を中学校長に提出する。

※ 入学者選抜手数料については、全日制課程は2,200円、定時制課程は950円に相当する茨城県収入証紙を入学願書の所定の欄に貼る。

なお、出願に要する書類は、志願先高等学校において、令和5年12月1日（金）から交付する。

イ 中学校長は、提出された入学願書及び帰国子女海外在住説明書について、その記載事項に誤りのないことを確認し、調査書を添えて志願先高等学校長あて、前記(3)に定める出願期間内に提出する。

ウ 前記イの書類を受理した高等学校長は、学力検査受検票を入学志願者に交付する。

エ 外国から本県県立高等学校への入学を志願し、帰国子女特例選抜を志願する者の取扱い、前記「6 県外及び外国からの本県県立高等学校への入学を志願する者の取扱い」の(2)（P. 12）と同じとする。

(5) 志願先の変更

ア 志願先（志望先）変更の手続は、前記「3 一般入学」の(5)（P.3）に定めるところに準ずる。

イ 帰国子女特例選抜に出願した者で志願先（志望先）の変更を希望する者は、同一校内における他の課程・学科、一般入学又は他の高等学校へ、1回に限り志願先（志望先）を変更することができる。ただし、一般入学に出願している者が帰国子女特例選抜へ変更することはできない。

ウ 旧志願先高等学校長は、帰国子女海外在住説明書を志願先変更者に返却する。

エ 他の高等学校の帰国子女特例選抜へ志願先を変更する者は、新たに作成した入学願書及び調査書に帰国子女海外在住説明書を添えて、中学校長を経由し新志願先高等学校長に提出する。

※ 一般入学へ志願先（志望先）を変更する場合は、帰国子女海外在住説明書を提出する必要はない。

(6) 転勤保護者の子女のための出願期間の特例

帰国子女特例選抜に志願する者については、前記「7 転勤保護者の子女のための出願期間の特例」の(1)（P.14）に定めるところにより、入学願書等の提出について特例の扱いを行う。

(7) 調査書の作成

前記「3 一般入学」の(4)（P.3）に定めるところによる。

この場合、帰国子女特例選抜に出願する者と一般入学に出願する者とは区別して取り扱わないものとする。

なお、本県所定の調査書が提出できない場合は、外国における最終学校の成績証明書等で代えることができる。

(8) 学力検査及び面接等

ア 帰国子女特例選抜に志願する者は、志願先高等学校において学力検査及び面接を受けなければならない。

なお、前記「3 一般入学」の(7)アの(イ)①～④（P.5）を志願する者は、実技検査を受けなければならない。

イ 学力検査は、国語、数学及び外国語（英語）とし、一般入学において行うものと同一の問題で同一の時間に行う。

ウ 面接は学力検査終了後に行う。

エ 期日等

(7) 期日 令和6年2月28日（水）

(イ) 集合時間等 午前8時40分までに志願先高等学校に集合するものとする。

(ウ) 時間割

項目 \ 時限	第1時	第2時	第3時	昼食	第4時
検査時間等	9:20 ～10:10	10:30 ～11:20	11:40 ～12:30	12:30 ～13:20	13:20～
教科名	外国語 (英語)	国語	数学		面接

オ 実技検査は、前記「3 一般入学」の(7)アの(イ)（P.5）に準じて行う。

カ 追検査は、前記「3 一般入学」の(7)ウ(P.7)に準じ、令和6年3月7日(木)に行う。

(9) 入学者の選抜

入学者の選抜は、中学校長から提出された調査書、学力検査の成績、面接の結果その他選抜に関する資料を参考とし、各高等学校、学科等の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して行うものとする。

なお、選抜の方法については、原則として、一般入学における共通選抜と同様に行うものとする。

(10) 合格者の発表

前記「3 一般入学」の(9)(P.10)に準じて行う。

(11) その他

その他選抜に当たり必要な事項は、教育長が高等学校長に指示する。

9 外国人生徒の特例入学者選抜

外国人生徒のために、次により外国人生徒の特例入学者選抜(以下「外国人特例選抜」という。)を行う。

(1) 応募資格

外国人特例選抜に応募できる者は、前記「1 応募資格」(P.2)に定める応募資格を有する者で、かつ、次のア、イ及びウに該当する者とする。

ア 外国籍を有する者で、入国後の在日期间が3年以内の者。なお、「入国後の在日期间が3年以内」とは、原則として入国した日から令和6年3月1日現在で3年が経過していない場合をいう。

ただし、結城第一高等学校及び石下紫峰高等学校の志願者については、入国後の在期間を問わないものとする。

イ 全日制課程にあっては、原則として保護者とともに県内に居住している者又は入学時まで居住見込みの者、定時制課程にあっては、原則として県内に居住地若しくは勤務地を有する者又はその予定の者

ウ 令和6年度入学者選抜において、他の公立高等学校に出願しない者

(2) 実施の課程、学科及び募集人員

ア 全校の全日制課程及び定時制課程で実施する。

イ 募集人員は、全日制課程及び定時制課程それぞれについて、1校につき、全学科を合わせて2人以上とする。

※ 各高等学校の実施の課程、学科及び募集人員については、別に定める。

(3) 出願期間

令和6年2月7日(水)午前9時から午後4時、2月8日(木)午前9時から午後4時及び2月9日(金)午前9時から正午とする。

郵送出願(P.74)の場合は、事前に志願先高等学校長と連絡の上、簡易書留で郵送出願受付期間(令和6年2月6日、7日、8日)必着とする。

(4) 志願の手続

前記「8 帰国子女の特例入学者選抜」の(4) (P. 15) に準じて行う。

なお、出願書類は、入学願書、外国人特例入学者選抜海外在住状況説明書（以下「外国人海外在住説明書」という。）〈様式第 13 号 (P. 42) 〉、住民票及び「解答用紙の写し」等送付用シート〈様式第 26 号 (P. 58) 〉とする。ただし、結城第一高等学校及び石下紫峰高等学校の志願者については、外国人海外在住説明書〈様式第 13 号 (P. 42) 〉は不要とする。

※ 住民票については、国籍、在留資格及び在留期間が記載してあるものとする。

(5) 志願先の変更

前記「8 帰国子女の特例入学者選抜」の(5) (P. 16) に準じて行う。ただし、一般入学に出願している者の外国人特例選抜への変更は認めない。

※ 日本の中学校を卒業した者又は卒業見込みの者が一般入学へ志願先（志望先）を変更する場合は、外国人海外在住説明書及び住民票を提出する必要はない。

(6) 調査書の作成

前記「8 帰国子女の特例入学者選抜」の(7) (P. 16) に準じて行う。

(7) 学力検査及び面接等

前記「8 帰国子女の特例入学者選抜」の(8) (P. 16) に準じて行う。ただし、結城第一高等学校及び石下紫峰高等学校における面接は、令和 6 年 2 月 29 日（木）午前 9 時 10 分から行うこととし、受検者は、午前 8 時 40 分までに志願先高等学校に集合するものとする。

なお、結城第一高等学校及び石下紫峰高等学校の各教科の学力検査については、問題用紙及び解答用紙にルビ（ふりがな）を付ける。

(8) 入学者の選抜

前記「8 帰国子女の特例入学者選抜」の(9) (P. 17) に準じて行う。

(9) 合格者の発表

前記「3 一般入学」の(9) (P. 10) に準じて行う。

(10) その他

その他選抜に当たり必要な事項は、教育長が高等学校長に指示する。

10 定時制課程の成人特例入学者選抜

成人のために、次により定時制課程の成人特例入学者選抜（以下「成人特例選抜」という。）を行う。

(1) 応募資格

成人特例選抜に応募できる者は、前記「1 応募資格」(P. 2) に定める資格を有する者で、かつ、令和 6 年 4 月 1 日現在、満 18 歳以上の者とする。

(2) 出願期間

令和 6 年 2 月 7 日（水）午前 9 時から午後 4 時、2 月 8 日（木）午前 9 時から午後 4 時及び 2 月 9 日（金）午前 9 時から正午とする。

郵送出願 (P. 74) の場合は、事前に志願先高等学校長と連絡の上、簡易書留で郵送出願受付期間（令和 6 年 2 月 6 日、7 日、8 日）必着とする。

(3) 志願の手続

前記「3 一般入学」の(3)(P.3)に定める志願の手続に準じて行うものとする。ただし、その際、成人特例入学者選抜措置申請書〈様式第14号(P.43)〉を提出するものとする。

なお、入学願書及び学力検査受検票は、様式第1号(P.28)とする。

※ 出願に要する書類は、志願先高等学校において、令和5年12月1日(金)から交付する。

(4) 志願先の変更

ア 志願先(志望先)変更の手続は、前記「3 一般入学」の(5)(P.3)に定めるところに準ずる。

イ 成人特例選抜に出願した者で志願先(志望先)変更を希望する者は、一般入学又は他の高等学校の成人特例選抜へ、1回に限り志願先を変更することができる。ただし、一般入学に出願している者の成人特例選抜への変更は認めない。

ウ 旧志願先高等学校長は、入学願書に添えて提出してあった成人特例入学者選抜措置申請書を志願先変更者に返却する。

エ 他の高等学校の成人特例選抜へ志願先を変更する者は、新たに作成した入学願書に成人特例入学者選抜措置申請書〈様式第14号(P.43)〉を添えて、中学校長を経由し新志願先高等学校長に提出する。

※ 一般入学へ志願先(志望先)を変更する場合は、成人特例入学者選抜措置申請書を提出する必要はない。

(5) 入学者の選抜

ア 学力検査は行わず、調査書、作文、面接の結果及びその他選抜に関する資料を参考とし、各高等学校、学科等の特色に配慮しつつ、その教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して行うものとする。

イ 面接等の期日等

(ア) 期日 令和6年2月28日(水)

(イ) 集合時間等 午前8時40分までに志願先高等学校に集合するものとする。

(ウ) 時間割

項目 \ 時限	第1時	第2時
	9:20 ～10:10	10:30～
内容	作文	面接

ウ 追検査は、前記「3 一般入学」の(7)ウ(P.7)に準じ、令和6年3月7日(木)に行う。

(6) 合格者の発表

前記「3 一般入学」の(9)(P.10)に準じて行う。

11 第2次募集における定時制課程の成人特例入学者選抜

(1) 応募資格

ア 前記「10 定時制課程の成人特例入学者選抜」の(1)(P.18)に定めるところによる。

イ 前記「3 一般入学」の(7)アの(ア)(P.5)に定める学力検査受検の有無にかかわらず出願できる。ただし、公立高等学校に合格した者は、出願できない。

(2) 出願期間

令和6年3月13日（水）及び3月14日（木）午前9時から午後4時とする。

※ 郵送出願は、認めない。

(3) 志願の手続

前記「10 定時制課程の成人特例入学者選抜」の(3) (P. 19) に準じて行う。その際必要書類を一括して、第2次募集入学志願者書類送付書（様式第22号（P. 53））を添えて提出するものとする。

ア 第2次募集入学願書は、様式第19号の1（P. 48）とする。

※ 入学者選抜手数料は、新たに納入しなければならない。

イ 調査書をすでに提出済の高等学校に出願する場合は、調査書を再度提出する必要はない。

(4) 志願先の変更

志願先（志望先）変更はできない。

(5) 入学者の選抜

ア 前記「10 定時制課程の成人特例入学者選抜」の(5) (P. 19) に準じて行う。

イ 面接等の期日等

(ア) 期日 令和6年3月15日（金）

(イ) 集合時間等 午前8時40分までに志願先高等学校に集合するものとする。

(ウ) 時間割 前記「10 定時制課程の成人特例入学者選抜」の(5) (P. 19) に準じて行う。

(6) 合格者の発表

前記「4 第2次募集」の(9) (P. 11) に準じて行う。

12 連携型中高一貫教育校の入学者選抜

連携型中高一貫教育校の入学者選抜（以下「連携型入学者選抜」という。）は、連携型中学校の常陸大宮市立明峰中学校と連携型高等学校の茨城県立小瀬高等学校において、以下のとおり行う。

(1) 応募資格

連携型入学者選抜に応募できる者は、前記「1 応募資格」（P. 2）に定める資格を有する者で、かつ、連携型中学校を令和6年3月に卒業見込みの者とする。

(2) 出願期間

令和6年2月7日（水）午前9時から午後4時、2月8日（木）午前9時から午後4時及び2月9日（金）午前9時から正午とする。

郵送出願（P. 74）の場合は、事前に志願先高等学校長と連絡の上、簡易書留で郵送出願受付期間（令和6年2月6日、7日、8日）必着とする。

※ 出願期間においては、連携型中学校から連携型高等学校の一般入学への出願はできない。

(3) 志願の手続

連携型中学校長は、入学志願者書類送付書〈様式第 21 号準用 (P. 52) 〉を添えて、次の書類を、連携型高等学校長に提出する。

ア 連携型入学願書〈様式第 8 号の 1 (P. 34) 〉

前記「3 一般入学」の(3) (P. 3) に準じて作成するものとする。

イ 連携型高等学校長が指定する書類

調査書〈様式第 9 号 (P. 36) 〉及び課題レポートとする。また、課題レポートの課題等については、連携型高等学校長が連携型中学校長に別途通知するものとする。

(4) 志願先の変更

ア 志願先変更の手続は、前記「3 一般入学」の(5) (P. 3) に準じて行う。

イ 連携型入学者選抜に出願している者は、他の高等学校の一般入学に志願先を変更できる。

ウ 連携型中学校から他の高等学校の一般入学に出願している者は、連携型高等学校の一般入学に志願先を変更できるが、連携型入学者選抜へは志願先の変更はできない。

(5) 入学者の選抜及び合格者の発表

ア 連携型入学者選抜においては、学力検査は行わず、連携型高等学校長が、連携型中高一貫教育の成果等を見るために、選抜に必要とする資料を総合して合格者を決定する。

※ 自己申告書〈様式第 20 号 (P. 50) 〉が提出された場合は、選抜資料に加える。不登校等及び障害があることにより不利益な取扱いをしないこと。

イ 選抜に必要とする資料は、調査書、面接の結果、課題レポート、小論文等から、中高一貫教育の特色に応じて連携型高等学校長が決定するものとする。

なお、その資料については、「連携型高等学校における選抜資料」(別表 3) (P. 67) のとおりとする。

ウ その他連携型入学者選抜方法の細部については、連携型高等学校において定めるものとする。

エ 連携型入学者選抜受検者は、面接等のため、令和 6 年 2 月 29 日(木) 午前 8 時 40 分までに志願先高等学校に集合するものとする。

オ 合格者の発表については、前記「3 一般入学」の(9) (P. 10) に準じて行う。

カ 追検査は、前記「3 一般入学」の(7)ウ (P. 7) に準じ、令和 6 年 3 月 8 日(金) に行う。

キ その他連携型入学者選抜に当たり必要な事項は、教育長が連携型高等学校長に指示する。

(6) その他

ア 連携型高等学校の一般入学は、連携型中学校以外からも志願することができる。

また、志願先変更期間であれば、前記「3 一般入学」の(5) (P. 3) に準じて志願先の変更を行うことができる。

イ 連携型入学者選抜の募集人員については、十分に確保するものとし、別に定める。

また、連携型入学者選抜の合格者数が、募集人員に満たない場合は、その不足分を一般入学の募集人員に加えるものとする。

ウ 連携型高等学校は、連携型入学者選抜及び一般入学の合格者の総数が募集定員に満たない場合、前記「4 第 2 次募集」(P. 10) により第 2 次募集を行うものとする。

13 併設型高等学校の入学者選抜

(1) 入学者の選抜

併設型高等学校においては、茨城県立中学校学則（第8条第1項）及び茨城県立高等学校学則（第15条第1項）の規定に基づき、当該高等学校に係る併設型中学校の生徒について、入学者の選抜を行わないものとする。

(2) 入学を辞退する者の取扱い

保護者の転勤等やむを得ない事情により、併設型高等学校への入学を辞退する者は、併設型中学校長が定める期日までに、「入学辞退届」を同校長に提出する。

なお、「入学辞退届」を提出し受理された者は、併設型高等学校への入学予定者としての資格を失う。

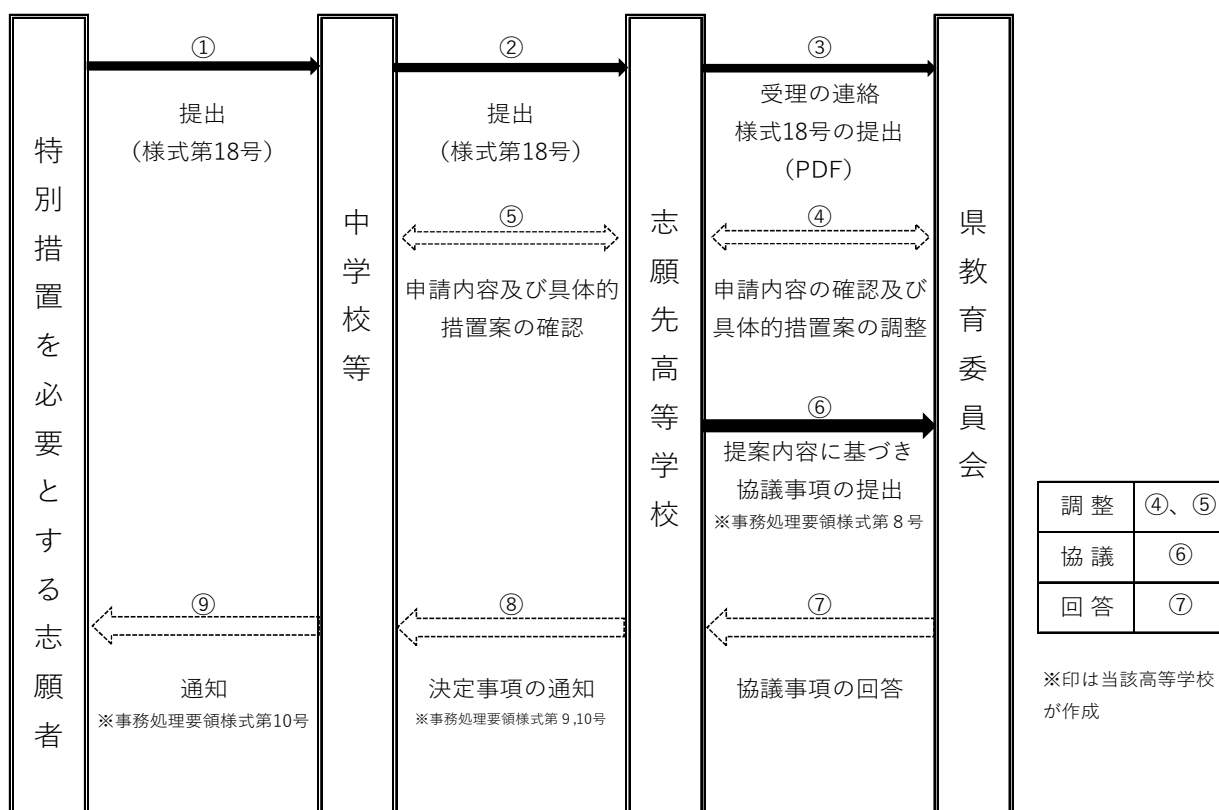
14 障害のある受検者等の取扱い

障害のある受検者等で、学力検査実施上特別な措置を希望する者は、中学校長を経由して、「障害のある受検者等に対する特別措置申請書」〈様式第18号（P.47）〉を、原則として令和5年10月16日（月）から令和6年1月19日（金）までに志願先高等学校長に提出する。

志願先高等学校長は、「障害のある受検者等に対する特別措置申請書」を提出した者で、通常の学力検査の方法では受検が困難と認める者について、茨城県教育委員会（以下「教育委員会」という。）と協議の上、検査方法、検査時間及び検査場等について適切な措置を講じる。

なお、志願変更者は、令和6年2月16日（金）及び2月19日（月）（午前9時から午後4時）の志願先変更期間内に、新志願先高等学校長へ様式第18号（P.47）を提出するものとする。

〔受検上の特別措置申請手続きの流れ〕



15 自己申告書の提出

欠席が多いことの事情や障害のあることによって生ずることがら等について、説明する必要がある場合、志願者は自己申告書（様式第 20 号（P. 50））を志願先高等学校長に提出することができる。

なお、自己申告書は、志願者及び保護者が記入後に厳封し、中学校長を経由して、入学願書等とともに志願先高等学校長に提出するものとする。

※ 不登校等及び障害があることにより不利益な取扱いをしないこと。

16 出願用紙の配布等

(1) 出願に要する用紙の配布

ア 出願に要する用紙で様式の定められているもののうち、以下の様式については、11 月上旬までに教育委員会から県内の中学校及び高等学校に対して送付する。

教育委員会が送付する書類は、様式第 1、3～6、8、10、19、26、27 号である。ただし、送付した用紙に不足が生じた場合は、各学校で複写する。

なお、様式第 1、8、19 号については両面複写とする。

イ 県外等からの入学志願者については、各志願先高等学校において、令和 5 年 12 月 1 日（金）から交付する。

(2) 書類の作成

様式第 2、7、9、15、17、21～24 号の書類については、出身校で様式に従い作成する。

※ 様式については、茨城県教育委員会ホームページからダウンロードすることができる。

Ⅱ 令和6年度茨城県立水戸南高等学校通信制課程入学者選抜実施要項

令和6年度茨城県立水戸南高等学校通信制課程入学者の募集及び選抜は、この要項の定めるところにより実施する。

1 応募資格

県内に住所を有する者、茨城県の隣接県内に住所を有し茨城県内に勤務地がある者又は茨城県の隣接県内に住所を有し特別の理由により通信教育を受けることが適当であると茨城県立水戸南高等学校の校長が認めた者で、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 中学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校を卒業した者又は令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者又は令和6年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条各号のいずれかに該当する者又は令和6年3月該当見込みの者

2 募集の学科及び定員 別に定める。

3 出願期間及び受付時間

- (1) 出願期間
令和6年3月8日（金）から3月21日（木）まで。ただし、土曜日、日曜日及び祝日は除く。
- (2) 受付時間
午前9時から午後4時まで。

4 志願の手続

入学志願者は、次の書類を、前記3に定める出願期間内に、原則として、出身（在籍）中学校長を経由して、茨城県立水戸南高等学校長に提出するものとする。

なお、提出書類は、直接、茨城県立水戸南高等学校の窓口に出願するものとする。

- (1) 入学願書
様式1（通信制）（P.25）による。
- (2) 出身（在籍）中学校長の作成した調査書
調査書の様式は、令和6年度茨城県立高等学校入学者選抜実施細則に定める様式（様式第9号 P.36）を準用する。
- (3) 志願理由書
様式2（通信制）（P.26）による。
- (4) 自己申告書（提出を希望する場合のみ）
欠席が多いことの事情や障害のあることによって生ずることがら等について、その事情を説明する必要がある場合、提出することができる。自己申告書の様式は、令和6年度茨城県立高等学校入学者選抜実施細則に定める様式（様式第20号 P.50）を準用する。

なお、出願に要する書類は、茨城県立水戸南高等学校において、令和6年1月9日（火）から交付する。

5 入学者の選抜

入学者の選抜は、前項の書類により行う。

6 合格者の発表

令和6年4月2日（火）までに、本人あて通知する。

7 その他

- (1) 応募資格の(3)のうち、学校教育法施行規則第95条第5号により、中学校卒業認定試験を受けようとする者は、令和6年3月7日（木）までに茨城県立水戸南高等学校長に申し出て、その指示により当該認定試験を受けなければならない。
- (2) 高等学校での修得単位数の計が18単位以上の者は、転編入学試験に志願できる。

様式 1 (通信制)

令和6年度

茨城県立水戸南高等学校通信制課程入学願書

受付番号

※

受付年月日

※令和年月日

普通科

日曜

本校

コース

令和年月日

貴校通信制課程

普通科

日曜

下妻一高コース

への入学を志願いたします。

第2希望のコースはありません。

普通科

火曜

本校

コース

ライフデザイン科

技能連携校コース

(細谷高等専修学校生のみ)

本人

現住所〒

市町村コード

市郡町村名()

字・丁目・番地

方書

フリガナ

氏名

性別

男

女

生年月日

S・H

年

月

日

保護者

又 は

保証人

現住所〒

市町村コード

市郡町村名()

字・丁目・番地

方書

フリガナ

氏名

性別

男

女

生年月日

S・H

年

月

日

本人との関係

茨城県立水戸南高等学校長 殿

学歴

中学校コード

S・H・R

年

月

日

卒業(見込)

学校・学園

学校

課程

科

S・H・R

年

月

日

入学

S・H・R

年

月

日

退学

現在の勤務先

職名(勤務内容)

本人の連絡先

□本人に同じ

□保護者(保証人)に同じ

□その他(下に記入)

(4月以降)

(〒)

電話番号

(必須)

注 記入する場合、記入例に従って、黒ボールペンではっきり書くこと。

○様式一覧

	様 式	ページ
様式第1号の1	入学願書	28
様式第1号の2	学力検査受検票	28
様式第1号（裏面）	記入上の注意 茨城県収入証紙欄の取扱い上の注意	29
様式第2号	普通科〔スポーツ科学コース〕実技検査受検者一覧	30
様式第3号	志願変更届	31
様式第4号	志願取消証明書	31
様式第5号	志望変更届	32
様式第6号	志望変更届受理証	32
様式第7号	志願取消届	33
様式第8号の1	連携型入学願書	34
様式第8号の2	連携型入学受検票	34
様式第8号（裏面）	記入上の注意 茨城県収入証紙欄の取扱い上の注意	35
様式第9号	調査書	36
	調査書記入上の注意	37
様式第10号	志願理由書	39
様式第11号	合格通知書	40
様式第12号	帰国子女特例入学者選抜海外在住状況説明書	41
様式第13号	外国人特例入学者選抜海外在住状況説明書	42
様式第14号	成人特例入学者選抜措置申請書	43
様式第15号	県外等からの転入先等証明書	44
様式第16号	身元引受人承諾書	45
様式第17号	全国募集志願理由書	46
様式第18号	障害のある受検者等に対する特別措置申請書	47
様式第19号の1	第2次募集入学願書	48
様式第19号の2	第2次募集受検票	48
様式第19号（裏面）	記入上の注意	49
様式第20号	自己申告書	50
様式第20号（裏面）	記入及び取扱い上の注意	51
様式第21号	入学志願者書類送付書	52
様式第22号	第2次募集入学志願者書類送付書	53
様式第23号	合格通知書受領証	54
様式第24号	他の公立高等学校を併願しない旨の証明書	55
様式第25号の1	追検査申請書	56
様式第25号の2	追検査許可書	56
様式第25号（裏面）	記入上の注意	57
様式第26号	「解答用紙の写し」等送付用シート	58
様式第27号の1	活動報告書（I T未来高等学校用）	59
様式第27号の2	活動報告書（つくばサイエンス高等学校用）	60

○様式一覧（水戸南高等学校通信制課程）

	様 式	ページ
様式1（通信制）	茨城県立水戸南高等学校通信制課程入学願書	25
様式2（通信制）	志願理由書	26

○茨城県教育委員会ホームページ <<https://kyoiku.pref.ibaraki.jp/>>

茨城県教育委員会＞学校教育＞県立学校入試情報＞高校入試（高等学校）

令和6年度入学願書				受検番号	※
志望 課程	全日制	志望	第1	(科)	
	定時制	学科	第2	(科)	
志 願 者	ふりがな 氏名 (生年月日)	(昭和・平成 年 月 日生)			
	現住所	(〒 -) (電話 - -)			
	出身校 (卒業年月日)	(昭和・平成・令和 年 月 日 卒業見込・卒業)			
保護者	現住所	□志願者の欄に同じ (〒 -)		志願者との関係	
貴校の上記の課程・学科への入学を志願いたします。 令和 年 月 日 保護者氏名（署名）				備考	
				※	
茨城県立 高等学校長 殿					

（記入上の注意は裏面）

茨城県収入証紙欄

金額	千	百	十	円
----	---	---	---	---

ただし、茨城県立高等学校

┌ 全日制入学者選抜手数料 2,200円

└ 定時制入学者選抜手数料 950円

└ 定時制から全日制への変更差額 1,250円

（取扱い上の注意は裏面）

（A4判3/4）

-----（志願先高等学校が切り取る。）-----

令和6年度学力検査受検票				
志望学科	第1 (科)	第2 (科)	受検番号	※
志願者氏名 (生年月日)	(昭和・平成 年 月 日生)			
出身校				
志願先 高等学校	茨城県立 高等学校 印			

注 ※欄は志願先高等学校が記入する。

（A4判1/4）

様式第1号の1（裏面）

○ 記入上の注意

- 1 ☐ 内の該当する選抜を1つ○で囲む。
- 2 志望課程欄、生年月日欄及び卒業年月日欄は該当するものを○で囲み、※欄は記入しない。
- 3 第2志望学科の欄については、共通選抜における第2志望を認めている高等学校を希望する場合に、第2志望があるときは記入し、なければ斜線（／）を引く。
また、第2志望を認めていない高等学校の場合も斜線（／）を引く。
※ 特色選抜を志願する者も共通選抜における第2志望があるときは記入する。
- 4 水戸第三高等学校音楽科及び取手松陽高等学校音楽科への入学志願者は、専攻したい部門名を志望学科欄の第1志望学科の下（ ）に記入する。
また、弦・管・打楽器の部門を専攻する者は、専攻する楽器名を志望学科欄の第2志望学科の下（ ）に記入する。
- 5 大洗高等学校、中央高等学校、筑波高等学校及び三和高等学校の普通科のコースへの入学志願者は、志望するコース名を志望学科欄の志望学科の下（ ）に記入する。
- 6 水戸南高等学校への入学志願者は、昼間又は夜間のいずれか一方を、鹿島灘高等学校、荖崎高等学校及び結城第二高等学校への入学志願者は、午前、午後又は夜間のいずれかを、高萩高等学校及びIT未来高等学校への入学志願者は、午前又は午後のいずれか一方を、志望学科欄の志望学科の下（ ）に記入する。
- 7 「現住所」については、県内居住者は郡・市名から記入し、県外居住者は県名から記入する。
※ 転居予定者は、転居予定先の住所を記入する。
- 8 保護者の現住所が志願者の現住所と同一の場合には、「志願者の欄に同じ」の□の中に✓を記入する。
- 9 令和6年4月1日現在で満18歳以上の志願者の場合には、保護者の現住所、保護者氏名は、志願者の現住所、志願者氏名とする。
また、志願者との関係欄には「志願者本人」と記入する。
- 10 誤記を訂正する場合は、2本の線（＝）を引き正しく書き直す。（訂正印不要）

○ 茨城県収入証紙欄の取扱い上の注意

- 1 収入印紙と間違えない。
- 2 茨城県収入証紙は、消印しない。
- 3 金額は、算用数字で正確に記入する。
- 4 ただし書きにおいては、不要箇所を、2本の線（＝）で消す。
- 5 志願先の変更において、変更差額がない場合は金額の欄に斜線（／）を引く。その際に、ただし書きの箇所を2本の線（＝）で消す必要はない。
- 6 入学者選抜手数料の免除制度があるので、希望する者は志願先高等学校に問い合わせる。当該免除制度が適用された場合、金額は記入しない。

様式第1号の2（裏面）

【2月28日（水）】学力検査時間割（午前8時40分、志願先高等学校集合）

項目 \ 時限	第1時	第2時	第3時	昼食	第4時	第5時
検査時間等	9:20 ～ 10:10	10:30 ～ 11:20	11:40 ～ 12:30	12:30 ～ 13:20	13:20 ～ 14:10	14:30 ～ 15:20
教科名	外国語(英語)	国語	数学		社会	理科

【2月29日（木）】特色選抜面接等（午前8時40分、志願先高等学校集合）

面接等の時間については各学校の計画により実施する。

なお、IT科等の志願者においては、各高等学校が示す集合時間等の計画に従うものとする。

- 注意
- 1 この受検票は、両日ともに必ず持参し、受検中は机の上に置く。
 - 2 検査時、検査室には、HB、B又は2Bの黒鉛筆、消しゴム、コンパス、三角定規（以上は必ず持参する。）、下敷き及び鉛筆削り等の文具のほかは持ち込まない。
* 鉛筆はシャープペンシルも可とする。
* 時計及び携帯電話等は、検査室に持ち込まない。
 - 3 昼食、上履きは各自用意する。
 - 4 受検に当たっては、すべて係員の指示に従う。

普通科〔スポーツ科学コース〕実技検査受検者一覧

（ 一般入学 志願先変更 第2次募集 ）

氏 名	性別	身 長	体 重	最 終 学 年 時 体 力 テ ス ト の 結 果	備 考
		. cm	. kg		
		. cm	. kg		
		. cm	. kg		
		. cm	. kg		

注 （ ）内については、該当するものを1つ○で囲む。

健 康 状 況 証 明 書

上記の生徒は、いずれも出身校における体育の授業時及び運動部の活動時において、健康上支障のなかったことを証明します。

令和 年 月 日

出身校名

校長氏名

印

上記の生徒は、いずれも健康診断の結果、異常のないことを証明します。

令和 年 月 日

学校医氏名

印

（A4判）

様式第3号

志 願 変 更 届

茨城県立 高等学校長 殿

志願変更のため、

貴校 $\left[\begin{array}{c} \text{全日制} \\ \text{定時制} \end{array} \right]$ 課程 (科) $\left[\begin{array}{c} \text{共通} \\ \text{特色} \end{array} \right]$ $\left[\begin{array}{c} \text{ } \\ \text{ } \end{array} \right]$ 特例 選抜への志願を取り消します。

令和 年 月 日

出身校名 _____

受検番号 _____

志願者氏名 _____

保護者氏名(署名) _____

出身校長検印(職印)

志 願
変更先

茨城県立

高等学校

$\left[\begin{array}{c} \text{全日制} \\ \text{定時制} \end{array} \right]$

課程 (

科) $\left[\begin{array}{c} \text{共通} \\ \text{特色} \end{array} \right]$

] 特例

選抜

注1 該当する課程及び選抜を○で囲む。

(A5判)

2 () 内には、コース名等を記入する。

3 特例入学者選抜は、[] 内に帰国子女、外国人、成人のいずれかを記入する。

(志願先高等学校が切り取る。)

様式第4号

志 願 取 消 証 明 書

茨城県立 高等学校長 殿

出身校名 _____

受検番号 _____

志願者氏名 _____

上記の者は、

本校 $\left[\begin{array}{c} \text{全日制} \\ \text{定時制} \end{array} \right]$ 課程 (科) $\left[\begin{array}{c} \text{共通} \\ \text{特色} \end{array} \right]$ $\left[\begin{array}{c} \text{ } \\ \text{ } \end{array} \right]$ 特例 選抜への志願を取り消したことを証明します。

令和 年 月 日

茨城県立

高等学校長

印

注1 該当する課程及び選抜を○で囲む。

(A5判)

2 () 内には、コース名等を記入する。

3 特例入学者選抜は、[] 内に帰国子女、外国人、成人のいずれかを記入する。

様式第5号

志望変更届

茨城県立 高等学校長 殿

次のとおり、志望変更をしたいのでお届けします。

変更前	☐ 全日制 ☐ 定時制	課程 () 科 () ☐ 共通色 ☐ 特例	選抜 第2志望 () 科 ()
-----	--	---	---

変更後	☐ 全日制 ☐ 定時制	課程 () 科 () ☐ 共通色 ☐ 特例	選抜 第2志望 () 科 ()
-----	--	---	---

令和 年 月 日

出身校名 _____

受検番号 _____

志願者氏名 _____

保護者氏名 (署名) _____

出身校長検印 (職印)

注1 該当する課程及び選抜を○で囲む。

(A5判)

2 () 内には、コース名等を記入する。

3 特例入学者選抜は、[] 内に帰国子女、外国人、成人のいずれかを記入する。

(志願先高等学校が切り取る。)

様式第6号

志望変更届受理証

出身校名 _____

志願者氏名 _____

上記の者の志望変更届を、次のとおり受理しました。

変更前	☐ 全日制 ☐ 定時制	課程 () 科 () ☐ 共通色 ☐ 特例	選抜 第2志望 () 科 ()
-----	--	---	---

変更後	☐ 全日制 ☐ 定時制	課程 () 科 () ☐ 共通色 ☐ 特例	選抜 第2志望 () 科 ()
-----	--	---	---

変更後の受検番号 _____

令和 年 月 日

茨城県立

高等学校長

印

注1 該当する課程及び選抜を○で囲む。

(A5判)

2 () 内には、コース名等を記入する。

3 特例入学者選抜は、[] 内に帰国子女、外国人、成人のいずれかを記入する。

志 願 取 消 届

茨城県立

高等学校長 殿

貴校 $\left(\begin{array}{c} \text{全日制} \\ \text{定時制} \end{array} \right)$ 課程 () 科 への志願を取り消します。

令和 年 月 日

出身校長検印（職印）

出 身 校 名 _____

受 検 番 号 _____

志願者氏名 _____

保護者氏名（署名） _____

注1 課程については、該当するものを○で囲む。

（A4判）

2 （ ）内には、コース名等を記入する。

令和6年度連携型入学願書		受検番号	※
志願者	ふりがな 氏名 (生年月日)		
	現住所	(平成 年 月 日生)	
	出身校 (卒業見込年月日)	常陸大宮市立明峰中学校 (令和 年 月 日 卒業見込)	
保護者	現住所	□志願者の欄に同じ (〒 -)	志願者との関係
貴校への入学を志願いたします。 令和 年 月 日 保護者氏名（署名） 茨城県立小瀬高等学校長 殿			備考
			※

（記入上の注意は裏面）

茨城県収入証紙欄	
金額	2, 200円

ただし、茨城県立高等学校全日制入学者選抜手数料として。

（取扱い上の注意は裏面）

（A 4 判3/4）

-----（茨城県立小瀬高等学校が切り取る。）-----

様式第8号の2（表面）

令和6年度連携型入学受検票			
志望学科	普通科		受検番号 ※
志願者氏名 (生年月日)	(平成 年 月 日生)		
出身校	常陸大宮市立明峰中学校		
志願先 高等学校	茨城県立小瀬高等学校		

注 ※欄は茨城県立小瀬高等学校が記入する。

（A 4 判1/4）

様式第 8 号の 1（裏面）

○ 記入上の注意

- 1 ※欄は茨城県立小瀬高等学校が記入する。
- 2 現住所欄については、県名は省略して記入する。
- 3 保護者の現住所が志願者の現住所と同一の場合には、「志願者の欄に同じ」の□の中に✓を記入する。
- 4 誤記を訂正する場合は、2本の線（———）を引き、正しく書き直す。
（訂正印不要）

○ 茨城県収入証紙欄の取扱い上の注意

- 1 収入印紙と間違えない。
- 2 茨城県収入証紙は、消印しない。
- 3 入学者選抜手数料の免除制度があるので、希望する者は茨城県立小瀬高等学校に問い合わせる。当該免除制度が適用された場合、茨城県収入証紙を貼らなくてよい。その際、金額は記入しない。

様式第 8 号の 2（裏面）

- 1 面接等日程 2月29日（木）
8：40 ～ 8：45 集合・点呼
8：45 ～ 9：00 諸注意
9：10 ～ 面接等
- 2 注意
(1) 当日は、午前8時40分までに茨城県立小瀬高等学校に集合する。
(2) 受検票及び筆記用具を必ず持参する。
(3) 昼食、上履きを各自用意する。
(4) 受検に当たっては、すべて係員の指示に従う。

ふりがな					性別					志 望	全日制・定時制・通信制					
生徒氏名					生 年 月 日 昭和 年 月 日生	平成 年 月 日生 卒業見込 令和 年 月 日 卒業					第1	科				
											第2	科				
現住所																
1 各教科の学習の記録						2 総合的な学習の時間の記録				5 行動の記録						
教科	観点別学習状況		評 定							項 目	3年					
	観 点	3年	1年	2年	3年					基本的な生活習慣						
国語	知識・技能									健康・体力の向上						
	思考・判断・表現									自主・自律						
	主体的に学習に取り組む態度									責任感						
社会	知識・技能									創意工夫						
	思考・判断・表現									思いやり・協力						
	主体的に学習に取り組む態度									生命尊重・自然愛護						
数学	知識・技能									活動の状況	学級活動				勤労・奉仕	
	思考・判断・表現										生徒会活動				公正・公平	
	主体的に学習に取り組む態度					学校行事					公共心・公德心					
理科	知識・技能					4 特別活動に関する事実及び所見				6 部活動・特技等の記録						
	思考・判断・表現															
	主体的に学習に取り組む態度															
音楽	知識・技能															
	思考・判断・表現															
	主体的に学習に取り組む態度															
美術	知識・技能					7 欠 席 日 数				9 その他の事項						
	思考・判断・表現					1年	日									
	主体的に学習に取り組む態度					2年	日									
保健体育	知識・技能					3年	日									
	思考・判断・表現					8 体力テスト										
	主体的に学習に取り組む態度															
技術・家庭	知識・技能					上記のとおり相違ありません。 令和 年 月 日 学校名 校長氏名 記載責任者 職氏名										
	思考・判断・表現															
	主体的に学習に取り組む態度															
外国語	知識・技能															
	思考・判断・表現															
	主体的に学習に取り組む態度															

注 ※欄は志願先高等学校が記入する。

(A4判)

調査書記入上の注意

調査書は、中学校生徒指導要録（以下「生徒指導要録」という。）に基づき、次の点に留意して記入する。

義務教育学校においては、第1学年を第7学年、第2学年を第8学年、第3学年を第9学年として取り扱うものとする。

【一般的事項】

- 1 調査書は、様式第9号を用い、令和6年1月末日現在の生徒指導要録に基づき作成する。
※ 様式については、教育委員会で配布したもののほか、茨城県教育委員会ホームページから、ダウンロードができる。
なお、様式を踏まえれば、パソコン等により作成してもよい。
- 2 鮮明に記入する。記入する数字は、すべて算用数字を用いる。ただし、現住所欄等表記上算用数字を用いるのが不適当な場合については、漢数字を用いてもよい。
- 3 記入事項がない場合又は記入できない場合は、斜線（／）を引く。ただし、特別活動の記録の活動の状況及び行動の記録の欄についてはこの限りでない。
※ 記入できない項目がある場合には、「その他の事項」の欄にその理由を記入する。
- 4 誤記を訂正する場合は、2本の線（＝）を引いて訂正し、欄外に「〇〇字訂正」と記して、「〇〇字訂正」と記したところに校長印を押す。
- 5 提出する調査書は、原本を複写したものに、校長印を押して提出してもよい。
- 6 「志願先高等学校名」は、中学校において記入する。
- 7 「生徒氏名」は、生徒指導要録と表記を同一とする。
- 8 「現住所」については、県内居住者は郡・市名から記入し、県外居住者は県名から記入する。
※ 転居予定者は、転居予定先の住所を記入する。
- 9 「志望」は、「全日制」、「定時制」、「通信制」のいずれかを○で囲むこと。第2志望の欄については、第2志望を認めている高等学校を希望する場合で、第2志望がある場合は記入し、なければ斜線（／）を引く。
また、第2志望を認めていない高等学校の場合は斜線（／）を引く。
※ 特色選抜を志願する者で共通選抜における第2志望がある場合は記入する。
- 10 平成30年3月以前の卒業者（中学校卒業後5年を経過した者）の調査書については、生徒指導要録の「学籍に関する記録」とその他必要事項を記入する。
※ 記載に当たっては、「各教科の学習の記録」から「体力テスト」までの欄に斜線（／）を引く。「その他の事項」の欄には、中学校卒業後の職歴又は学歴などを記入する。

【各項目の記入について】

1 各教科の学習の記録

(1) 観点別学習状況

生徒指導要録に記入すべき記録を、学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現の状況を観点ごとに評価して記入する。

※ 過年度卒業者等において、観点別学習状況の欄に記入できない場合は、観点別学習状況の欄に、斜線（／）を引き、「その他の事項」の欄に、その理由（過年度卒業生のため等）を記入する。

(2) 評定

ア 第1学年及び第2学年の欄は、生徒指導要録の評定を転記する。

イ 第3学年の欄は、生徒指導要録に記入すべき記録を記入する。

2 総合的な学習の時間の記録

3年間の記録（第1学年及び第2学年は生徒指導要録の記録、第3学年は生徒指導要録に記入すべき記録）の中から、生徒の学習状況や成果等の評価を文章で記入する。

※ 記入内容は、生徒の学習状況の顕著な事項やどのような力が身に付いたかなどとする。箇条書きでもよい。

3 特別活動の記録

活動の状況については、第1学年及び第2学年の欄は、生徒指導要録から転記し、第3学年の欄は、生徒指導要録に記入すべき記録を記入する。

4 特別活動に関する事実及び所見

3年間の記録（ただし、第3学年は生徒指導要録に記入すべき記録）から記入する。

なお、志願先の特色選抜の出願要件に係る具体的な実績等については、必ず記入する。

※ 「特別活動」における活動の状況について、主な事実及び総合的に見た場合の所見を記入する。箇条書きでもよい。

5 行動の記録

生徒指導要録に記入すべき記録を記入する。

6 部活動・特技等の記録

(1) 部活動の参加及び活動状況について具体的に記入する。

なお、志願先の特色選抜の出願要件に係る実績等については、出場大会名等を具体的に記入する。

※ 箇条書きでもよい。

(2) 公的機関による資格認定、学校内外におけるスポーツ活動、文化活動、芸術活動及びボランティア活動など特筆すべき記録等があれば具体的に記入する。ただし、「特別活動の記録」の欄に記載すべきことは除く。

7 欠席日数

(1) 第1学年及び第2学年の欄は、生徒指導要録から転記する。

※ 欠席日数がない場合には、空白とせず0を記入する。

(2) 第3学年の欄は、令和6年1月末日現在で記入する。

※ 不登校生徒が学校外の施設において相談・指導を受けるとき、下記の要件を満たすとともに、当該施設における相談・指導が不登校生徒の社会的な自立を目指すものであり、かつ、不登校生徒が現在において登校を希望しているか否かにかかわらず、不登校生徒が自ら登校を希望した際に、円滑な学校復帰が可能となるよう個別指導等の適切な支援を実施していると評価できる場合、校長は指導要録上出席扱いとすることができる。

① 保護者と学校との間に十分な連携・協力関係が保たれていること。

② 当該施設は、教育委員会等が設置する教育支援センター等の公的機関とするが、公的機関での指導の機会が得られないあるいは公的機関に通うことが困難な場合で本人や保護者の希望もあり適切と判断される場合は、民間の相談・指導施設も考慮されてよいこと。ただし、民間施設における相談・指導が個々の生徒にとって適切であるかどうかについては、校長が、設置者である教育委員会と十分な連携をとって判断するものとする。

(後略)

③ 当該施設に通所又は入所して相談・指導を受ける場合を前提とすること。

④ (省略)

(令和元年10月25日 文部科学省通知)

8 体力テスト

第3学年の総合判定をA、B、C、D、Eで記載する。

※ 体力テストの欄に記入ができない場合は、斜線(／)を引き、「その他の事項」の欄にその理由を記入する。

9 その他の事項

(1) 欠席日数が学年ごとに10日以上ある時には、主な理由を記入する。

(2) 過年度卒業者については、中学校卒業後の職歴又は学歴などを記入する。

受検番号	※
------	---

分野	
----	--

志願理由書

令和 年 月 日

茨城県立 高等学校長 殿

出身校名 _____ ふ り が な
志願者氏名 _____

私が貴校 $\left\{ \begin{array}{l} \text{全日制} \\ \text{定時制} \end{array} \right\}$ 課程 () 科の特色選抜を志願する理由は次のとおりです。

1 志願の理由（当該高等学校・学科の特色選抜を志願する動機や理由、高校入学後の活動意欲等について書く。）

[illegible]

2 出願要件に係る実績等（部活動等、年度、大会名、成績、役割等を具体的に書く。）

[illegible]

注1 ※欄以外は、志願者本人が、黒色のペン又は黒鉛筆で直筆のこと。

2 分野の欄は、高等学校が求める分野を記入すること。記入事項がない場合は斜線（／）を引く。

3 課程については、該当するものを○で囲む。

4 () 内には、コース名等を記入する。

5 志願の理由及び出願要件に係る実績等は枠内でまとめる。

6 大洗高等学校普通科音楽コース志願者は、「2 出願要件に係る実績等」欄に、実技検査で使用する楽器及び持参の有無を追記する。

合 格 通 知 書

出 身 校 名

受 検 番 号

氏 名

あなたは、令和6年度茨城県立高等学校入学者選抜において、

本校 制課程 () 科に合格したので通知します。

令和6年3月 日

茨城県立 高等学校長 氏 名 印

- 注1 特色選抜志願者の合格通知書については、「本校 制課程 (A4判) 科に合格」の次に、
〔特色選抜〕又は〔共通選抜〕を加える。
2 () 内には、コース名等を記入する。

帰国子女特例入学者選抜海外在住状況説明書

茨城県立

令和

年

月

日

志願者氏名

保護者氏名（署名）

下記の記載事項は事実と相違ありません。

記

- 海外在住地名（国名）
-
-
- 海外在住期間
-

学 校 名	所在地（国名・都市名）	期 間
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
備 考		

上記の状況に相違のないことを認めます。

令和

年

月

日

（A 4 判）

注 保護者勤務先の所属長の証明が得られない場合は、在籍（出身）校長（日本人学校長）の証明に代えることができる。

外国人特例入学者選抜海外在住状況説明書

令和 年 月 日

茨城県立 高等学校長 殿

志願者氏名

保護者氏名（署名）

下記の記載事項は事実と相違ありません。

記

- 1 入国年月日 年 月 日
- 2 入国後の編入学校名（編入学年）
- 3 入国前、入国後の教育歴

学 校 名	所在地（国名・都市名）	期 間
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
備 考	特に参考になることがあれば記入する。	

上記の状況に相違のないことを認めます。

令和 年 月 日

保護者勤務先
所属所名

所属長氏名（署名）

（A 4 判）

注 保護者勤務先の所属長の証明が得られない場合は、在籍（出身）校長の証明に代えることができる。

		一般入学	第2次募集
成人特例入学者選抜措置申請書 令和 年 月 日 茨城県立 高等学校長 殿 私は、令和6年度茨城県立高等学校入学者選抜において、成人特例入学者選抜措置による受検を希望するので、申請します。 住 所 （〒 ー ） 氏 名（署名） 昭和・平成 年 月 日生（ 歳） 連絡先 電 話			

（A4判）

- 注 1 一般入学及び第2次募集の欄並びに元号については、該当するものを○で囲む。
- 2 令和6年4月1日現在の満年齢を記入する。

県外等からの転入先等証明書

令和 年 月 日

茨城県立 高等学校長 殿

出身校名 _____

校長氏名（署名） _____

志 願 者 氏 名		昭和・平成 年 月 日 生
在籍（出身）校名 （卒業年月日）	（平成・令和 年 月 日 卒業見込・卒業）	
保 護 者 氏 名	（志願者との関係： ）	
保 護 者 の 現 住 所	（〒 - ）	

上記の者の貴校への志願に関して、下記のとおりであることを証明します。

記

保 護 者 及 び 志 願 者 の 転 入 先 住 所	（〒 - ）
転 入 予 定 日	令和 年 月 日
転入先の住居を証明 する添付書類名	
理 由	
添付しました転入先の住居を証明する書類は、原本と相違ありません。 なお、貴校以外の公立高等学校には出願しておりません。	

（A 4判）

身元引受人承諾書

令和 年 月 日

茨城県立 高等学校長 殿

ふ り が な
身元引受人氏名（署名） _____

住 所 _____

電話番号 _____

志願者との関係 _____

下記の者が貴校を志願するに当たり、入学後は責任をもって身元引受人となることを承諾します。

記

1 ふ り が な
志願者氏名 _____

2 入学後の志願者住所

3 ふ り が な
保護者氏名（署名） _____

4 保護者住所 _____

全国募集志愿理由書

令和 年 月 日

茨城県立 高等学校長 殿

出身校名_____

ふりがな
志願者氏名 _____

私が貴校（ ）科を志願する理由は次のとおりです。

【志願理由】

This image shows a full page of blank handwriting practice paper. It features multiple sets of horizontal lines designed to guide letter formation. Each set consists of three lines: a solid top line, a dashed middle line, and a solid bottom line. These sets are repeated vertically down the entire page, providing a template for practicing consistent letter height and placement. The left margin is slightly wider than the rest of the page, and there are no margins at the top or bottom.

注1 ※欄以外は、志願者本人が、黒色のペン又は黒鉛筆で直筆のこと。

2 () 内には、コース名を記入する。

上記生徒が貴校を志願することを認めます。

出身校名
校長氏名

印

障害のある受検者等に対する特別措置申請書

令和 年 月 日

茨城県立

高等学校長 殿

出身校名

志願者氏名

保護者氏名（署名）

住所

貴校の入学選抜において、障害のある受検者等に対する特別措置を次のとおり申請します。

1 志願を希望する課程・学科

〔 全日制・定時制 〕 課程 科（ ）

※ 課程については、該当するものを○で囲む。（ ）内には、コース名等を記入する。

2 志願者の状況

障害等の状況と、学校生活（定期考査等）の中で行われている合理的配慮または病気やけがにより行われている配慮について、具体的に記入してください。

障害等の状況	学校生活の中で行われている配慮

3 上記2に基づき、学力検査等を受検する上で希望する措置を、箇条書きで記入してください。

※ 書ききれない場合は、別紙(任意様式、A4判)を添付する。

(A4判)

様式第19号の1（表面）

令和6年度第2次募集入学願書				受検番号	※
志 望 課 程	全 日 制	志 望	第 1	(科)	
	定 時 制	学 科	第 2	(科)	
志 願 者	ふ り が な 氏 名 (生 年 月 日)	(昭和・平成 年 月 日生)			
	現 住 所	(〒 -)	(電話 - -)		
	出 身 校 (卒業年月日)	(昭和・平成・令和 年 月 日 卒業見込・卒業)			
保護者	現 住 所	□志願者の欄に同じ (〒 -)		志願者との関係	
貴校の上記の課程・学科への入学を志願いたします。 令和 年 月 日 保護者氏名（署名） 茨城県立 高等学校長 殿				茨城県の令和6年度学力検査 結果（解答用紙の写し）の有無 有 ・ 無 ※該当を○で囲む 無しの理由（簡潔に記入）	

（記入上の注意は裏面）

茨城県収入証紙欄					
金 額	千	百	十	円	
ただし、茨城県立高等学校					
全日制入学者選抜手数料		2,200円			
定時制入学者選抜手数料		950円			

（取扱い上の注意は裏面）

（A 4 判3/4）

-----（志願先高等学校が切り取る。）-----

様式第19号の2（表面）

令和6年度第2次募集受検票				
志望学科	第 1 (科)	第 2 (科)	受検番号	※
志願者氏名 (生年月日)	(昭和・平成 年 月 日生)			
出 身 校				
志 願 先 高等学校	茨 城 県 立 高 等 学 校 印			

注 ※欄は志願先高等学校が記入する。

（A 4 判1/4）

様式第19号の1（裏面）

○ 記入上の注意

- 1 志望課程欄、生年月日欄及び卒業年月日欄は該当するものを○で囲み、※欄は記入しない。
- 2 第2志望学科の欄については、第2志望を認めている高等学校を希望する場合に、第2志望があるときは記入し、なければ斜線（／）を引く。また、第2志望を認めていない高等学校の場合も斜線（／）を引く。
- 3 水戸第三高等学校音楽科及び取手松陽高等学校音楽科への入学志願者は、専攻したい部門名を志望学科欄の第1志望学科の下の（ ）に記入する。
また、弦・管・打楽器の部門を専攻する者は、専攻する楽器名を志望学科欄の第2志望学科の下の（ ）に記入する。
- 4 大洗高等学校、中央高等学校、筑波高等学校及び三和高等学校の普通科のコースへの入学志願者は、志望するコース名を志望学科欄の志望学科の下の（ ）に記入する。
- 5 水戸南高等学校への入学志願者は、昼間又は夜間のいずれか一方を、鹿島灘高等学校、茎崎高等学校及び結城第二高等学校への入学志願者は、午前、午後又は夜間のいずれかを、高萩高等学校及びI T未来高等学校への入学志願者は、午前又は午後のいずれか一方を、志望学科欄の志望学科の下の（ ）に記入する。
- 6 「現住所」については、県内居住者は郡・市名から記入し、県外居住者は県名から記入する。
※ 転居予定者は、転居予定先の住所を記入する。
- 7 保護者の現住所が志願者の現住所と同一の場合には、「志願者の欄に同じ」の□の中に✓を記入する。
- 8 令和6年4月1日現在で満18歳以上の志願者の場合には、保護者の現住所、保護者氏名は、志願者の現住所、志願者氏名とする。
また、志願者との関係欄には「志願者本人」と記入する。
- 9 「茨城県の令和6年度学力検査結果（解答用紙の写し）の有無」及び「無しの理由」の欄については、一般入学学力検査の結果を第2次募集において参考資料とする学科に出願する場合は記入し、参考資料としない学科に出願する場合は斜線（／）を引く。
- 10 誤記を訂正する場合は、2本の線（——）を引き、正しく書き直す。（訂正印不要）

○ 茨城県収入証紙欄の取扱い上の注意

- 1 収入印紙と間違えない。
- 2 茨城県収入証紙は、消印しない。
- 3 金額は、算用数字で正確に記入する。
- 4 ただし書きにおいては、不要箇所を、2本の線（——）で消す。
- 5 入学者選抜手数料の免除制度があるので、希望する者は志願先高等学校に問い合わせる。当該免除制度が適用された場合、金額は記入しない。

様式第19号の2（裏面）

- 1 面接等日程 3月15日（金）
8：40 ～ 8：45 集合・点呼
8：45 ～ 9：00 諸注意
9：10 ～ 面接等
- 2 注意
(1) 当日は、午前8時40分までに志願先高等学校に集合する。
(2) 受検票及び筆記用具を必ず持参する。
(3) 上履きを各自用意する。
(4) 受検に当たっては、すべて係員の指示に従う。

自己申告書

茨城県立

高等学校長 殿

令和 年 月 日

出身校名_____

志願者氏名_____

保護者氏名（署名）_____

貴校への志願に当たり、次のことがらについて説明します。

志願者記入欄

説明したいことがら

説明

保護者記入欄

説明

記入及び取扱い上の注意

- 1 志願者記入欄は、志願者本人が記入してください。
- 2 志願者記入欄の「説明したいことがら」には、「欠席が多いこと」、「障害があること」によって生ずることがら」など具体的に記入してください。
- 3 上記2で「欠席が多いこと」について、自己申告書を提出できる者は、年間の欠席日数が30日以上の場合とします。ただし、学校への復帰を前提に相談・指導を公的機関等で受けた場合は、年間の欠席日数が30日未満でも自己申告書を提出できます。
- 4 説明する内容については、欠席が多いことの事情や障害があることによって生ずることがら等について記入するものとしますが、さらに、高等学校へ進学したい動機や、そこで学びたいことなども記入することができます。
- 5 保護者記入欄は、志願者の保護者が記入してください。
- 6 記入欄に書ききれない場合は、別紙（任意様式）を添付してください。
- 7 自己申告書は、封をした上で、出身又は在籍校長に提出してください。提出された自己申告書は、封をしたまま志願先高等学校長に提出されます。
なお、封筒には、志願者氏名を記入してください。
- 8 記載内容によって不利が生じることはありません。

令和 年 月 日

入学志願者書類送付書

茨城県立 高等学校長 殿

立 校長 印

下記書類を提出します。

記

1 入学願書等

書類名	共通選抜	特色選抜	合 計
入 学 願 書	通	通	通
調 査 書	通	通	通
志願理由書		通	通

2 特例選抜関係

外国人特例入学者選抜海外在住状況説明書	通
帰国子女特例入学者選抜海外在住状況説明書	通
成人特例入学者選抜措置申請書	通

3 その他

自己申告書	通
「解答用紙の写し」等送付用シート	通
()	通

ただし、上記の入学願書の内訳は次のとおりです。

共通選抜

科	科	科	科	科	科	科	科	合 計

特色選抜

科	科	科	科	科	科	科	科	合 計

※ 過年度卒業者数は、内数で () 書きとして記入する。

(A 4 判)

- 注 1 入学願書、調査書及び志願理由書等の提出のときに使用する。
2 上記 1、2 及び 3 の表について、提出書類がない欄については、斜線 (/) とする。
3 学科別の内訳については、提出書類がある学科のみ記載することとし、他の欄は斜線 (/) とする。
4 特例選抜 (外国人、帰国子女及び成人) の入学願書及び調査書の数については、共通選抜に含めることとする。
5 I T 科等は志願理由書を活動報告書に読み替えることとする。

令和 年 月 日

第2次募集入学志願者書類送付書

茨城県立 高等学校長 殿

立 校長 印

下記書類を提出します。

記

1 第2次募集入学願書等

書類名	合 計
第2次募集入学願書	通
調 査 書	通

2 特例選抜関係

成人特例入学者選抜措置申請書	通
----------------	---

3 その他

自己申告書	通
「解答用紙の写し」及び「解答用紙の写し」等送付用シート	部
()	通

ただし、上記の第2次募集入学願書の内訳は次のとおりです。

科	科	科	科	科	科	科	科	合 計

※ 過年度卒業生数は、内数で () 書きとして記入する。

(A4判)

注1 第2次募集入学願書及び調査書等の提出(3月13日及び3月14日)のときに使用する。
注2 上記1、2及び3の表について、提出書類がない欄については、斜線(／)とする。
注3 学科別の内訳については、提出書類がある学科のみ記載することとし、他の欄は斜線(／)とする。
注4 特例選抜(成人)の入学願書及び調査書の数については、「1 第2次募集入学願書等」及び第2次募集入学願書の内訳に含めることとする。

令和 年 月 日

合格通知書受領証

茨城県立 高等学校長 殿

立

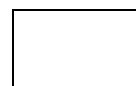
校長

印

入学者選抜に関する下記書類を受領しました。

記

合格通知書



通

(A 4判)

注1 この書類は、合格者の発表(3月12日)及び第2次募集の合格者の発表(3月19日)のとき、志願先高等学校長に提出する。

2 提出に当たっては、出身校が必要事項を記載し、押印の上、提出する。受領数は、受け取るときに提出者が記入する。

他の公立高等学校を併願しない旨の証明書

令和 年 月 日

茨城県立 高等学校長 殿

出身校名

校長氏名

印

令和 6 年度高等学校入学者選抜において、下記の者が貴校以外の公立高等学校に出願していないことを証明します。

記

志願者氏名

生 年 月 日 昭和・平成 年 月 日生

卒業年月日 平成・令和 年 月 日 卒業見込・卒業

（ A 4 判）

様式第 25 号の 1（表面）

令和 6 年 度 追 検 査 申 請 書

令和 年 月 日

茨城県立 高等学校長 殿

受検番号

志願者氏名

出身校

保護者氏名（署名）

申 請 理 由	
---------	--

上記の理由により、追検査を申請します。

（記入上の注意は裏面）

-----（志願先高等学校が切り取る。）-----

様式第 25 号の 2（表面）

令和 6 年 度 追 検 査 許 可 書	
受検番号	
志 願 者 氏 名	
出 身 校	
志 願 先 高等学校	茨城県立 高等学校 印

様式第 25 号の 1（裏面）

○ 記入上の注意

- 1 受検番号は、交付済の学力検査受検票にある受検番号を記載する。
- 2 令和 6 年 4 月 1 日現在で満 18 歳以上の志願者の場合には、保護者氏名は、志願者氏名とする。
- 3 誤記を訂正する場合は、2 本の線（=====）を引いて訂正する。
- 4 申請理由は、一般入学の共通選抜に係る検査等を受検できない理由を明記する。

様式第 25 号の 2（裏面）

- 1 学力検査追検査の日程 3 月 7 日（木）

集 合	8:40		
第 1 時	9:20～10:10	外国語（英語）	昼 食 12:30～13:20
第 2 時	10:30～11:20	国語	第 4 時 13:20～14:10 社会
第 3 時	11:40～12:30	数学	第 5 時 14:30～15:20 理科
- 2 共通選抜実技検査及び多部制の定時制課程における面接追検査の日程 3 月 8 日（金）

集 合	8:40
実 施	9:10～
- 3 注意
 - (1) 追検査当日、午前 8 時 40 分までに、検査場（志願先高等学校）に集合する。
 - (2) 追検査当日は、マスクを持参する。
 - (3) この追検査許可書は、学力検査受検票とともに必ず持参し、受検中は机の上に置く。
 - (4) 検査時、検査室には、HB、B または 2 B の黒鉛筆、消しゴム、コンパス、三角定規（以上は必ず持参する。）、下敷き及び鉛筆削り等の文具のほかは持ち込まない。
*鉛筆はシャープペンシルも可とする。
*時計及び携帯電話等は、検査室に持ち込まない。
 - (5) 昼食、上履きは各自用意する。
 - (6) 受検に当たっては、すべて係員の指示に従う。

「解答用紙の写し」等送付用シート

志願先変更後 受 検 番 号
※
受 検 番 号
※

※欄は志願先の学校が記入する。

このシートは、合格発表後、不合格となった受検者に「解答用紙の写し」を簡易書留等により自宅へお送りする際の宛先として使います。

以下に、郵便番号、住所、受検者の氏名を保護者が記入し、入学願書とともに中学校等に提出してください。住所は、原則として、入学願書と同じ記載にしてください。

(住 所) 〒

(氏 名) 様

「解答用紙の写し」の送付を必要としない場合は、以下の□に、☒願います。

※送付を必要としない場合でも、宛先用の郵便番号、住所、受検者の氏名については、改めて希望する可能性も考慮し、念のため記載願います。

☐ 「解答用紙の写し」の送付は必要ありません。

活 動 報 告 書

令和 年 月 日

茨城県立 I T 未来高等学校長 殿

出身校名 _____ ふりがな
志願者氏名 _____

1 活動区分 (□のいずれかに✓を入れる。) □ 個人 □ グループ

2 活動のタイトル _____

3 活動内容の概要 (本活動において参加した大会やコンテストがある場合はその名称も書くこと)
* グループで行った活動の場合は、自分が担当した部分を明確にすること

4 自分が行った活動で一番伝えたいこと (工夫した点、試行錯誤した点、難しかった点、苦勞した点など)

5 入学した後に挑戦したい活動 (I T 関係の探究活動又はコンテスト) 及びその内容

6 プレゼンテーション実施に関する調査 (□のいずれかに✓を入れる。)

発表資料 (P D F 形式) を入れる U S B メモリの貸与を希望しますか。〔学力検査終了後に貸与〕

□ 希望する

□ 希望しない ➡ 学力検査終了後の発表資料投影確認を希望しますか。 □ 希望する

□ 希望しない

注 ※欄以外は、志願者本人が、黒色のペン又は黒鉛筆で直筆のこと。

活 動 報 告 書

令和 年 月 日

茨城県立つくばサイエンス高等学校長 殿

出身校名 _____ ふりがな
志願者氏名 _____

* 出願要件ア、イのどちらかの□に✓を入れ、右に詳細を記入すること。

・ □ 要件ア 取り組んだ分野 (○印) : ロボット、情報、建築、化学、生物、宇宙、防災、エネルギー、
まちづくり、環境、食品、その他 ()

取り組んだテーマ : ()

・ □ 要件イ コンテスト名 () 出品テーマ ()

1 テーマ設定の理由、またはコンテスト等参加の理由

2 活動で工夫した点

(取組過程での工夫、どのように調べたのか、情報の収集先や、実験や観察等を行った場合にはその方法等を具体的に書く。)

3 活動を通して分かったことや考えたこと

4 入学後に取り組みたいこと

(もっと調べたくなった課題や、改善するためのアイデア等を書く。)

5 プレゼンテーションに使用する機器・資料について (あてはまる□に✓を入れる。)

□ PCや作品等の持ち込みをしない。(口頭発表のみ)

□ PC □ タブレット □ 作品 □ 手持ち資料やメモ等

□ 自作ポスター等 → 具体的に ()

注 ※欄以外は、志願者本人が、黒色のペン又は黒鉛筆で直筆のこと。

別表 1 高等学校別入学者選抜実施方法

全日制課程

共通選抜では、学力検査(得点合計)の順位が募集定員から特列入学者選抜枠及び特色選抜枠の合格者数を引いた数の80パーセント以内、かつ、調査書(3年間の評定合計)の順位が募集定員から特列入学者選抜枠及び特色選抜枠の合格者数を引いた数以内の場合、A群として原則合格とする。B群は、受検者全体からA群での合格者を除いた残りとする。

区分		特色選抜の実施及び選抜資料					共通選抜でB群に属する者のうちから合格者を選抜する方法					
							学力検査重視の選抜と調査書重視の選抜で合格する人数の比率(%)		調査書重視の選抜で利用する項目			
学校名	学科名	学力検査	調査書	面接	作文	実技検査	学力検査重視	調査書重視	3年間の評定	特別活動	部活動・特技等	総合的な学習の時間等
高萩清松	総合学科	実施しない。					70	30	○	○	○	○
日立第一	普通、サイエンス	○	○	○			80	20	○	○	○	
日立第二	普通	○	○	○			80	20	○	○	○	
日立工業	機械・工業化学	○	○	○			80	20	○	○	○	○
	電気	○	○	○			80	20	○	○	○	○
	情報電子	○	○	○			80	20	○	○	○	○
多賀	普通	○	○	○			80	20	○			○
日立商業	商業	○	○	○			80	20	○	○	○	
	情報処理	○	○	○			80	20	○	○	○	
日立北	普通	○	○	○			80	20	○	○	○	○
磯原郷英	普通	○	○	○			70	30	○	○	○	○
太田第一	普通	○	○	○			80	20	○	○	○	○
太田西山	普通	○	○	○			80	20	○			○
大子清流	農林科学	実施しない。					50	50	○	○	○	○
	総合学科	実施しない。					70	30	○	○	○	○
小瀬	普通	実施しない。					80	20	○	○	○	○
常陸大宮	普通	実施しない。					50	50	○	○	○	○
	機械・情報技術	実施しない。					50	50	○	○	○	○
	商業	実施しない。					50	50	○	○	○	○
水戸第一	普通	○	○	○		○	80	20	○	○	○	○
水戸第二	普通	実施しない。					80	20	○	○	○	○
水戸第三	普通	○	○	○			80	20	○		○	○
	家政	実施しない。					80	20	○		○	○
	音楽	実施しない。					80	20	○		○	○

※ ○は、実施及び利用する項目である。

※ 日立第一高等学校の普通科とサイエンス科は、くくり募集を行う。

※ 高萩清松、日立第一、磯原郷英、太田第一、大子清流（総合学科）及び水戸第一の各高等学校は、単位制である。

※ 共通選抜において、次の学科を志願する場合は、同一校のそれぞれの学科内において第1及び第2の志望順位をつけて同時に2学科まで志願することができる。

- ・日立工業高等学校の工業に関する学科（機械・工業化学科、電気科、情報電子科）
- ・日立商業高等学校の商業に関する学科（商業科、情報処理科）

共通選抜では、学力検査(得点合計)の順位が募集定員から特例入学者選抜枠及び特色選抜枠の合格者数を引いた数の80パーセント以内、かつ、調査書(3年間の評定合計)の順位が募集定員から特例入学者選抜枠及び特色選抜枠の合格者数を引いた数以内の場合、A群として原則合格とする。B群は、受検者全体からA群での合格者を除いた残りとする。

区分		特色選抜の実施及び選抜資料					共通選抜でB群に属する者のうちから合格者を選抜する方法					
							学力検査重視の選抜と調査書重視の選抜で合格する人数の比率(%)		調査書重視の選抜で利用する項目			
学校名	学科名	学力検査	調査書	面接	作文	実技検査	学力検査重視	調査書重視	3年間の評定	特別活動	部活動・特技等	総合的な学習の時間等
緑岡	普通、理数	実施しない。					80	20	○	○	○	○
水戸農業	農業	○	○	○			50	50	○	○	○	○
	園芸	○	○	○			50	50	○	○	○	○
	畜産	○	○	○			50	50	○	○	○	○
	食品化学	○	○	○			50	50	○	○	○	○
	農業土木	○	○	○			50	50	○	○	○	○
	生活科学	○	○	○			50	50	○	○	○	○
	農業経済	○	○	○			50	50	○	○	○	○
水戸工業	機械	○	○	○			80	20	○	○	○	○
	電気	○	○	○			80	20	○	○	○	○
	情報技術	○	○	○			80	20	○	○	○	○
	建築	○	○	○			80	20	○	○	○	○
	土木	○	○	○			80	20	○	○	○	○
	工業化学	○	○	○			80	20	○	○	○	○
水戸商業	商業	○	○	○			80	20	○	○	○	
	情報ビジネス	○	○	○			80	20	○	○	○	
	国際ビジネス	○	○	○			80	20	○	○	○	
水戸桜ノ牧	普通	○	○	○			80	20	○		○	
水戸桜ノ牧常北校	普通	○	○	○			70	30	○	○	○	○
勝田工業	総合工学	○	○	○			80	20	○	○	○	○
佐和	普通	○	○	○			80	20	○		○	
那珂湊	普通	○	○	○			50	50	○	○	○	○
	商業に関する学科	○	○	○			50	50	○	○	○	○

※ ○は、実施及び利用する項目である。

※ 緑岡高等学校の普通科と理数科は、くくり募集を行う。

※ 那珂湊高等学校の商業に関する学科（起業ビジネス科、情報ビジネス科）は、くくり募集を行う。

※ 勝田工業高等学校は、単位制である。

※ 共通選抜において、次の学科を志願する場合は、同一校のそれぞれの学科内において第1及び第2の志望順位をつけて同時に2学科まで志願することができる。

- ・水戸農業高等学校の農業に関する学科（農業科〈全日制課程〉、園芸科、畜産科、食品化学科、農業土木科、生活科学科、農業経済科）
- ・水戸工業高等学校の工業に関する学科（機械科、電気科、情報技術科、建築科、土木科、工業化学科）
- ・水戸商業高等学校の商業に関する学科（商業科、情報ビジネス科、国際ビジネス科）

共通選抜では、学力検査(得点合計)の順位が募集定員から特例入学者選抜枠及び特色選抜枠の合格者数を引いた数の80パーセント以内、かつ、調査書(3年間の評定合計)の順位が募集定員から特例入学者選抜枠及び特色選抜枠の合格者数を引いた数以内の場合、A群として原則合格とする。B群は、受検者全体からA群での合格者を除いた残りとする。

区分		特色選抜の実施及び選抜資料					共通選抜でB群に属する者のうちから合格者を選抜する方法					
							学力検査重視の選抜と調査書重視の選抜で合格する人数の比率(%)		調査書重視の選抜で利用する項目			
学校名	学科名	学力検査	調査書	面接	作文	実技検査	学力検査重視	調査書重視	3年間の評定	特別活動	部活動・特技等	総合的な学習の時間等
海洋	海洋技術	実施しない。					30	70	○	○	○	○
	海洋食品	実施しない。					30	70	○	○	○	○
	海洋産業	実施しない。					30	70	○	○	○	○
笠間	普通	○	○	○			80	20	○	○	○	○
	美術	実施しない。					80	20	○	○	○	○
	メディア芸術	実施しない。					80	20	○	○	○	○
大洗	普通	○	○	○			70	30	○	○	○	○
	(普)音楽コース	○	○	○		○	70	30	○	○	○	○
東海	普通	○	○	○			80	20	○	○	○	○
茨城東	普通	○	○	○			30	70	○	○	○	○
那珂	普通	○	○	○			80	20	○	○	○	○
鉾田第一	普通	○	○	○			80	20	○	○	○	○
鉾田第二	総合学科	○	○	○			70	30	○	○	○	○
	農業	○	○	○			50	50	○	○	○	○
	食品技術	○	○	○			50	50	○	○	○	○
玉造工業	工業に関する学科	○	○	○			20	80	○	○	○	○
麻生	普通	○	○	○			70	30	○	○	○	
潮来	普通	実施しない。					70	30	○	○	○	○
	地域ビジネス	実施しない。					70	30	○	○	○	○
	人間科学	実施しない。					70	30	○	○	○	○
鹿島	普通	○	○	○			80	20	○	○	○	○
神栖	普通	実施しない。					60	40	○	○	○	○
波崎	普通	実施しない。					70	30	○	○	○	○
	機械	実施しない。					70	30	○	○	○	○
	電気	実施しない。					70	30	○	○	○	○
	工業化学・情報	実施しない。					70	30	○	○	○	○
波崎柳川	普通	実施しない。					70	30	○	○	○	○

※ ○は、実施及び利用する項目である。

※ 玉造工業高等学校の工業に関する学科（機械科、電気科、情報技術科）は、くくり募集を行う。

※ 茨城東、鉾田第一、鉾田第二（総合学科）及び鹿島の各高等学校は、単位制である。

※ 共通選抜において、次の学科を志願する場合は、同一校のそれぞれの学科内において第1及び第2の志望順位をつけて同時に2学科まで志願することができる。

- ・海洋高等学校の水産に関する学科（海洋技術科、海洋食品科、海洋産業科）
- ・鉾田第二高等学校の農業に関する学科（農業科、食品技術科）
- ・波崎高等学校の工業に関する学科（機械科、電気科、工業化学・情報科）

※ 共通選抜において、大洗高等学校の普通科音楽コースを志願する場合は、同一校の普通科を第2志望として志願することができる。

共通選抜では、学力検査(得点合計)の順位が募集定員から特例入学者選抜枠及び特色選抜枠の合格者数を引いた数の80パーセント以内、かつ、調査書(3年間の評定合計)の順位が募集定員から特例入学者選抜枠及び特色選抜枠の合格者数を引いた数以内の場合、A群として原則合格とする。B群は、受検者全体からA群での合格者を除いた残りとする。

区分		特色選抜の実施及び選抜資料					共通選抜でB群に属する者のうちから合格者を選抜する方法					
							学力検査重視の選抜と調査書重視の選抜で合格する人数の比率(%)		調査書重視の選抜で利用する項目			
学校名	学科名	学力検査	調査書	面接	作文	実技検査	学力検査重視	調査書重視	3年間の評定	特別活動	部活動・特技等	総合的な学習の時間等
土浦第一	普通	実施しない。					80	20	○	○	○	○
土浦第二	普通	実施しない。					80	20	○	○	○	
土浦第三	普通	○	○	○			80	20	○	○	○	○
	商業に関する学科	○	○	○			80	20	○	○	○	○
土浦工業	機械	○	○	○			70	30	○	○	○	○
	電気	○	○	○			70	30	○	○	○	○
	情報技術	○	○	○			70	30	○	○	○	○
	建築	○	○	○			70	30	○	○	○	○
	土木	○	○	○			70	30	○	○	○	○
土浦湖北	普通	○	○	○			80	20	○	○	○	○
石岡第一	普通	○	○	○			80	20	○	○	○	○
	園芸	○	○	○			50	50	○	○	○	○
	造園	○	○	○			50	50	○	○	○	○
石岡第二	普通	○	○	○			70	30	○	○	○	○
	生活デザイン	○	○	○			70	30	○	○	○	○
石岡商業	商業	○	○	○			70	30	○	○	○	○
	情報処理	○	○	○			70	30	○	○	○	○
中央	普通	○	○	○			80	20	○	○	○	○
	(普) スポーツ科学コース	○	○	○		○	80	20	○	○	○	○
竜ヶ崎第一	普通	○	○	○			80	20	○	○	○	○
竜ヶ崎第二	普通	○	○	○			70	30	○	○	○	○
	商業	○	○	○			70	30	○	○	○	○
	人間文化	○	○	○			70	30	○	○	○	○
竜ヶ崎南	普通	実施しない。					30	70	○	○	○	○
江戸崎総合	総合学科	○	○	○			50	50	○	○	○	○

※ ○は、実施及び利用する項目である。

※ 土浦第三高等学校の商業に関する学科(商業科、会計ビジネス科、情報処理科)は、くくり募集を行う。

※ 土浦第一、竜ヶ崎第一及び江戸崎総合の各高等学校は、単位制である。

※ 共通選抜において、次の学科を志願する場合は、同一校のそれぞれの学科内において第1及び第2の志望順位をつけて同時に2学科まで志願することができる。

- ・土浦工業高等学校の工業に関する学科(機械科、電気科、情報技術科、建築科、土木科)
- ・石岡第一高等学校の農業に関する学科(園芸科、造園科)
- ・石岡商業高等学校の商業に関する学科(商業科、情報処理科)

※ 共通選抜において、中央高等学校の普通科スポーツ科学コースを志願する場合は、同一校の普通科を第2志望として志願することができる。

共通選抜では、学力検査(得点合計)の順位が募集定員から特例入学者選抜枠及び特色抜枠の合格者数を引いた数の80パーセント以内、かつ、調査書(3年間の評定合計)の順位が募集定員から特例入学者選抜枠及び特色選抜枠の合格者数を引いた数以内の場合、A群として原則合格とする。B群は、受検者全体からA群での合格者を除いた残りとする。

区分		特色選抜の実施及び選抜資料					共通選抜でB群に属する者のうちから合格者を選抜する方法					
							学力検査重視の選抜と調査書重視の選抜で合格する人数の比率(%)		調査書重視の選抜で利用する項目			
学校名	学科名	学力検査	調査書	面接	作文	実技検査	学力検査重視	調査書重視	3年間の評定	特別活動	部活動・特技等	総合的な学習の時間等
取手第一	総合学科	○	○	○			80	20	○	○	○	○
取手第二	普通	○	○	○			80	20	○	○	○	○
	家政	○	○	○			80	20	○	○	○	○
取手松陽	普通	○	○	○		○体	80	20	○	○	○	○
	美術	実施しない。					80	20	○	○	○	○
	音楽	実施しない。					80	20	○	○	○	○
藤代	普通	○	○	○			80	20	○	○	○	○
藤代紫水	普通	○	○	○		○体	60	40	○		○	
牛久	普通	○	○	○			80	20	○	○	○	○
牛久栄進	普通	実施しない。					80	20	○	○	○	○
筑波	(普)進学アドバンスコース	実施しない。					80	20	○	○	○	○
	(普)地域キャリアビジネスコース	実施しない。					30	70	○	○	○	○
竹園	普通、国際	実施しない。					80	20	○	○	○	○
つくばサイエンス	科学技術	○	○	○プ			80	20	○	○	○	○
岩瀬	普通	実施しない。					70	30	○	○	○	○
	衛生看護	実施しない。					70	30	○	○	○	○
真壁	普通	○	○	○			50	50	○	○	○	○
	農業・環境緑地	○	○	○			50	50	○	○	○	○
	食品化学	○	○	○			50	50	○	○	○	○
下館第一	普通	○	○	○			80	20	○	○	○	○
下館第二	普通	○	○	○			80	20	○	○	○	○
下館工業	機械	○	○	○			70	30	○	○	○	○
	電気	○	○	○			70	30	○	○	○	○
	電子	○	○	○			70	30	○	○	○	○
	建設工学	○	○	○			70	30	○	○	○	○

※ ○は、実施及び利用する項目である。

※ 取手松陽（普通科）及び藤代紫水の各高等学校の「○体」は、実技検査については体育分野のみ実施することを示す。

※ つくばサイエンス高等学校の「○プ」は、面接に代えてプレゼンテーションを実施することを示す。

※ 竹園高等学校の普通科と国際科は、くくり募集を行う。

※ 岩瀬高等学校の衛生看護科は、5年一貫看護師養成教育を行う。

※ 取手第一、牛久栄進、つくばサイエンス及び下館第一の各高等学校は、単位制である。

※ 共通選抜において、次の学科を志願する場合は、同一校のそれぞれの学科内において第1及び第2の志望順位をつけて同時に2学科まで志願することができる。

- ・真壁高等学校の農業に関する学科（農業・環境緑地科、食品化学科）
- ・下館工業高等学校の工業に関する学科（機械科、電気科、電子科、建設工学科）

共通選抜では、学力検査(得点合計)の順位が募集定員から特例入学者選抜枠及び特色選抜枠の合格者数を引いた数の80パーセント以内、かつ、調査書(3年間の評定合計)の順位が募集定員から特例入学者選抜枠及び特色選抜枠の合格者数を引いた数以内の場合、A群として原則合格とする。B群は、受検者全体からA群での合格者を除いた残りとする。

区分		特色選抜の実施及び選抜資料					共通選抜でB群に属する者のうちから合格者を選抜する方法					
							学力検査重視の選抜と調査書重視の選抜で合格する人数の比率(%)		調査書重視の選抜で利用する項目			
学校名	学科名	学力検査	調査書	面接	作文	実技検査	学力検査重視	調査書重視	3年間の評定	特別活動	部活動・特技等	総合的な学習の時間等
明野	普通	実施しない。					40	60	○	○	○	○
下妻第一	普通	○	○	○			80	20	○			○
下妻第二	普通	○	○	○			80	20	○	○		○
結城第一	普通	実施しない。					70	30	○	○	○	○
鬼怒商業	商業に関する学科	○	○	○			80	20	○	○	○	○
石下紫峰	普通	実施しない。					40	60	○	○	○	○
水海道第一	普通	○	○	○			80	20	○			○
水海道第二	普通	○	○	○			80	20	○	○	○	
	商業	○	○	○			80	20	○	○	○	
	家政	○	○	○			80	20	○	○	○	
八千代	総合学科	○	○	○			70	30	○	○	○	○
古河第一	普通	実施しない。					80	20	○	○	○	○
	商業に関する学科	○	○	○			80	20	○	○	○	○
古河第二	普通	○	○	○			70	30	○			○
	福祉	実施しない。					70	30	○			○
古河第三	普通	○	○	○			80	20	○			○
総和工業	機械	○	○	○			70	30	○	○	○	○
	電子機械	○	○	○			70	30	○	○	○	○
	電気	○	○	○			70	30	○	○	○	○
三和	普通	実施しない。					60	40	○	○	○	○
	(普)ヒューマンサービスコース	実施しない。					60	40	○	○	○	○
境	普通	○	○	○			80	20	○			○
坂東清風	総合学科	○	○	○			70	30	○	○	○	○
	農と食	○	○	○			70	30	○	○	○	○
守谷	普通	○	○	○			50	50	○	○	○	○
伊奈	普通	○	○	○			80	20	○	○	○	○

※ ○は、実施及び利用する項目である。

※ 鬼怒商業高等学校の商業に関する学科(商業科、情報ビジネス科)は、くくり募集を行う。

※ 古河第一高等学校の商業に関する学科(流通ビジネス科、会計ビジネス科、情報ビジネス科)は、くくり募集を行う。

※ 石下紫峰、水海道第一、八千代及び坂東清風(総合学科)の各高等学校は、単位制である。

※ 共通選抜において、次の学科を志願する場合は、同一校のそれぞれの学科内において第1及び第2の志望順位をつけて同時に2学科まで志願することができる。

・総和工業高等学校の工業に関する学科(機械科、電子機械科、電気科)

※ 三和高等学校の普通科ヒューマンサービスコースを志願する場合は、同一校の普通科を第2志望として志願することができる。

定時制課程

共通選抜では、学力検査(得点合計)の順位が募集定員から特例入学者選抜枠及び特色選抜枠の合格者数を引いた数の80パーセント以内、かつ、調査書(3年間の評定合計)の順位が募集定員から特例入学者選抜枠及び特色選抜枠の合格者数を引いた数以内の場合、A群として原則合格とする。B群は、受検者全体からA群での合格者を除いた残りとする。

区分		特色選抜の実施及び選抜資料					共通選抜でB群に属する者のうちから合格者を選抜する方法					
							学力検査重視の選抜と調査書重視の選抜で合格する人数の比率(%)		調査書重視の選抜で利用する項目			
学校名	学科名	学力検査	調査書	面接	作文	実技検査	学力検査重視	調査書重視	3年間の評定	特別活動	部活動・特技等	総合的な学習の時間等
高萩	普通(午前)	実施しない。					50	50	○	○	○	○
	普通(午後)	実施しない。					50	50	○	○	○	○
日立工業	総合学科	実施しない。					50	50	○	○	○	○
太田第一	普通	実施しない。					20	80	○			○
水戸農業	農業(昼間)	実施しない。					30	70	○	○	○	○
水戸南	普通(昼間)	実施しない。					70	30	○	○	○	○
	普通(夜間)	実施しない。					50	50	○	○	○	○
I T 未来	I T (午前)	○	○	○			80	20	○	○	○	○
	I T (午後)	○	○	○			80	20	○	○	○	○
鹿島灘	普通(午前)	実施しない。					50	50	○	○	○	○
	普通(午後)	実施しない。					50	50	○	○	○	○
	普通(夜間)	実施しない。					50	50	○	○	○	○
土浦第一	普通	実施しない。					50	50	○			○
石岡第一	普通	実施しない。					50	50	○	○	○	○
竜ヶ崎第一	普通	実施しない。					50	50	○	○	○	○
茎崎	普通(午前)	実施しない。					50	50	○	○	○	○
	普通(午後)	実施しない。					50	50	○	○	○	○
	普通(夜間)	実施しない。					50	50	○	○	○	○
結城第二	普通(午前)	実施しない。					50	50	○			○
	普通(午後)	実施しない。					50	50	○			○
	普通(夜間)	実施しない。					50	50	○			○
古河第一	普通	実施しない。					30	70	○	○	○	○

※ ○は、実施及び利用する項目である。

※ I T 未来高等学校の「○」は、面接に代えてプレゼンテーションを実施することを示す。

※ 高萩、日立工業、水戸南、I T 未来、鹿島灘、茎崎及び結城第二の各高等学校は、単位制である。

※ 共通選抜において、次の高等学校における午前の部及び午後の部を志願する場合は、同一校の午前の部及び午後の部に第1及び第2の志望順位をつけて志願することができる。
・高萩、I T 未来、鹿島灘、茎崎及び結城第二の各高等学校

別表2 定時制課程の学力検査等の実施方法

区分		一 般 入 学			
		学力検査の教科数		面接・作文の実施	
学校名	学科名	5教科	3教科	面接	作文
高萩	普通(午前)		○	○	○
	普通(午後)		○	○	○
日立工業	総合学科		○	○	
太田第一	普通		○	○	○
水戸農業	農業(昼間)		○	○	
水戸南	普通(昼間)		○	○	
	普通(夜間)		○	○	
I T 未来	I T (午前)	○			
	I T (午後)	○			
鹿島灘	普通(午前)		○	○	○
	普通(午後)		○	○	○
	普通(夜間)		○	○	○
土浦第一	普通		○	○	
石岡第一	普通		○	○	
竜ヶ崎第一	普通		○	○	○
茎崎	普通(午前)		○	○	○
	普通(午後)		○	○	○
	普通(夜間)		○	○	○
結城第二	普通(午前)		○	○	○
	普通(午後)		○	○	○
	普通(夜間)		○	○	○
古河第一	普通		○	○	

※ ○は、実施及び利用する項目である。

※ 高萩、水戸南、鹿島灘、茎崎及び結城第二の各高等学校の面接は、学力検査の翌日に実施する。

※ 高萩、日立工業、水戸南、I T 未来、鹿島灘、茎崎及び結城第二の各高等学校は、単位制である。

別表3 連携型高等学校における選抜資料

区分		連携型高等学校における選抜資料			
学校名	学科名				
小瀬	普通	調査書	面接の結果	課題レポート	小論文

別表 4 実技検査課題等【一般入学（共通選抜）・第2次募集共通】
（普通科スポーツ科学コース、音楽科、美術科及びメディア芸術科）

〔1〕 中央高等学校普通科スポーツ科学コース〈特色選抜の実技検査課題等とは異なる〉		
ア 検査内容（共通課題） 全員共通種目で下記の種目を課する。 (7) 30メートル走 (イ) ハンドボール投げ (ウ) 立ち幅跳び (エ) 反復横跳び		イ 携行品 (7) 受検票 (イ) 筆記用具 (ウ) 運動のできる服装 (エ) 屋内用運動靴 (オ) 第2次募集のみ昼食を持参する。
〔2〕 水戸第三高等学校音楽科		
ア 検査内容 (7) 聴音記譜（全受検者） 簡単な旋律を聴いて、五線譜に書き取る。 (イ) コールユーブンゲン（全受検者） No. 18、19、23、24、25（大阪開成館版）より、当日指定の1曲を楽譜を見ながら階名唱で歌う。 (ウ) 専攻別課題（全受検者） 専攻したい部門別に課題を行う。（下記ウ 専攻別課題参照） (エ) ピアノ課題（作曲の専攻部門を希望する者のみ） 各自の用意した任意のピアノ曲（ソナタ以上）をピアノで演奏する。（楽譜を見てもよい。）		イ 携行品 (7) 受検票 (イ) 筆記用具 (ウ) 演奏用楽譜 (エ) 専攻の楽器（ピアノ、コントラバス、ハープ及びマリリンバを除く。ただし、弓、マレット類は持参すること。） (オ) 昼食及び上履き
ウ 専攻別課題		
専攻部門	楽 器	課 題 曲 及 び 課 題
声 楽		(1) コンコーネ 50 番より「3 番」、「4 番」及び「5 番」の中から 1 曲を選択し、暗譜で歌う。（母音アで歌う。） (2) 次の A 又は B のいずれかを選択し、暗譜で歌う。（調については指定しない。） A：成田為三作曲「浜辺の歌」の「1 番」及び「2 番」 B：イタリア歌曲（原語）の中から任意の 1 曲
ピ ア ノ	ピアノ	(1) ハノン第 39 番のシャープ、フラットそれぞれ 2 個までの長調と短調の音階を、暗譜で演奏する。なお、調は当日指定する。 (2) ハイドン、モーツァルト又はベートーヴェンの任意のピアノ・ソナタの第 1 楽章か最終楽章を暗譜で演奏する。（ただし、緩徐楽章を除く。）

専攻部門	楽 器	課 題 曲 及 び 課 題
弦 ・ 管 ・ 打 楽 器	ヴァイオリン	下の（Ａ）、（Ｂ）どちらかを選択して演奏する。 （Ａ）ローデ「24のカプリス」より、 「2 Allegretto」 「5 Moderato」 「8 Moderato assai」 「12 Comodo」 の中から１曲を選択する。 （Ｂ）モーツァルト ヴァイオリン協奏曲第３番・４番・５番のいずれかの第１楽章を演奏する。
	ヴィオラ	クロイツェル「42の練習曲」（ヴィオラ用）より任意の１曲を演奏する。
	チェロ	リー「メロディック・エチュード」第１巻より任意の１曲を演奏する。
	コントラバス	任意の１曲（練習曲も可）を演奏する。
	ハープ	ボクサー「40番練習曲」Op.318より任意の１曲を演奏する。
	フルート	（１）シャープ、フラットそれぞれ２つまでの長調及び短調の音階を２オクターブ演奏する。ただし、短調は和声的短音階とする。なお、調は当日指定する。 （２）次のＡ又はＢのいずれかを選択し、演奏する。 Ａ：ケーラー「35の練習曲」Op.33 第１巻より「１番」、「２番」、「３番」、「５番」及び「６番」の中から１曲 Ｂ：ガリボルディ「20の小練習曲」Op.132より、任意の１曲
	オーボエ	ヒンケ「オーボエのための教則本」より「23番」、「25番」及び「26番」の中から１曲を選択する。
	クラリネット	（１）シャープ、フラットそれぞれ２つまでの長調及び短調の音階を２オクターブ演奏する。ただし、短調は、和声的短音階とする。なお、調は当日指定する。 （２）ローズ「32の練習曲」より「１番」、「７番」及び「９番」の中から１曲を選択する。
	ファゴット	（１）ハ長調（C dur）または変ロ長調（B dur）の音階を２オクターブ演奏する。なお、調は当日指定する。 （２）ワイセンボーン「ファゴット教則本」第２巻より「１番」、「２番」及び「３番」の中から１曲を選択する。
	サクソフォン	ラクール「50の練習曲」第１巻より「５番」及び「６番」の中から１曲を選択する。
	ホルン	（１）ヘ長調（F dur）の音階を１オクターブ演奏する。 （２）マキシム・アルフォンス「練習曲」第１巻より「６番」、「９番」及び「22番」の中から１曲を選択する。
	トランペット	コーブラシュ「60 Studies Book I」（C.Fisher版）より「２番」及び「３番」の中から１曲を選択する。
	トロンボーン	コーブラシュ「60 Studies Book I」（C.Fisher版）より「２番」及び「３番」の中から１曲を選択する。
	ユーフォニアム	ロッシュ「メロディアスエチュード」より「３番」、「４番」及び「５番」の中から１曲を選択する。
	チューバ	（１）ヘ長調（F dur）の音階を２オクターブ演奏する。 （２）ブラゼビッチ第１巻より「１番」を演奏する。
	マリンバ	ゴールドンベルグ「モダン・スクール・フォー・シロフォン、マリンバ、ピブラフォン」より「１番」及び「４番」（p.60～61）の中から１曲を選択する。
	スネアドラム	今村征男著、塚田 靖増補「打楽器教則本」より「194番」（p.46）及び「201番」（p.47）の中から１曲を選択する。（繰り返し有り。）
	クラシックギター	カルカッシ又はソルの練習曲より任意の一曲を演奏する。
	作曲	（１）二声聴音（大譜表） （２）Ａ又はＢを選択する。（楽器の使用は認めない。） Ａ：与えられたバスの声部により四声体の和声を作る。（12小節程度、属七の和音まで） Ｂ：伴奏づけ（12小節程度）与えられた旋律にピアノ伴奏を書く。
注意 (1) 声楽については、入学願書提出時に伴奏楽譜（２曲分）を提出する。 (2) 声楽以外は、伴奏を付けないで演奏する。 (3) 楽譜について、特に版の指定のないものについては自由とする。 (4) ピアノ専攻希望者の長調の音階は、繰り返しを省略する。短調の音階は、和声短音階を１回弾いた後、続けて旋律短音階を１回弾き、終止形をつけて終わりにする。 (5) 指示がない場合は、繰り返しはしない。		

〔３〕 取手松陽高等学校音楽科

ア 検査内容 (ア) 聴音記譜（全受検者） 簡単な旋律を聴いて、五線譜に書き取る。 (イ) 新曲視唱（全受検者） 当日指定する簡単な旋律を楽譜を見て歌う。 (ウ) 専攻別課題（全受検者） 専攻したい部門別に課題を行う。		イ 携行品 (ア) 受検票 (イ) 筆記用具 (ウ) 演奏用楽譜 (エ) 専攻の楽器（ピアノ、コントラバス、ハープ及びマリ ンバを除く。ただし、弓、マレット類は持参すること。） (オ) 上履き (カ) 第２次募集のみ昼食を持参する。
ウ 専攻別課題		
専攻部門	楽 器	課 題 曲 及 び 課 題
声 楽		コンコーネ 50 番より任意の 1 曲を、母音アで歌唱する。（暗譜）
ピ ア ノ	ピアノ	(1) ハノン第 39 番のシャープ、フラットそれぞれ 2 個までの同一調号による長調と短調について、暗譜で演奏する。なお、調は当日指定する。弾き方は繰り返しを省略し、短調については、和声短音階を 1 回弾いた後、続けて旋律短音階を 1 回弾き、終止形をつけて終わりにする。 (2) モーツァルトまたはベートーヴェンの任意のピアノ・ソナタの第 1 楽章か最終楽章を暗譜で演奏すること。（ただし、モーツァルトソナタ K. V. 545、ベートーヴェンソナタ Op. 49 の全楽章と Op. 27-2 の第 1 楽章を除く。）
弦 ・ 管 ・ 打 楽 器	ヴァイオリン	(1) カール・フレッシュ スケール・システムより「5 番」の基本形のみ。（任意の調性）ボーイングは C dur と同様に。 (2) A 又は B を選択する。 A：モーツァルト協奏曲の中から任意の曲の第 1 楽章 B：任意の楽曲（多楽章形式の場合は 1 つの楽章を選択する。）
	ヴィオラ	(1) ト長調（G dur）の音階を 2 オクターブ (2) 任意の楽曲（多楽章形式の場合は 1 つの楽章を選択する。） ※ ヴァイオリンで受検する場合 (1) ニ長調（D dur）の音階を 2 オクターブ (2) 任意の楽曲（多楽章形式の場合は 1 つの楽章を選択する。）
	チェロ	(1) ト長調（G dur）の音階を 2 オクターブ (2) A 又は B を選択する。 A：ドッツアウアー又はリー程度の練習曲集より任意の 1 曲 B：任意の楽曲（多楽章形式の場合は 1 つの楽章を選択する。）
	コントラバス	(1) 変ロ長調（B dur）の音階を 2 オクターブ (2) 任意の楽曲（多楽章形式の場合は 1 つの楽章を選択する。あるいは練習曲でもよい。）
	ハープ	任意の楽曲（多楽章形式の場合は 1 つの楽章を選択する。あるいは練習曲でもよい。） ※ アイリッシュハープで受検してもよい
	フルート	(1) シャープ・フラット 2 つまでの長音階を 2 オクターブ。調は当日指定する。 (2) ケーラー「35 の練習曲」第 1 巻より任意の 1 曲を選択する。
	オーボエ	(1) ニ長調（D dur）及びロ短調（h moll）の音階を 2 オクターブ。ただし、短調は和声短音階とする。 (2) ヒンケ「基礎教則本」より「9 番」（p. 9）、「14 番」（p. 11）及び「17 番」（p. 12）の中から 1 曲を選択する。
	クラリネット	(1) シャープ、フラット 2 つまでの長音階を 2 オクターブ。調は当日指定する。 (2) ローゼ「32 の練習曲」より「1 番」から「10 番」の中から任意の 1 曲を選択する。
	ファゴット	(1) ヘ長調（F dur）又はニ長調（D dur）の音階を 2 オクターブ。調は当日指定する。 (2) ワイセンボーン「50 の練習曲」第 2 巻より「2 番」及び「3 番」の中から 1 曲を選択する。
	サクソフォン	(1) ト長調（G dur）及びホ短調（e moll）の音階を 2 オクターブ。ただし、短調は和声短音階とする (2) ラクール「50 の練習曲」第 2 巻より「26 番」または「33 番」の中から任意の 1 曲を選択する。

専攻部門	楽 器	課 題 曲 及 び 課 題
弦 ・ 管 ・ 打 楽 器	ホルン	(1) ヘ長調 (F dur) 及びニ短調 (d moll) の音階を 1 オクターブ。ただし、短調は和声短音階とする。 (2) マキシム・アルフォンス 練習曲 第 1 巻より「1 番」、「9 番」及び「14 番」の中から 1 曲を選択する。
	トランペット	(1) 変ロ長調 (B dur) の音階を 1 オクターブ半 (B～F) (2) アーバン「金管教本」第 2 巻より「5 番」 Variations on a song (The Beautiful Snow) の主題 (3) コーブラッシュ「60 のエチュード」より「10 番」
	トロンボーン	(1) ヘ長調 (F dur) の音階を 2 オクターブ (2) 任意の楽曲 (多楽章形式の場合は 1 つの楽章を選択する。あるいは練習曲でもよい。) ※ バス・トロンボーンはチューバと同一課題
	ユーフォニアム	トロンボーンと同一課題
	チューバ	(1) ヘ長調 (F dur) の音階を 2 オクターブ (2) ボルドーニ「43 のベル・カント・スタディー」より「1 番」及び「2 番」の中から 1 曲を選択する。
	マリンバ	(1) シャープ・フラット 2 つまでの長音階を 2 オクターブ。調は当日指定する。(上昇下降し、最終音はトレモロにする。) (2) 任意の練習曲又は独奏曲
	スネアドラム	(1) 網代景介／岡田知之「小太鼓 100 曲集」より「13 番」
作曲		(1) 二声聴音 (大譜表) (2) A 又は B を選択する。(楽器の使用は認めない。) A : 和声 (バス課題、8 小節程度、属七の和音まで (根音省略形を除く。)) B : 伴奏づけ (8 小節程度) 与えられた旋律に、ピアノ伴奏を書く。 (3) 任意のピアノ曲 (ソナチネ以上) をピアノで演奏する。(楽譜を見てもよい。)
注意 (1) 声楽については、入学願書提出時に伴奏楽譜を提出する。高声・中声・低声のいずれの楽譜を使用してもよい。 (2) 声楽以外は、伴奏を付けないで演奏する。 (3) 繰り返しは行わない。 (4) 音階は暗譜で演奏すること。 (5) 楽譜について、特に版の指定のないものについては自由とする。		

〔 4 〕 笠間高等学校美術科	
ア 検査内容 水彩絵の具による写生をする。	イ 携行品 (ア) 受検票 (イ) 鉛筆 (2 ～ 3 本 [HB ～ 5 B のいずれか])、消しゴム又は練り消し (ウ) 水彩用具一式 (絵の具は透明・不透明絵の具及びアクリル絵の具とする。ポスターカラーは不可とする。) ※画用紙及び画板は、笠間高等学校で用意する。 (エ) 上履き (オ) 第 2 次募集のみ昼食を持参する。

〔 5 〕 笠間高等学校メディア芸術科	
ア 検査内容 鉛筆による写生をする。	イ 携行品 (ア) 受検票 (イ) 鉛筆 (3 ～ 4 本 [2 H ～ 4 B のいずれか])、消しゴム又は練り消し ※画用紙及び画板は、笠間高等学校で用意する。 (ウ) 上履き (エ) 第 2 次募集のみ昼食を持参する。

〔 6 〕 取手松陽高等学校美術科	
ア 検査内容 水彩絵の具による静物写生をする。	イ 携行品 (ア) 受検票 (イ) 鉛筆 (2 ～ 3 本 [HB ～ 5 B のいずれか])、消しゴム又は練り消し (ウ) 水彩用具一式 (絵の具は透明・不透明絵の具及びアクリル絵の具とする。ポスターカラーは不可とする。) ※画用紙及び画板は、取手松陽高等学校で用意する。 (エ) 上履き (オ) 第 2 次募集のみ昼食を持参する。

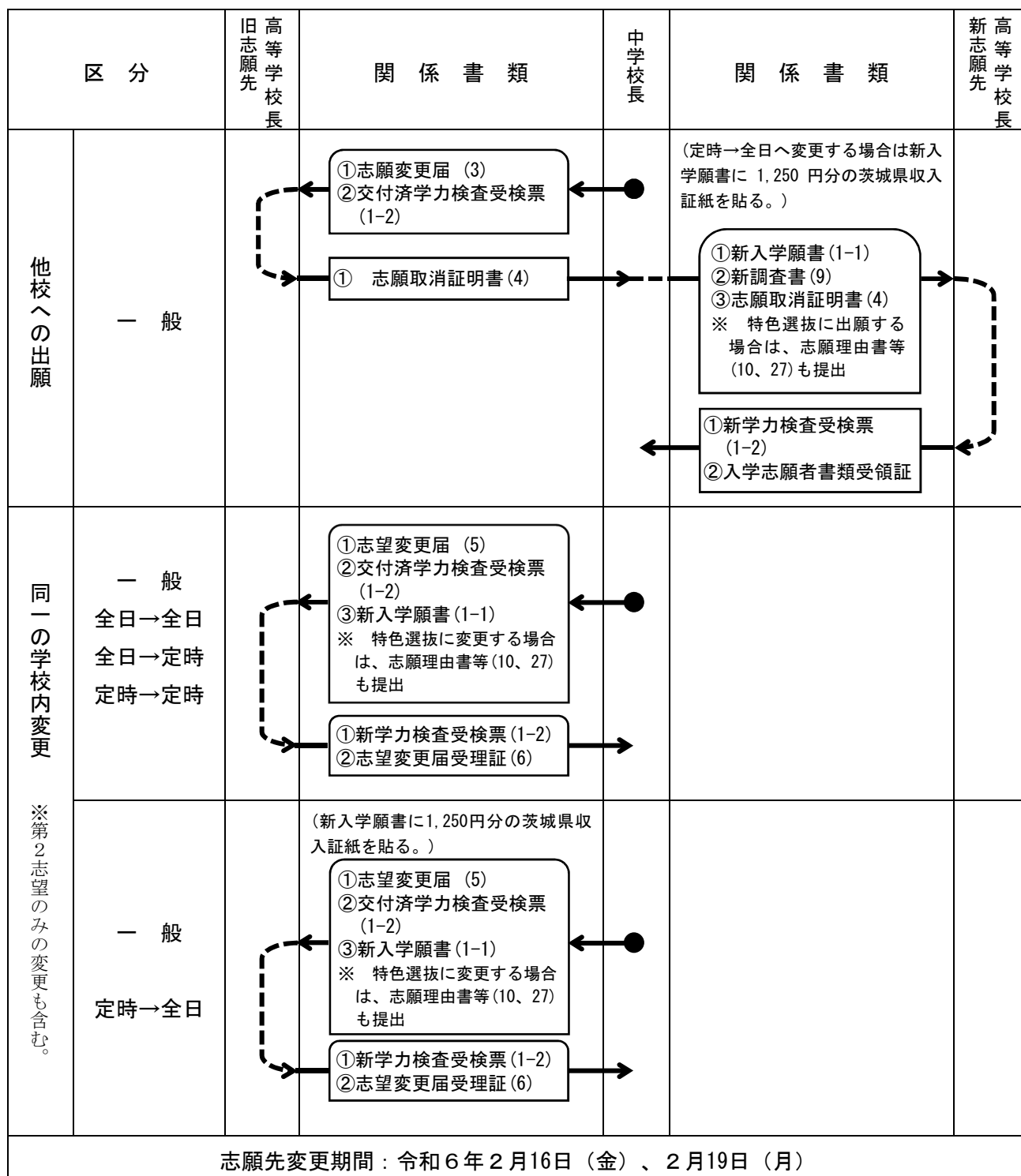
志願手続の概略図

区分	高等学校長	関 係 書 類 等	中学校長
一般入学		① 入学願書(1-1) ② 学力検査受検票(1-2) ③ 調査書(9) ④ 志願理由書(10)、活動報告書(27) ⑤ 「解答用紙の写し」等送付用シート(26) ⑥ 入学志願者書類送付書(21) ※1 ※2 ※3 ※4 ※5 ※6 ※7 出願期間 2/7(水)、2/8(木) 2/9(金) 郵送期間(簡易書留で必着) 2/6(火)、2/7(水) 2/8(木)	
		① 学力検査受検票(1-2) ② 入学志願者書類受領証	
第2次募集		① 第2次募集入学願書(19-1) ② 第2次募集受検票(19-2) ③ 調査書(9) ④ 第2次募集入学志願者書類送付書(22) ※1 ※2 ※7 ※8 出願期間 3/13(水)、3/14(木)	
		① 第2次募集受検票(19-2) ② 第2次募集入学志願者書類受領証	

- ※1 県外及び外国からの志願の場合
 転入先の住居を証明する書類(家屋の登記簿謄本の写し等)
 県外等からの転入先等証明書(15)
 定時制課程における県外からの受検資格の特例の場合
 身元引受人承諾書(16)
 全国からの出願を認める学科の特例の場合
 身元引受人承諾書(16)、全国募集志願理由書(17)
- ※2 定時制課程の成人特例入学者選抜の志願の場合
 成人特例入学者選抜措置申請書(14)
- ※3 帰国子女特例選抜の志願の場合
 帰国子女特例入学者選抜海外在住状況説明書(12)
 外国から直接志願の場合は※1の書類も添付
- ※4 外国人特例選抜の志願の場合
 外国人特例入学者選抜海外在住状況説明書(13)
 住民票(国籍、在留資格及び在留期間が記載してあるもの)
- ※5 連携型入学者選抜の志願の場合
 連携型入学願書(8-1)、受検票(8-2)、調査書(9)、入学志願者書類送付書(21)
- ※6 隣接県協定該当の志願の場合(第2次募集では提出不要)
 他の公立高等学校を併願しない旨の証明書(24)
- ※7 欠席が多いことの事情や障害のあることによって生ずることがら等について、説明する必要がある場合
 自己申告書(20)
- ※8 当該年度の一般入学学力検査結果(「解答用紙の写し」)を参考資料とする学科(コースを含む。)に出願する場合
 「解答用紙の写し」及び「解答用紙の写し」等送付用シート

注 1 ()内の数字は、様式番号を示す。
 2 詳細については、本実施細則の各項を参照する。

志願先変更手続の概略図



注 1 志望変更届受理証は、中学校長又は本人が保管するものとする。

2 他校への変更をする者については、新入学願書とともに新たに作成した調査書を提出するものとする。

なお、特色選抜に出願する者については、併せて志願理由書等を提出するものとする。

3 同一学校内の変更については、新入学願書を提出するものとする。

なお、特色選抜に変更する者については、併せて志願理由書等を提出するものとする。

4 自己申告書、転入に関する書類等は、新志願先高等学校長に提出する。ただし、旧志願先高等学校長から受け取り、新志願先高等学校長へ提出することもできる。

5 () 内の数字は様式番号を示す。

6 帰国子女特例選抜、外国人特例選抜及び定時制の成人特例選抜から一般入学への変更については、上記概略図に準じて取り扱うものとする。

7 連携型入学者選抜から他校の一般入学への変更については、上記概略図に準じて取り扱うものとする。

8 詳細については、本実施細則の各項を参照する。

郵送による出願

(第2次募集に志願する場合は対象としない。)

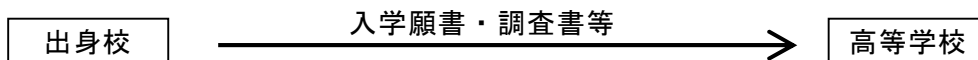
1 出願日

郵送	2月6日(火)、7日(水)、8日(木) (簡易書留で郵送出願受付期間必着とする)
持参	2月7日(水)、8日(木)、9日(金)

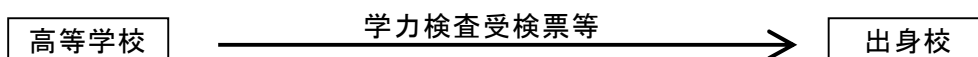
※郵送出願と持参出願の受付日は異なる。

2 書類等の郵送

(1) 出願書類発送の手続き



(2) 受検票等の発送の手続き



3 留意事項

- (1) 出願書類は、事前に志願先高等学校長と連絡の上、出身校ごと一括して郵送する。
- (2) 郵送による出願は、「簡易書留」で「郵送出願受付期間(2月6日、7日、8日)」必着。配達状況等、詳細は各郵便局に確認すること。
- (3) 郵送に当たっては、「簡易書留」による返信に必要な切手を貼った返信用封筒(郵便番号、住所及び宛名を記入)を必ず同封する。
- (4) 郵送による出願に使用する封筒(返信用を含む。)は、角形2号とし、出願封筒には「入学願書等在中」、返信用封筒には「学力検査受検票在中」と朱書きする。

《参考》

定形外郵便物 ※規格内は、長辺34cm以内、短辺25cm以内、厚さ3cm以内及び重さ1kg以内

重量 (g)	規格内※料金 (円)	簡易書留(円)	合計 (円)
50	120	350	470
100	140	350	490
150	210	350	560
250	250	350	600
500	390	350	740

4 返信用封筒(角形2号)の簡易書留に貼る切手について

中学校において返信用封筒に貼る切手は、受検票の返信に必要な料金分とする。

《参考》

重量(封筒を含む)(g)	料金(円)	受検票の枚数の目安
50	470	概ね25枚
100	490	概ね60枚
150	560	概ね100枚

5 その他

受検票の返信に際し、受検票以外の資料を追加したため、追加の料金が必要となった場合は、志願先高校が不足分の切手を貼って返信すること。

解答用紙の写しの交付及び学力検査得点の提供方法等

1 解答用紙の写しの交付

(1) 対応の概要

- ・ 合格者（一般入学・特例入学者選抜）
入学後、希望者に交付（交付日は、各高等学校が4月～5月の期間で定める）
- ・ 不合格者
合格発表日に簡易書留で郵送
※ 一般入学の追検査受検者も同様

(2) 交付手続き等

ア 中学校

- ・ 出願の際は、入学志願者書類送付書（様式第21号（P. 52））の「3 その他」の「解答用紙の写し」等送付用シートの欄に送付数を記入。
なお、その際、入学願書の送付数と一致することを確認。
- ・ 「解答用紙の写し」等送付用シート（様式第26号（P. 58））を出願書類に添えて、志願先高等学校に提出

イ 高等学校

- ・ 合格者
入学後、全員分を準備し点検した上、希望者に対して手渡しをする。
※ 交付日は、4月～5月の期間で設定（学校裁量）
※ 交付の際、受付簿の備考欄に「〇年〇月〇日 解答用紙の写し交付」と朱書（ゴム印可）
※ 在籍していない場合は、希望の有無を確認後、希望者に簡易書留等で自宅へ郵送
- ・ 不合格者
一般入学の合格者発表日当日の午前中に、送付用シートを宛先とし、各教科の解答用紙の写しを簡易書留により集配郵便局から郵送

2 学力検査得点の提供

(1) 対応の概要

- ・ 合格者（一般入学・特例入学者選抜）
各教科の得点及び合計点を交付
- ・ 不合格者
解答用紙の写しを交付

(2) 合格者への学力検査得点の提供

- ・ 各学校の合格者説明会において、本人確認の上、学力検査の「令和6年度茨城県立高等学校入学者選抜学力検査得点」を交付
- ・ 合格者説明会で、本人確認をするので、合格者に対して受検票を持参するよう周知
※ 受検票の提示ができない場合は、生徒手帳、健康保険証、マイナンバーカード、旅券（パスポート）、運転免許証（定時制）等でも可

令和6年度茨城県立高等学校入学者選抜学力検査得点

茨城県立

高等学校

受検番号	氏 名	各 教 科 の 得 点					合計点
		国語	社会	数学	理科	英語	

（A 4 判縦1/3）

隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定

福島県教育委員会、茨城県教育委員会、栃木県教育委員会、群馬県教育委員会、埼玉県教育委員会及び千葉県教育委員会（以下「協定県教育委員会」という。）は、隣接県の県立高等学校及び市町村立高等学校（市町村組合立高等学校を含む。以下同じ。）（以下「公立高等学校」という。）への入学志願者の取扱いについて、次のとおり協定を締結する。

（入学志願）

第1条 隣接県の県立高等学校への入学志願者の出願は、当該隣接県の隣接学区内の県立高等学校に限り認めるものとする。

2 前項の規定にかかわらず、一家転住その他特別な事情のある者については、県立高等学校長は、隣接県の隣接学区外からの出願を認めることができる。

3 第1項の規定にかかわらず、協定県教育委員会中いずれかの教育委員会が学区の改編や通学区域の廃止を行った場合、当該県と隣接県との間の県立高等学校への入学志願者の出願の取扱いについては、別に定めることができる。

（平等の取扱い）

第2条 県立高等学校長は、隣接県からの入学志願者について、県内の入学志願者と平等に取り扱わなければならない。

（併願の禁止）

第3条 県内の公立高等学校と県外の公立高等学校との併願は認めない。

2 県外の県立高等学校への入学志願者の在籍又は出身の中学校長は、出願に際し、県内及び県外の他の公立高等学校と併願しない旨の証明書を添付しなければならない。ただし、第2次募集又は再募集以後の出願においては、この限りでない。

（市町村立高等学校等との関係）

第4条 隣接県の市町村立高等学校への入学志願者の取扱いについては、該当する高等学校を所管する市町村の教育委員会又は市町村組合の教育委員会と、当該市町村等が所在する県の教育委員会との間で調整のうえ、別に定める。

2 前項に規定する調整の結果、隣接県の隣接学区からの入学志願者の出願を認める市町村立高等学校がこの協定を適用する場合は、この協定の規定中「県立高等学校」とあるのは「公立高等学校」と読み替えるものとする。

（細部の委任）

第5条 この協定の実施に関し必要な事項については、別に定める。

（適用）

第6条 この協定は、平成19年4月1日以後に公立高等学校に入学する者に係る入学者選抜から適用する。

この協定を証するため、本書6通を作成し、そのすべてに協定県教育委員会教育長記名押印のうえ、それぞれの教育委員会が各1通を保有する。

平成18年11月30日

福島県教育委員会教育長
茨城県教育委員会教育長
栃木県教育委員会教育長
群馬県教育委員会教育長
埼玉県教育委員会教育長
千葉県教育委員会教育長

[入学願書（様式第1号）の記入例]

現住所欄については、県内居住者は**郡・市名から記入**し、県外居住者は県名から記入してください。
なお、**転居予定者は、転居予定先の住所**を記入してください。

様式第1号の1（表面）

共通選抜 特色選抜 帰国子女 外国人 成人

令和6年度入学願書				受験番号 ※	
志望課程	全日制	志望学科	第1	〇〇〇	科
	定時制	学 科	第2	〇〇〇	科
志願者	ふりがな	いばらき はなこ			
	氏名	茨城 花子			
	(生年月日)	(昭和・平成)〇〇年〇〇月〇〇日生			
現住所	〒〇〇〇-〇〇〇〇 (電話〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇)				
	〇〇〇市△△町〇番地〇-〇				
出身校	〇〇〇立△△学校				
	(卒業年月日)	(昭和・平成・令和) 6年 〇月〇〇日 (卒業見込・卒業)			
保護者	現住所	☑志願者の欄に同じ		志願者との関係	父
貴校の上記の課程・学科への入学を志願いたします。				備考	
令和6年 〇月〇〇日				※	
保護者氏名(署名) 茨城 一郎					
茨城県立 〇〇〇〇 高等学校長 殿					

(記入上の注意は裏面)

保護者の現住所が志願者の現住所と同一の場合には「**志願者の欄に同じ**」の左の□に☑と記してください。

作成日を記入してください。

茨城県収入証紙は、必要額分を、所定の欄にはってください。
また、消印しないでください。

金額は、**算用数字**で正確に記入してください。

ただし書きにおいては不要箇所を、**2本の線(——)**で消してください。

志願先の学校名を記入してください。

校印については、志願先の高等学校で押印します。

茨城県収入証紙欄	
金額	2千 2百 0十 0円
ただし、茨城県立高等学校 全日制入学選抜手数料 2,200円 定時制入学選抜手数料 950円 定時制から全日制への変更差額 1,250円	

(取扱上の注意は裏面)

(A 4判3/4)

様式第1号の2（表面）

(志願先高等学校が切り取る。)

令和6年度学力検査受験票			
志望学科	第1 〇〇〇 科	第2 △△△ 科	受験番号 ※
	(□□□ コース)	()	
志願者氏名	茨城 花子		
(生年月日)	(昭和・平成)〇〇年〇〇月〇〇日生		
出身校	〇〇〇立△△学校		
志願先高等学校	茨城県立 〇〇〇〇 高等学校 [印]		

注 ※欄は志願先高等学校が記入する。

(A 4判1/4)

*誤記訂正の仕方：誤記を訂正する場合は、誤りの部分に2本の線(——)を引き、正しく書き直してください。(訂正印不要)

[例] 義務教育
〇〇市立△△中学校

水戸桜ノ牧高等学校常北校への志願に係る主な様式の記載例

ア 入学願書

様式第1号の1 (表面)		共通選抜 特色選抜 帰国子女 外国人 成人	
令和6年度入学願書		受検番号	※
貴校の上記の課程・学科への入学を志願いたします。 令和6年〇月〇〇日 保護者氏名(署名) 茨城 一郎 茨城県立 水戸桜ノ牧 高等学校長 殿		備考 ※	

イ 学力検査受検票

令和6年度学力検査受検票			
志望学科	第1 普通科 ()	第2 科 ()	受検番号 ※
志願者氏名 (生年月日)	茨城 花子 (昭和・平成〇〇年〇〇月〇〇日生)		
出身校	〇〇〇立△△学校		
志願先 高等学校	茨城県立 (常北校) 水戸桜ノ牧 高等学校 印		

ウ 調査書

(常北校)

※ 様式第9号 令和6年度 茨城県立水戸桜ノ牧 高等学校入学志願者調査書 受検番号 ※

ふりがな	いばらき はなこ	性別	生 年 月 日	昭和 平成〇年〇月〇日生	志 望	全日制・定時制・通信制 第1 普通科
生徒氏名	茨城 花子	女	卒 業 年 月 日	平成 令和〇年〇月〇日 卒業	卒業見込	第2 科
現住所						

エ 志願変更届

※ 他校から水戸桜ノ牧高等学校常北校に志願先を変更する場合

様式第3号

志 願 変 更 届	
茨城県立 〇 〇 高等学校長 殿	
志願変更のため、	
貴校	全日制 定時制
課程	(〇 〇 科)
	共通 特色] 特例
選抜への志願を取り消します。	
志願者氏名 茨城 花子	
保護者氏名(署名) 茨城 一郎	
志 願 変更先	茨城県立 (常北校) 水戸桜ノ牧 高等学校
	全日制 定時制
課程	(普通 科)
	共通 特色] 特例
選 抜	

令和6年度茨城県立高等学校入学者選抜における特色選抜実施概要一覧

表の見方

1 実施する学校名及び学科名

令和6年度茨城県立高等学校入学者選抜実施細則で正式に定める。

2 募集人員の割合

令和6年度第1学年生徒募集定員については、11月に発表の予定である。

3 分野

分野別に募集人員の割合を定めない場合は、斜線（／）としている。

分野別に募集人員の割合を定める場合は、分野別に欄を分けて「体育」、「文化」、「芸術」、「奉仕活動」及び「生徒会活動」のいずれかを記載してある。

4 出願要件

特色選抜の対象となる部活動等を、下線で示している。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大会等の中止や出場できない地域・学校が出た場合にあつては、大会等の実績は、「出願要件」にしない。

5 選抜資料及び配点

学力検査は500点※とし、面接等の選抜資料は、各高等学校が定めた得点を示している。選抜資料として使用しない場合は、斜線（／）としている。

※ I T未来高等学校、つくばサイエンス高等学校を除く。詳細は、I T科及び科学技術科における特定教科の傾斜配点（特色選抜）参照（P.140）。

6 その他

詳細については、各学校へお問い合わせください。

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
高萩 清松	総合学科			特色選抜は実施しない。						
日立 第一	普通、サイエンス	7%		次のア、イのいずれかの要件を満たし、本校入学後もその種目の運動部に入学し、3年間意欲的に活動する意志のある者 ア <u>野球（男）、サッカー（男）、陸上競技</u> 上記の種目の、いずれかにおいて、中学校の部活動または地域のクラブチームに所属し、積極的に取り組んだ者。活動実績としては、以下のいずれかの条件を満たすこととする。 <野球> (1) 中体連の地区大会以上の大会においてレギュラー選手として出場した者 (2) 地区選抜以上の選抜選手に選ばれた者 (3) 以下のいずれかの大会で選手として実際にプレーした者 ①茨城県選抜中学校野球大会 ②飛田穂洲旗中学野球大会 ③シニア・ボーイズ・ヤング・ポニー各リーグ主催の地区大会以上の大会 <サッカー> (1) 中体連の地区大会以上の大会においてレギュラー選手として出場した者 (2) 地区トレセン以上の選抜選手に選ばれた者 (3) 以下のいずれかの大会で選手として実際にプレーした者または①の所属実績を有する者 ① I F A リーグ(U-15) 1 部以上に所属 ②高円宮杯 JFA 全日本 U-15 サッカー選手権大会関東大会以上 ③茨城県クラブユースサッカー選手権(U-14)大会ベスト 16 以上 ④関東クラブユースサッカー選手権(U-15)大会茨城県大会ベスト 16 以上 ⑤ J F A 全日本 U-15 フットサル選手権大会関東大会以上 <陸上競技> (1) 中体連の地区大会以上の大会において団体種目あるいは個人種目に出場した者。 (2) 以下のいずれかの大会に出場した者 ①ジュニアオリンピック陸上競技大会 ②茨城県陸上競技選手権大会 ※「レギュラー選手」とは、地区大会以上の大会におけるスターティングメンバーあるいは途中出場でも主力選手として 実際にプレーした者とする。 イ <u>ラグビー（男）</u>において、地域のクラブチームに所属して中学校の3年間積極的に取り組み、県選抜選手に選ばれた者とする。	500	150	150			800

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
日立 第二	普通	15%	体育 (10%)	次のア、イの要件をともに満たす者 ア 中学校の運動部に所属し、3年間積極的に取り組み、各種大会においてレギュラーとして活躍した者 ※「レギュラー」とは、原則として毎試合出場する選手であり、ベンチ入りだけの選手及び試合出場が常ではない選手は該当しない。詳細については、学校へお問い合わせください。 イ 本校入学後、 <u>バレーボール(女)</u> 、 <u>ハンドボール(女)</u> 、 <u>ソフトボール(女)</u> 、 <u>陸上(女)</u> 、 <u>剣道(女)</u> (5部)のいずれかに入部する意志を持ち、3年間継続して活動することのできる者 (例 中学ソフトテニス部→高校ハンドボール部のような場合も可)	500	200	300			1000
			文化・ 生徒会活動 (5%)	次のア、ウ又はイ、ウの要件を満たす者 ア <u>吹奏楽</u> において中学校の部活動に3年間所属し、 <u>吹奏楽コンクール地区大会で優秀賞</u> 以上の成績、またはそれに相当する成績を収めた者 ※「それに相当する成績」 アンサンブルコンテスト地区大会優秀賞以上、ソロコンテスト地区大会優秀賞以上、TBSこども音楽コンクール地区大会優秀賞以上 イ 中学校で <u>生徒会の本部役員</u> を務めた者(本部役員とは、会長、副会長、書記、会計、及び会計監査をさす) ウ 本校入学後も、 <u>吹奏楽部(女)</u> 又は <u>生徒会活動</u> を継続する意志のある者	500	200	300			1000
日立 工業	機械・ 工業化学	25%		次のア～ケのいずれかの要件を満たす者 ア <u>野球(男)</u> において、中学校の部活動または地域のクラブチームに所属して3年間積極的に取り組み、レギュラー選手として各種大会(中学校総体ならびに新入大会市内大会以上、県選抜野球大会、飛田穂洲旗野球大会またはシニア・ボーイズ等主催の支部大会、ブロック大会)に出場した実績があり、本校入学後も同一種目を継続する意志のある者。 イ <u>サッカー(男)</u> において、中学校の部活動または地域のクラブチームに所属し、レギュラー選手として各種大会(中学校総体ならびに新入大会市内大会以上、高円宮杯関東大会、IFA県リーグ(1部・2部)、メロポリタンリーグ)に出場した実績があり、本校入学後も同一種目を継続する意志のある者。 ウ <u>陸上競技</u> において、地区大会またはそれに相当する大会(中学校総体ならびに新入大会地区大会以上、茨城県中学校通信陸上競技大会、U16 陸上競技大会、各地区中学校駅伝大会以上、茨城県中学校混成競技大会)に出場した実績があるか、茨城県中学校陸上競技標準記録突破者(1学年・2学年種目の記録は当該学年の記録のみ有効)で本校入学後も同一種目を継続する意志のある者。 (次ページにつづく)	500	150	350			1000

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
日立 工業	電気	25%		(前ページからのつづき) エ <u>バスケットボール(男)</u>において、中学校の部活動に所属して3年間積極的に取り組み、レギュラー選手として各種大会(中学校総体ならびに新人大会市内大会以上、毎日・茨城杯中学生バスケットボール大会)に出場した実績があり、本校入学後も同一種目を継続する意志のある者。 オ <u>テニス</u>において、中学校の各運動部に所属、または地域のクラブチームに所属し、中体連が主催する大会や、それに準ずる大会(テニス協会が主催)に出場した実績があり、本校入学後はテニス部に入学し、継続して活動する意志のある者。 カ <u>ソフトテニス</u>において、中学校の部活動または地域のクラブチームに所属し、3年間積極的に活動に取り組み、中体連が主催する大会や、それに準ずる大会(茨城県中学校選抜インドアソフトテニス大会)で、地区大会(県北大会等)以上にレギュラーとして出場した実績があり、本校入学後も同一種目を継続する意志のある者。	500	150	350			1000
	情報電子	25%		キ <u>バレーボール(男)</u>において、中学校の部活動に所属して3年間積極的に取り組み、レギュラー選手として各種大会(中学校総体ならびに新人大会市内大会以上、県中学校オープン大会、ジュニアオリンピック)に出場した実績があり、本校入学後も同一種目を継続する意志のある者。 ク <u>卓球</u>において、中学校の部活動または地域のクラブチームに所属し、レギュラー選手として各種大会(中学校総体ならびに新人大会市内大会以上、全日本卓球選手権ジュニアの部地区予選または東京卓球選手権ジュニアの部県予選)に出場した実績があり、本校入学後も同一種目を継続する意志のある者。 ケ <u>剣道</u>において中学校の部活動に所属し、3年間積極的に取り組み、レギュラー選手として地区大会以上、またはそれに相当する大会(茨城県スポーツ少年団剣道交流大会)に出場した実績があり、本校入学後も同一種目を継続する意志のある者。						

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
多賀	普通	12%		次のア、イの要件をともに満たす者、または、ウの要件を満たす者 ア <u>野球部(男)、サッカー部(男)、バスケットボール部(男)、バレーボール部(女)、ソフトテニス部(女)、剣道部、陸上競技部</u>のいずれかの活動において、中学校の部活動又は地域のクラブチームに所属し、3年間積極的に活動に取り組み、中体連が主催する大会や、それに準ずる大会で、レギュラーとして出場した実績を持つ者。 イ 本校入学後も同一の種目の部活動を3年間継続する意志のある者。 ウ 中学校の各種部活動または地域の各種クラブチームに所属し、3年間積極的に活動に取り組み、陸上競技の活動実績として、中体連が主催する陸上競技大会・駅伝大会で地区大会(県北大会等)以上に出場した実績を持ち、本校入学後も陸上競技を3年間継続する意志のある者。 ※レギュラーとは、原則として毎試合出場する選手であり、ベンチ入りだけの選手、または試合出場機会の常でない選手は除く。詳しくはお問い合わせください。 ※それに準ずる大会は、以下の大会とする。 ・野球部(男):日本リトルシニア中学硬式野球協会主催の各支部大会、日本少年野球連盟主催の各支部大会、茨城県選抜中学校野球大会 ・サッカー部(男):高円宮杯 JFA(U-15)サッカーリーグ IFA リーグ、関東クラブユースサッカー選手権(U-15)大会各支部大会、クラブユースサッカー選手権(U-14)各支部大会 ・バスケットボール部(男):毎日・茨城杯茨城県U-14 バスケットボール大会 ・ソフトテニス部(女):茨城県中学校選抜インドアソフトテニス大会 ・上記以外の部活動については、中体連主催の大会のみを対象とする。	500	400	200			1100
日立商業	商業	25%		次のア、イのいずれかの要件を満たす者 ア 次のいずれかの競技において、中学校の部活動又は地域のクラブチームに所属し、積極的に活動した者で、本校入学後も同一の競技を継続する意志のある者。 ただし、陸上競技においては、陸上競技の実績を有していれば、他の部活動に所属した者も可とする。 <u>バスケットボール、野球(男)、サッカー(男)、バレーボール(女)、陸上競技、</u> (次ページにつづく)	500	400	100			1000

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
日立 商業	情報処理	25%		(前ページからのつづき) <u>ソフトテニス、剣道、バドミントン、卓球</u> なお、① 団体種目においては、当該競技で郡市大会以上の大会に出場した実績のある者。 ② 個人種目においては、当該競技で地区大会以上の大会に出場した実績のある者。 とする。 イ 中学校において<u>吹奏楽部</u>に所属し、積極的に活動し、地区大会以上の大会に演奏者として出場した実績を持つ者で、入学後は、本校吹奏楽部で活動する意志のある者。	500	400	100			1000
日立北	普通	10%		次のア、イの要件をともに満たす者 ア <u>野球(男)、サッカー(男)、陸上、バスケットボール(女)、ソフトテニス、卓球、弓道</u>のうち、いずれかの活動において、中学校の部活動又は地域のクラブチームに所属して3年間積極的に取り組み、地区大会又はそれに相当する大会(弓道の場合は県大会)にレギュラー選手として出場した実績、あるいは地区以上の選抜選手に指定された実績を持つ者とする。ただし、陸上においては、中学校に部活動がない場合、地区大会以上の出場実績を有する者とする。 ※レギュラー選手とは 時間の長短にかかわらず、地区大会またはそれに相当する大会に出場した経験のある者をいう。 ※それに相当する大会とは ・野球 全日本リトルシニア中学硬式野球協会(シニアリーグ)県大会以上 日本少年野球連盟(ボーイズリーグ)県大会以上 ・サッカー (U-15)高円宮杯全日本ユースサッカー選手権大会茨城県代表決定戦、IFAリーグ(U-15)2部リーグ以上 ・バスケットボール…IBAリーグ(U-15)2部リーグ以上 陸上、ソフトテニス、卓球については、中体連主催の地区大会以上を対象とする。 イ 本校入学後も同一の種目を継続する意志のある者	500	250	50			800

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
磯原 郷英	普通	10%		次のア、イ又はア、ウの要件を満たす者 ア 中学校の部活動、又は地域のクラブチームに3年間所属し、積極的に取り組み中学校の学校生活で文武両道を実践した者。 イ 本校入学後は運動部に所属して3年間意欲的に活動し、本校の学校生活で文武両道を実践する意志がある者。 ウ 本校入学後は生徒会本部役員として生徒会活動を積極的に行い、本校の学校生活で文武両道を実践する意志があり、中学校において生徒会本部役員を務めた実績がある者。(本部役員とは会長、副会長、書記、会計をさす)	500	200	200			900
太田 第一	普通	6%		次のア、イの要件をともに満たす者 ア <u>野球(男)・ラグビー(男)・バスケットボール(男)・陸上・ソフトテニス・卓球・剣道</u>のうち、中学校の運動部活動又は地域のクラブチームに所属して3年間積極的に取り組み、地区大会以上の大会に選手として出場した実績を持つ者、又は、強化選手等に選抜された者とする。 なお、中学校に部活動としてはないが、中学校の代表選手として、地区大会以上に出場した実績を持つ者も認める。 ※ 地区大会とは、中体連主催(県北地区大会や中央地区大会等)のみを対象とする。 ただし、次の種目については下記の大会・強化選手等もこれに加える。 ・野球(男) : 県選抜中学校野球大会、飛田穂州旗中学野球大会、日本少年野球選手権大会、全国中学生都道府県対抗野球大会または、シニア、ボーイズ、ヤング、ポニー各リーグ主催の地区大会相当以上の大会 ・ラグビー(男) : 全国中学生ラグビーフットボール大会、東日本U15中学生ラグビークラブ大会 ・卓球 : 全日本卓球選手権大会ジュニアの部茨城県予選、東京選手権大会ジュニアの部茨城県予選 イ 原則として中学校時代と同一の部活動を継続する者	500	250	50			800

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
太田 西山	普通	15%	体育・文化 (13%)	次の要件を満たす者 <u>野球(男)</u> 、 <u>サッカー(男)</u> 、 <u>吹奏楽</u> のうち、いずれかの活動において、中学校で部活動又は地域のクラブチームに所属して積極的に取り組み、郡市大会又はそれに相当する大会以上に、レギュラー選手として出場した実績を持つ者で、本校入学後も同一の競技・種目を継続する強い意志のある者。 ※それに相当する大会とは、各種目競技団体(協会・連盟)、体育協会、新聞社が主催する大会。 ※レギュラー選手とは、各種大会で、途中出場も含め試合に出場した者。	500	300	100			900
			生徒会活動・ 奉仕活動 (2%)	次の要件を満たす者 中学校において <u>生徒会本部役員</u> を務めた者、又は中学校主催以外の <u>奉仕活動</u> を行った者で、本校入学後も <u>生徒会活動</u> 又は <u>奉仕活動</u> を積極的に行う強い意志のある者。						
太子 清流	農林科学	特色選抜は実施しない。								
	総合学科	特色選抜は実施しない。								
小瀬	普通	特色選抜は実施しない。								
常陸 大宮	普通	特色選抜は実施しない。								
	機械・ 情報技術	特色選抜は実施しない。								
	商業	特色選抜は実施しない。								

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
水戸 第一	普通	3%		次の要件を満たす者 本校の教育を受けるに足る資質・能力を有する者。かつ<u>野球</u>において中学校の部活動または地域のクラブチームに所属して3年間積極的に取り組み、本校入学後も硬式野球部に所属し、学業との両立を図りながら活動する強い意志のある者。活動実績としては、中体連の主催する地区大会以上の大会もしくはこれに準ずる大会において、先発出場した選手あるいは途中出場でも主力選手として出場した者、または地区選抜以上の選抜選手に選ばれた者とする。 ※「これに準ずる大会」は、次の大会とする。 ○飛田穂洲旗中学校野球大会 ○茨城県選抜中学校野球大会 ○全日本少年春季軟式野球大会関東予選会 ○関東中学校軟式野球大会 ○関東・東北・北信越少年中学新人軟式野球大会 ○全日本少年春季軟式野球大会 ○全国中学校軟式野球大会 ○全日本少年(中学)軟式野球大会関東予選 ○関東少年(中学)軟式野球大会 ○全国中学生都道府県対抗野球大会 IN 伊豆 ○全国中学生都道府県対抗野球大会 IN 伊豆関東予選 ○全日本少年(中学)軟式野球大会 ○全日本少年(中学)軟式野球大会茨城県予選 ○鉾田杯中学校軟式野球大会 ○以下の協会・連盟（支部・ブロックなどその下部組織を含む）が主催する県大会以上の大会 ・日本リトルシニア中学硬式野球協会（シニア） ・日本少年野球連盟（ボーイズ） ・日本ポニーベースボール協会（ポニー） ・全日本少年硬式野球連盟（ヤング） ・日本中学生野球連盟	500	80	30		90	700
水戸 第二	普通			特色選抜は実施しない。						

水戸 第三	普通	5%	次のア～キのいずれかの要件を満たすものとする。 ア <u>陸上競技部</u> 中学校において、陸上競技大会・駅伝競走大会に、個人または団体の大会以上の大会に出場した者。 本校入学後は陸上競技部に所属し、3年間活動する意志のある者。 イ <u>サッカー部(女)</u> 中学校の部活動または地域のクラブチームに所属してサッカー競技を3年間積極的に取り組んだ者。中体連もしくはこれに準ずる大会(※1)において、選手として県大会以上の大会に出場した者。または、選抜選手に選ばれ県大会以上の大会に出場した者とする。 本校入学後はサッカー部に所属し、3年間活動する意志のある者。 ウ <u>バレーボール部</u> 中学校の部活動または地域のクラブチームに所属してバレーボール競技を3年間積極的に取り組んだ者。中体連もしくはこれに準ずる大会(※1)において、レギュラー選手(※2)として大会に出場した者。または、選抜選手に選ばれ大会に出場した者とする。 本校入学後はバレーボール部に所属し、3年間活動する意志のある者。 エ <u>水泳部</u> 中学校の部活動または地域のクラブチームに所属して競泳競技を3年間積極的に取り組んだ者。中体連もしくはこれに準ずる大会(※1)において、県大会以上の大会に出場した者。または、選抜選手に選ばれ県大会以上の大会に出場した者とする。 本校入学後は水泳部に所属し、3年間活動する意志のある者。 オ <u>なぎなた部</u> 中学校で何らかの部活動または地域のクラブチームに所属して3年間積極的に取り組んだ者。 本校入学後はなぎなた部に所属し、3年間活動する意志のある者。 カ <u>ソフトボール部(女)</u> ソフトボールあるいは野球の競技で、中学校の部活動または地域のクラブチームに所属して3年間積極的に取り組んだ者。 本校入学後はソフトボール部に所属し、3年間活動する意志のある者。 キ <u>吹奏楽部</u> 中学校の吹奏楽部に所属して3年間積極的に活動し、県大会以上の大会で演奏した者。 (次ページにつづく)	500	150	150	800
----------	----	----	---	-----	-----	-----	-----

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
水戸 第三	普通	5%		(前ページからのつづき) 本校入学後は吹奏楽部に所属し、3年間活動する意志のある者。 (※1)「これに準ずる大会」は、クラブチームによる県大会以上の大会。 (※2)「レギュラー選手」は、大会への出場実績がある者。	500	150	150			800
	家政			特色選抜は実施しない。						
	音楽			特色選抜は実施しない。						
緑岡	普通、理数			特色選抜は実施しない。						
水戸 農業	農業	8%		次のア～ウのいずれかの要件を満たす者 ア <u>ラグビー(男)</u> ラグビーの地域のクラブチームに所属している者、又は、3年間中学校の運動部に所属し、入学後はラグビー部で3年間継続して活動する強い意志のある者。 イ <u>硬式野球(男)</u> 中学校の野球部で3年間活動し、中体連主催の大会において郡市大会以上に出場経験のある者、又は、地域のクラブチームで活動し、県大会以上の大会に出場した者で、入学後は野球部で3年間継続して活動する強い意志のある者。 ウ <u>バレーボール(女)</u> 中学校のバレーボール部(女)で3年間活動し、中体連主催の大会において郡市大会以上に出場経験のある者で、入学後はバレーボール部(女)で3年間継続して活動する強い意志のある者。	500	210	90			800
	園芸	8%								
	畜産	8%								
	食品化学	8%								
	農業土木	8%								
	生活科学	8%								
	農業経済	8%								
水戸 工業	機械	15%		次のア～カのいずれかの要件を満たす者 ア <u>硬式野球部(男)</u> 硬式野球部で3年間継続して活動できる強い意志と優れた能力があり、かつ、次のいずれかの実績を持つ生徒。 ① 中学校の野球部において3年間活動した生徒 ② 地域のクラブチームにおいて活動した生徒 (次ページにつづく)	500	400	100			1000

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
水戸 工業	電気	15%		(前ページからのつづき) ③ 郡・市選抜以上に選出された生徒 ※ 地区選抜（中央・県北・県東・県南・県西）や県選抜以上も含まれる。 イ <u>サッカー部(男)</u> サッカー部で3年間継続して活動できる強い意志と優れた能力があり、かつ、次のいずれかの実績を持つ生徒。 ① 中学校のサッカー部に所属し、レギュラー選手として中体連主催の県大会以上に出場した生徒 ② 地域のクラブチームに所属し、レギュラー選手として茨城県クラブユースサッカー連盟主催または茨城県サッカー協会主催の大会に出場した生徒 ③ 中学校のサッカー部またはクラブチームに所属し、地区選抜(地区トレセン)以上またはクラブ選抜(クラブトレセン)以上に選出された生徒 ※ 地区とは、中央・県北・県東・県南・県西・クラブであり、県選抜や中体連選抜、関東選抜以上も含まれる。ただし、郡・市選抜は含まれない。 ウ <u>バスケットボール部(男)・柔道部(男)・バドミントン部</u> 当該部で3年間継続して活動できる強い意志と優れた能力があり、かつ、次のいずれかの実績を持つ生徒。 ① 中学校の当該部において3年間活動した生徒 ② 地域のクラブチームにおいて活動した生徒 ③ 地区選抜以上に選出された生徒 ※ 地区とは、中央・県北・県東・県南・県西・クラブであり、県選抜や関東選抜以上も含まれる。ただし、郡・市選抜は含まれない。 (次ページにつづく)	500	400	100			1000
	情報 技術	5%								
	建築	15%								

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
水戸 工業	土木	20%		(前ページからのつづき) エ <u>陸上競技部</u> 陸上競技部で3年間継続して活動できる強い意志と優れた能力があり、かつ、選手として中体連・茨城県陸上競技協会主催または主管の地区大会以上に参加した生徒、又は地区選抜選手以上に選出された生徒。下記①～④の大会に選手として参加した生徒も可とする。 ① ジュニアオリンピック陸上競技大会 ② 各都道府県陸上競技選手権大会 ③ 中学校通信陸上競技大会 ④ 中学校混成競技会 ※ 地区とは、中央・県北・県東・県南・県西・クラブ・駅伝とする。 オ <u>硬式テニス部</u> 硬式テニス部で3年間継続して活動できる強い意志と優れた能力があり、かつ、次のいずれかの実績を持つ生徒。 ① 中学校のテニス部、ソフトテニス部において3年間活動した生徒 ② 地域のクラブチームにおいて活動した生徒 ③ 地区選抜以上に選出された生徒 ※ 地区とは、中央・県北・県東・県南・県西・クラブであり、県選抜や関東選抜以上も含まれる。ただし、郡・市選抜は含まれない。 カ <u>弓道部</u> 弓道部で3年間継続して活動できる強い意志と優れた能力があり、かつ、中学校の弓道部において3年間活動した生徒のうち、中体連が主催する大会に参加した実績のある生徒。	500	400	100			1000
	工業化学	10%								
水戸 商業	商業	25%		次のア～コのいずれかの要件を満たし、入学後は学業と部活動における学びを両立させ、他の生徒の模範となるように活動する覚悟を持っている者。 ア <u>野球(男)</u> 野球部で3年間継続して活動できる強い意志と優れた能力があり、全国大会において活躍を目指す者。かつ、次のいずれかの実績を持つ者。 ① 中学校の野球部で活動した者。 (次ページにつづく)	500	300	300			1100

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
水戸 商業	商業	25%		(前ページからのつづき) ② 地域の野球のクラブチームで活動した者。 イ <u>サッカー(男)</u> サッカー部で3年間継続して活動できる強い意志と優れた能力があり、全国大会において活躍を目指す者。かつ、次のいずれかの実績を持つ者。 ① 中学校のサッカー部で活動した者。かつ、中体連主催の地区大会以上の大会に出場した者、又は地区トレセンに選抜選手として選出された者。 ② 地域のサッカーのクラブチームで活動した者。かつ、県以上の大会に出場した者、又はクラブトレセンに選抜選手として選出された者。 ウ <u>ソフトボール(女)</u> ソフトボール部で3年間継続して活動できる強い意志と優れた能力があり、全国大会において活躍を目指す者。かつ、次のいずれかの実績を持つ者。 ① 中学校のソフトボール部あるいは野球部で活動した者。 ② 地域のソフトボールあるいは野球のクラブチームで活動した者。 エ <u>空手道</u> 空手道部で3年間継続して活動できる強い意志と優れた能力があり、全国大会において活躍を目指す者。かつ、次のいずれかの実績を持つ者。 ① 中学校の空手道部で活動した者。 ② 地域の空手道のクラブで活動した者。 オ <u>バレーボール(女)</u> バレーボール部で3年間継続して活動できる強い意志と優れた能力があり、次のいずれかの実績を持つ者。 ① 中学校のバレーボール部で活動した者。 ② 地域のバレーボールのクラブチームで活動した者。 カ <u>陸上競技</u> 陸上競技部で3年間継続して活動できる強い意志と優れた能力があり、次のいずれかの実績を持つ者。 ① 中学校の陸上競技部あるいは運動部で活動した者。 ② 地域の陸上競技のクラブチームで活動した者。 (次ページにつづく)	500	300	300			1100
	情報 ビジネス	10%								

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
水戸 商業	国際 ビジネス	10%		(前ページからのつづき) キ <u>卓球</u> 卓球部で3年間継続して活動できる強い意志と優れた能力があり、次のいずれかの実績を持つ者。 ① 中学校の卓球部で活動した者。 ② 地域の卓球のクラブチームで活動した者。 ク <u>バスケットボール</u> バスケットボール部で3年間継続して活動できる強い意志と優れた能力があり、次のいずれかの実績を持つ者。 ① 中学校のバスケットボール部で活動した者。 ② 地域のバスケットボールのクラブチームで活動した者。 ケ <u>バドミントン</u> バドミントン部で3年間継続して活動できる強い意志と優れた能力があり、次のいずれかの実績を持つ者。 ① 中学校のバドミントン部で活動した者。 ② 地域のバドミントンのクラブチームで活動した者。 コ <u>珠算</u> 珠算部で3年間継続して活動できる強い意志があり、珠算に関する大会に中学生で出場した実績を持つ者。	500	300	300			1100
水戸 桜ノ牧	普通	10%		次のア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク、ケ、コ、サ、シのいずれかの要件を満たす者 ア 下記の要件を満たすもので、入学後は本校の国際文化部に所属し、国際理解教育に積極的に取り組む強い意志のある者 中学校時に<u>プレゼンテーションフォーラム</u>県大会に出場し、「茨城県知事賞」「茨城県議会議長賞」「茨城県教育委員会教育長賞」のいずれかを受賞した者 イ 中学校の<u>吹奏楽部</u>に所属し3年間積極的に取り組み、茨城県吹奏楽コンクール県大会以上の大会、または、それに相当する大会(※1)に出場し、入学後も本校の吹奏楽部に所属し、学業との両立を図りながら3年間活動を継続する意志のある者 (次ページにつづく)	500	440	60			1000

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
水戸 桜ノ牧	普通	10%		(前ページからのつづき) ウ <u>野球</u> 中学校の野球部または地域の硬式野球チームに所属し、意欲的に活動した者。かつ、本校入学後は野球部に所属し、学業との両立を図りながら３年間継続して活動する強い意志のある者。 エ <u>陸上競技</u> 次のいずれかの要件を満たす者で、入学後も陸上競技部に所属し、学業との両立を図りながら３年間活動を継続する意志のある者 ①県中学校総合体育大会出場 ②県中学校通信陸上競技大会出場 ③県中学校新人体育大会出場 オ <u>サッカー</u> 次のいずれかの要件を満たす者で、入学後もサッカー部に所属し、学業との両立を図りながら３年間活動を継続する意志のある者 ①中学校体育連盟に所属し、選手（※２）として下記の大会に参加した者 ・県民総合体育大会県大会 ・茨城県中学校新人体育大会県大会 ②クラブ連盟に所属し、選手（※２）として下記の大会に参加し下記の成績を収めた者 ・茨城県クラブユースサッカー選手権（Ｕ－１４）大会ベスト８以上 ・関東クラブユースサッカー選手権大会茨城県大会（Ｕ－１５）ベスト８以上 ・関東クラブユースサッカー選手権大会（Ｕ－１５）出場 ・ＪＣＹインターシティトリムカップ（Ｕ－１５）ＥＡＳＴ出場 ・全国クラブユースサッカー選手権大会（Ｕ－１５） ・高円宮杯全日本ユース（Ｕ－１５）サッカー選手権関東大会出場以上 ・全日本Ｕ－１５フットサル選手権大会関東大会出場以上 (次ページにつづく)	500	440	60			1000

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
水戸 桜ノ牧	普通	10%		(前ページからのつづき) ③茨城県選抜選手（U13県トレセン・U14県トレセン・U15県トレセン） ※各地区トレセン選手（中央トレセン・県北トレセン・県南トレセン・県西トレセン・県東トレセン・クラブトレセン） カ <u>ソフトテニス</u> 次の要件を満たす者で、中学校のソフトテニス部または地域のクラブチームに所属して3年間積極的に活動し、入学後も本校のソフトテニス部に所属し、学業との両立を図りながら3年間継続する意志のある者 ①中体連主催の総体または新人大会に選手（※2）として参加し、個人戦で各地区大会（県北・中央・県西・県東・県南）ベスト32以上の成績を収めた者 キ <u>バスケットボール</u> 次のいずれかの要件を満たす者で、中学校のバスケットボール部又は地域のクラブチームに所属して3年間積極的に活動し、入学後も本校のバスケットボール部に所属し、学業との両立を図りながら3年間継続する意志のある者 ①中体連主催の県総体または県新人大会に選手（※2）として参加し、県大会に出場した者 ②県・地区選抜選手として選ばれた者 ク <u>バレーボール</u> 次のいずれかの要件を満たす者で、中学校のバレーボール部または地域のクラブチームに所属して3年間積極的に活動し、入学後も本校のバレーボール部に所属し、学業との両立を図りながら3年間継続する意志のある者 ①中体連主催の総体または新人大会に選手（※2）として参加し、各地区（県北・中央・県西・県東・県南）大会出場以上の成績を残した者 ②水戸ライオンズクラブ・茨城新聞社杯争奪茨城県中学校男女バレーボール大会（県オープン大会）に選手（※2）として参加し、ベスト32以上の成績を残した者 (次ページにつづく)	500	440	60			1000

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
水戸 桜ノ牧	普通	10%		(前ページからのつづき) ③県・地区選抜選手として選ばれた者。またはJOCジュニアオリンピックカップ全国都道府県対抗中学バレーボール大会に茨城県代表選手として選ばれた者。 ケ <u>卓球</u> 次のいずれかの要件を満たす者で、中学校の卓球部または地域のクラブチームに所属して3年間積極的に活動し、入学後も本校の卓球部に所属し、学業との両立を図りながら3年間継続する意志のある者 ①中体連主催の県総体または県新人大会ならびに全日本卓球選手権ジュニアの部県予選か東京卓球選手権ジュニアの部県予選に選手(※2)として参加し、シングルスで県ベスト32以上の成績を収めた者 ②中体連主催の県総体または県新人大会ならびに全日本卓球選手権ジュニアの部県予選か東京卓球選手権ジュニアの部県予選に選手(※2)として参加し、団体で県大会に出場した者 コ <u>水泳</u> 次のいずれかの要件を満たす者で、中学校の水泳部又は地域のクラブチームに所属して3年間積極的に活動し、入学後も本校の水泳部に所属し、学業との両立を図りながら3年間継続する意志のある者 ① 中体連主催の県総体または県新人大会に選手として参加し、個人で県ベスト8以上の成績を収めた者 ② 県・地区選抜選手として選ばれた者 サ <u>弓道</u> 次のいずれかの要件を満たす者で、中学校の弓道部に所属して3年間積極的に活動し、入学後も本校の弓道部に所属し、学業との両立を図りながら3年間継続する意志のある者 ①中体連主催の県総体または県新人大会に選手(※2)として参加し、団体で県3位入賞以上の成績を収めた者 ②中体連主催の県総体または県新人大会に選手(※2)として参加し、個人で県6位入賞以上の成績を収めた者 (次ページにつづく)	500	440	60			1000

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
水戸 桜ノ牧	普通	10%		(前ページからのつづき) シ <u>剣道</u> 次のいずれかの要件を満たす者で、中学校の剣道部に所属して3年間積極的に活動し、入学後も本校の剣道部に所属し、学業との両立を図りながら3年間継続する意志のある者 ①中体連主催の県総体または県新人大会に選手(※2)として参加し、個人で県ベスト8以上の成績を収めた者 ②中体連主催の県総体または県新人大会に選手(※2)として参加し、団体の県大会に出場した者 (※1) それに相当する大会とは以下の通りとする ・茨城県マーチングコンテスト出場 ・茨城県アンサンブルコンテスト県大会出場以上 ・日本管楽合奏コンテスト(日本音楽教育文化振興会主催)全国大会出場 (※2) 選手とは、当該大会において出場選手登録されている者である	500	440	60			1000
水戸 桜ノ牧 常北校	普通	30%		次のア又はイの要件を満たす者 ア 中学校で3年間継続して部活動(運動部・文化部)又は地域のクラブチームに所属して積極的に取り組み、本校入学後も本校のいずれかの部活動に加入して活動する意志のある者 イ 中学校において<u>生徒会本部役員</u>(会長、副会長、書記、会計、又はそれらに相当する役職)を務め、本校入学後も生徒会活動を積極的に行う意志のある者	500	300	100			900

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
勝田 工業	総合工学	25%	体育 (20%)	次のア～キのいずれかの要件を満たす者 ア <u>サッカー(男)</u>において、中学の部活動又は地域のクラブチームに所属して3年間活動した者で、本校入学後はサッカー部に入学し3年間継続して活動する強い意志のある者。 イ <u>剣道</u>において、中学の部活動又は地域の道場に所属して3年間活動した者で、本校入学後は剣道部に入学し3年間継続して活動する強い意志のある者。 ウ <u>体操競技</u>において、中学の部活動又は地域のクラブチームに所属して3年間活動し、中体連主催の県大会以上に出場し活躍した実績があるかそれと同等の競技力があると判断できる者で、本校入学後は体操競技部に入学し3年間継続して活動する強い意志のある者。 エ <u>硬式野球(男)</u>において、中学の部活動に所属して3年間活動し、チームとして中体連主催の大会（茨城県選抜中学校大会、飛田穂洲旗中学校野球大会を含む）に出場しプレーした選手かそれと同等の競技力があると判断できる者。または、地域のクラブチームに所属して活動し<u>上記と同等と認められる実績</u>を有し、本校入学後は硬式野球部に入学し3年間継続して活動する強い意志のある者。 ※ 「<u>上記と同等と認められる実績</u>」とは、硬式野球県大会に出場しプレーした選手のことをいう。 オ <u>ラグビーフットボール(男)</u>において、中学ラグビースクールに所属し3年間活動した者。または、中学校の運動部に所属して3年間活動した者で、本校入学後はラグビーフットボール部に入学し3年間継続して活動する強い意志のある者。 カ <u>バレーボール(男)</u>において、中学の部活動に所属して3年間活動した者。または、中学校の他の運動部に所属して3年間活動した者で、本校入学後はバレーボール部に入学し3年間継続して活動する強い意志のある者。 キ <u>バスケットボール(男)</u>において、中学の部活動又は地域のクラブチームに所属して3年間活動した者で、本校入学後はバスケットボール部に入学し3年間継続して活動する強い意志のある者。	500	100	100			700
			文化 (5%)	次の要件を満たす者 ものづくりへの興味・関心と将来への夢をもち、本校入学後はものづくり活動等に参加し3年間継続して活動する強い意志のある者。						

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
佐和	普通	15%	体育 (12%)	次のア、イの要件をともに満たす者 ア <u>野球(男)</u> 、 <u>陸上</u> 、 <u>サッカー(男)</u> 、 <u>バレーボール(女)</u> 、 <u>スケート(スピード、フィギュア)</u> のいずれかの活動において、中学校の部活動又は地域のクラブチームに所属し、継続して積極的に活動した者。ただし、 <u>陸上</u> においては、他の運動部所属であっても、陸上の県大会以上の出場実績を有する者を可とする。 イ 本校入学後も同一部活動に所属し、意欲的に取り組む意志を有する者	500	150	150			800
			文化 (3%)	次のア、イの要件をともに満たす者 ア 中学校の <u>吹奏楽部</u> に所属し、継続して積極的に活動した者で、地区大会以上のコンクール・コンテストに出場した実績のある者 イ 本校入学後も同一部活動に所属し、意欲的に取り組む意志を有する者						
那珂湊	普通	10%		次のア～エのいずれかの要件を満たすもの。 ア 本校入学後、本校設置の部活動に3年間継続して取り組む意志のある者 イ 本校入学後、地域と連携した活動に3年間継続して取り組む意志のある者 ウ 本校入学後、本校と連携する企業や地域の団体とともに、商品開発等に3年間取り組む意志のある者 エ 本校入学後、生徒会活動を積極的に行う意志のある者	500	210	90			800
	商業に関する学科	10%								
海洋	海洋技術	特色選抜は実施しない。								
	海洋食品	特色選抜は実施しない。								
	海洋産業	特色選抜は実施しない。								
笠間	普通	10%		次のア、イのいずれかの要件を満たす者 ア <u>サッカー(男)</u> 、 <u>バスケットボール(男)</u> のいずれかの活動において、中学校の部活動又は地域のクラブに所属して3年間積極的に取り組み、郡市大会以上に選手として出場した実績を有し、本校入学後も同一の部活動を継続する意志のある者 イ 中学校において、 <u>生徒会本部役員</u> を務めた者で、本校入学後も生徒会活動を積極的に行う意志のある者	500	300	200			1000
	美術	特色選抜は実施しない。								
	メディア芸術	特色選抜は実施しない。								

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
大洗	普通	30%		次のア、イ、ウのいずれかの要件を満たす者 ア 本校入学後、資格取得を積極的に行う意志のある者 イ 本校入学後、 <u>生徒会活動</u> を積極的に行う意志のある者 ウ 本校入学後、 <u>奉仕活動</u> を積極的に行う意志のある者	500	250	250			1000
	(普)音楽 コース	30%		次の要件を満たす者 本校入学後、 <u>マーチングバンド部</u> で積極的に活動する意志のある者	500	200	200		300	1200
東海	普通	10%	体育 (8%)	次のア又はイの要件を満たす者 ア 本校入学後、 <u>ホッケー</u> 、 <u>陸上</u> のいずれかの部活動において3年間意欲的に活動する意志のある者 イ <u>野球(男)</u> 、 <u>バスケットボール</u> のいずれかの活動において、中学校の部活動又は地域のクラブチームに所属し3年間積極的に取り組んだ者で、本校入学後も同一の部活動(種目)において3年間意欲的に活動する意志のある者	500	200	300			1000
			文化・芸術 (2%)	次の要件を満たす者 中学校の <u>吹奏楽部等</u> に所属し3年間積極的に取り組んだ者で、本校入学後 <u>ジャズバンド部</u> において3年間意欲的に活動する意志のある者						
茨城東	普通	10%		次のア～ウのいずれかの要件を満たす者 ア 本校入学後、本校設置の部活動に、3年間継続して積極的に活動する意志のある者。 イ 本校入学後、生徒会の活動に、本部役員として積極的に参加する意志のある者。 ウ 本校入学後、本校で参加者を募集するボランティア活動に、3年間継続して積極的に参加する意志のある者	500	600	100			1200
那珂	普通	15%		次のア、イの要件をともに満たす者 ア <u>野球(男)</u> 、 <u>サッカー(男)</u> 、 <u>バスケットボール</u> 、 <u>バレーボール(女)</u> 、 <u>剣道</u> のうち、いずれかの活動において、中学校の部活動又は地域のクラブチームに所属して3年間積極的に取り組んだ者 イ 本校入学後も同一の部活動を3年間継続する意志のある者	500	200	100			800

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
鉾田 第一	普通	10%		次のア、イの要件のいずれも満たす者 この場合の種目は、<u>野球(男)</u>、<u>サッカー(男)</u>、<u>陸上競技</u>、<u>バスケットボール</u>、<u>剣道</u>のいずれかとする。 ア 中学校の部活動または地域のクラブチームに所属して3年間積極的に取り組み、正選手(レギュラー)として大会に参加した者 ただし、陸上競技については、部活動への所属を問わない。 イ 本校入学後も同一の種目を継続する意志のある者 ※正選手(レギュラー)とは、下記の種目において指定する大会のいずれかに選手登録された者 (ア)<u>野球(男)</u> ①中体連主催の郡市大会以上の大会 ②県大会に準ずる大会 ③硬式野球県大会 ※「県大会に準ずる大会」とは以下の大会である。 茨城県選抜中学校野球大会、飛田穂州旗中学校野球大会 (イ)<u>サッカー(男)</u> ①中体連主催の地区大会 ②県クラブユース大会 (ウ)<u>陸上競技</u> ①中体連主催の地区大会 ②全日本中学校通信陸上競技大会 (エ)<u>バスケットボール</u> ①中体連主催の地区大会 ②毎日・茨城杯中学バスケットボール大会 (オ)<u>剣道</u> ①中体連主催の地区大会	500	200	200			900

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
鉾田 第二	総合学科	12%	文化・ 生徒会活動 (2%)	次のア、イ、ウのいずれかの要件を満たす者 ア 中学校の <u>吹奏楽部</u> に所属して3年間積極的に活動し、高校入学後も3年間継続して活動する強い意志のある者 イ 中学校において市町村の展覧会に入賞、又は県以上の展覧会に入選(地区の審査を経た者)している者で、 <u>美術部</u> 、 <u>書道部</u> に入学して3年間継続して活動する強い意志のある者 ウ 中学校において <u>生徒会役員</u> として活動するなど、リーダーとしての優れた資質や実践力を有し、高校入学後も生徒会活動等を積極的に行う強い意志のある者 ※「生徒会役員」には、「各種委員長や学級委員等」も含むものとする。	500	100	200			800
			体育 (10%)	次のア、イの要件をともに満たす者 ア 中学校の運動部で3年間積極的に活動し、高校入学後も同一の種目を3年間継続して活動する強い意志のある者 ※「中学校の運動部」には、「地域におけるスポーツのクラブチーム」も含むものとする イ 受け入れる部は、次のとおりとする。 <u>野球部(男)</u> 、 <u>サッカー部(男)</u> 、 <u>陸上競技部</u> 、 <u>ハンドボール部</u> 、 <u>剣道部</u> ただし、陸上競技部については、同一の部で活動した者の他、運動部経験者であれば何部でも可とする。						
	農業	5%								
	食品技術	5%								
玉造 工業	工業に関する学科	10%		次のア、イ、ウの要件をいずれも満たす者 ア 中学校の部活動又は地域のクラブチーム等(以下、部活動等)に所属し、3年間積極的に取り組んだ者のうち、団体種目においては郡市大会以上の大会又はそれに相当する大会に、主要な選手として出場した実績を持つ者とし、個人種目においては地区大会以上の大会又はそれに相当する大会に選手として出場した実績を持つ者とする。 ※それに相当する大会 ・中学校体育連盟以外が主催した市町村大会 ※感染症等の状況により通常での大会が実施できなかった競技については、出場する予定であった者も要件を満たすものとする。 イ 原則として、本校入学後も同一の部活動を3年間継続する意志のある者とする。 ただし、下記ウにおいて中学校にない部活動を希望する場合は、希望する部活動を3年間継続する意志のある者とする。 ウ <u>バスケットボール</u> 、 <u>バレーボール</u> 、 <u>サッカー</u> 、 <u>弓道</u> 、 <u>野球</u> 、 <u>ソフトテニス</u> を出願対象の部活動とする。	500	140	60			700

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
麻生	普通	15%	体育 (14%)	次のア～オのいずれかの要件を満たす者 ア <u>ハンドボール部</u> 中学校の運動部又は地域のスポーツクラブチームに所属し、3年間継続して積極的に取り組んだ者で、レギュラー選手として郡市大会以上に出場した実績のある者。 本校入学後はハンドボール部に入部し、3年間継続して活動する強い意志のある者。 イ <u>サッカー部(男)</u> 中学校のサッカー部又はサッカークラブチームに所属し、3年間継続して積極的に取り組んだ者で、レギュラー選手として郡市大会以上に出場した実績のある者。 本校入学後もサッカー部に入部し、3年間継続して活動する強い意志のある者。 ウ <u>硬式野球部(男)</u> 中学校の野球部又は野球のクラブチームに所属し、3年間継続して積極的に取り組んだ者で、レギュラー選手として郡市大会以上に出場した実績のある者。 本校入学後も硬式野球部に入部し、3年間継続して活動する強い意志のある者。 エ <u>バスケットボール部(女)</u> 中学校のバスケットボール部又はバスケットボールクラブチームに所属し、3年間継続して積極的に取り組んだ者で、レギュラー選手として郡市大会以上に出場した実績のある者。 本校入学後もバスケットボール部に入部し、3年間継続して活動する強い意志のある者。 オ <u>陸上競技部</u> 中学校の運動部又は地域のスポーツクラブチームに所属し、3年間継続して積極的に取り組んだ者で、レギュラー選手として郡市大会以上に出場又は郡市大会以上の陸上競技大会・駅伝競走大会に出場した実績のある者。 本校入学後は陸上競技部に入部し、3年間継続して活動する強い意志のある者。 ＊上記ア～オにおけるレギュラー選手とは、所属する団体の開催する(共催を含む)公式大会に出場した経験のある者を指す。	500	300	100			900
			生徒会活動 (1%)	次のア、イの要件をともに満たす者 ア 中学校において<u>生徒会本部役員</u>を務めた者。 イ 本校入学後も生徒会活動を積極的に行う意志のある者。						

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
潮来	普通	特色選抜は実施しない。								
	地域 ビジネス	特色選抜は実施しない。								
	人間科学	特色選抜は実施しない。								
鹿島	普通	15%		次のア又はイの要件を満たす者 ア 以下の部活動に所属し、3年間積極的に取り組み、地区大会以上にレギュラー選手として出場した者で、本校入学後、学業との両立を図りながら3年間継続して活動する意欲のある者 ただし、陸上競技部については、陸上の地区大会以上に出場した者で、本校入学後、学業との両立を図りながら3年間継続して活動する意欲のある者 イ 以下の種目のクラブチームに所属し、積極的に取り組んだ者で、本校入学後、学業との両立を図りながら3年間継続して活動する意欲のある者 <u>サッカー部（男）、野球部（男）、バスケットボール部（女）、剣道部、陸上競技部、卓球部</u> ※レギュラーとは、先発選手あるいは途中出場であってもチームの主力選手として試合に出場した者	500	200	100			800
神栖	普通	特色選抜は実施しない。								
波崎	普通	特色選抜は実施しない。								
	機械	特色選抜は実施しない。								
	電気	特色選抜は実施しない。								
	工業化学 ・情報	特色選抜は実施しない。								
波崎 柳川	普通	特色選抜は実施しない。								

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
土浦 第一	普通			特色選抜は実施しない。						
土浦 第二	普通			特色選抜は実施しない。						
土浦 第三	普通	15%		次のア～クのいずれかの要件を満たし、本校入学後、その部活動に入部し適応できる資質・能力を有し、3年間意欲的に活動する強い意志のある者。 ア <u>バレーボール部(男)</u> 次の①、②のいずれかの実績を持つ者。 ①中学校の何らかの運動部又は地域のクラブチームに所属し3年間積極的に取り組み、郡市大会又は以下の大会以上の出場経験を有する者。 ・中体連、体育協会、競技団体及び市町村が主催又は共催する大会。 ・競技団体とは以下のとおりである。 日本バレーボール協会、茨城県バレーボール協会 ②当該競技における地区(県南等)又は県選抜メンバー・強化指定選手に選ばれた者。 イ <u>バレーボール部(女)</u> 次の①、②のいずれかの実績を持つ者。 ①中学校の何らかの運動部又は地域の当該競技のクラブチームに所属し3年間積極的に取り組み、郡市大会又は以下の大会以上の出場経験を有する者。 ・中体連、体育協会、競技団体及び市町村が主催又は共催する大会。 ・競技団体とは以下のとおりである。 日本バレーボール協会、茨城県バレーボール協会、日本ヤングクラブバレーボール連盟、茨城県ヤングクラブバレーボール連盟 ②当該競技における地区(県南等)又は県選抜メンバー・強化指定選手に選ばれた者。 ウ <u>バスケットボール部(女)</u> 中学校の何らかの運動部又は地域のクラブチームに所属し3年間積極的に取り組み、郡市大会又は以下の大会以上の出場経験を有する者。 ・中体連、体育協会、競技団体及び市町村が主催又は共催する大会。 (次ページにつづく)	500	250	250			1000

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
土浦 第三	普通	15%		(前ページからのつづき) ・競技団体とは以下のとおりである。 日本バスケットボール協会、茨城県バスケットボール協会 エ <u>陸上競技部</u> 中学校の何らかの運動部又は地域のクラブチームに所属し3年間積極的に運動に取り組み、陸上の郡市大会又は以下の大会以上の種目の出場経験を有する者。 ・中体連、体育協会、競技団体及び市町村が主催又は共催する大会。 ・競技団体とは以下のとおりである。 日本陸上競技連盟、茨城県陸上競技協会 オ <u>硬式野球部(男)</u> 次の①、②のいずれかの実績を持つ者。 ①中学校の野球部又は地域の当該競技のクラブチームに所属し3年間積極的 に取り組み、郡市大会又は以下の大会以上の出場経験を有する者。 ・中体連、体育協会、競技団体及び市町村が主催又は共催する大会。 ・競技団体とは以下のとおりである。 日本リトルシニア中学硬式野球協会(シニアリーグ)、日本少年野球連盟(ボー イズリーグ)、全日本少年硬式野球連盟(ヤングリーグ)、日本ポニーベースボール協 会(ポニーリーグ)、日本中学生野球連盟(KWB ボール) ②当該競技における地区(県南等)又は県選抜メンバー・強化指定選手に選ばれた 者。 カ <u>剣道部</u> 中学校の何らかの運動部又は地域のクラブチームに所属し3年間積極的 に取り組み、意欲的に活動した経験を有する者。 キ <u>ソフトテニス部</u> 中学校のソフトテニス部又は地域の当該競技のクラブチームに所属し3年間積極 的に取り組み、各地区大会以上の出場経験を有する者。 ク <u>サッカー部(男)</u> 中学校のサッカー部又は地域の当該競技のクラブチームに所属し3年間積極 的に取り組み、郡市大会又は以下の大会以上の出場経験を有する者。 ・中体連、体育協会、競技団体及び市町村が主催又は共催する大会。 ・競技団体とは以下のとおりである。 日本サッカー協会、茨城県サッカー協会	500	250	250			1000
	商業に関 する学科	25%								

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
土浦 工業	機械	15%		次のア、イのいずれかの要件を満たす者	500	200	100			800
	電気	15%		ア 以下の運動部を希望する者については、中学校の運動部又は地域におけるスポーツのクラブチームや自治体又は地域の運動教室等に所属し、3年間積極的に取り組んだ者で、本校入学後も継続して同一の運動部を3年間継続する意志のある者。ただし、硬式野球部を希望する場合には、軟式野球の活動でも可能とする。 <u>バスケットボール部(男)、硬式野球部(男)、柔道部、バレーボール部(男)</u>						
	情報技術	15%		イ 中学校の運動部又は地域のクラブチーム等に所属し、3年間積極的に取り組んだ者で、本校入学後は以下の運動部を3年間継続する意志のある者。 <u>陸上競技部、バドミントン部、硬式テニス部</u>						
	建築	15%								
	土木	15%								
土浦 湖北	普通	20%	体育 (17%)	次のア、イ、ウのいずれかの要件を満たし、かつエの要件を満たす者 ア <u>野球(男)、サッカー</u>のいずれかの活動において、中学校の部活動又は地域のクラブチームに所属し、全国大会・関東大会・県大会・地区大会・都市大会もしくはこれに準ずる大会にレギュラー選手(各大会の登録選手)として出場した実績があり、本校入学後も部活動に適応できる資質・能力を有する者 ※「これに準ずる大会」は、次の大会とする ・野球 硬式野球県大会 ・サッカー 都道府県サッカー協会が主催する大会 イ <u>剣道、ソフトテニス(男)</u>のいずれかの活動において、中学校の部活動に所属し、全国大会・関東大会・県大会・地区大会・都市大会もしくはこれに準ずる大会にレギュラー選手(各大会の登録選手)として出場した実績があり、本校入学後も部活動に適応できる資質・能力を有する者 ※「これに準ずる大会」は、次の大会とする ・剣道 茨城県剣道道場連盟主催の大会 ・ソフトテニス(男)については、中体連主催の大会のみを対象とする ウ <u>陸上競技</u>に関する活動において、全国大会・関東大会・県大会に出場した実績又は地区大会・都市大会で入賞した実績があり、本校入学後も部活動に適応できる資質・能力を有する者 エ 本校入学後も3年間同一の部活動を継続する意志のある者 (次ページにつづく)	500	160	240			900

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
土浦 湖北	普通	20%	文化・生徒会 (3%)	(前ページからのつづき) 次のア、イのいずれかの要件を満たす者 ア 中学校において<u>吹奏楽部</u>に所属して3年間積極的に活動し、コンクールに出場している者で、本校入学後も吹奏楽部に所属し、3年間継続して活動する意欲のある者 イ 中学校において<u>生徒会本部役員</u>を務め、本校入学後も生徒会活動を継続する意志のある者 ※「生徒会本部役員」とは、生徒会長、生徒会副会長などの生徒会役員とし、委員会の委員長(中央委員)などは含まない。	500	160	240			900
石岡 第一	普通	10%		次のア～エのいずれかの要件を満たす者 ア <u>野球(男)、サッカー(男)、バスケットボール、バレーボール(女)、ソフトテニス、剣道</u>のうち、いずれかの活動において、中学校の当該部活動又は地域のクラブチームに所属して3年間意欲的に取り組み、中体連郡市大会以上またはこれに準ずる大会にレギュラー選手として出場した実績を持ち、本校入学後も同一種目を3年間継続して活動する意志がある者 イ <u>バドミントン</u>においては、中学校の当該部活動に所属して3年間意欲的に取り組み、中体連地区大会以上にレギュラー選手として出場した実績を持ち、本校入学後も同一種目を3年間継続して活動する意志がある者 ウ <u>陸上競技</u>においては、中学校の陸上部の有無にかかわらず、中学校のいずれかの部活動に所属して3年間意欲的に取り組み、陸上競技大会の各種目で、中体連郡市大会以上にレギュラー選手として出場した実績を持ち、本校入学後も陸上競技を3年間継続して活動する意志がある者 エ <u>ウエイトリフティング</u>においては、中学校のいずれかの運動部に所属して3年間意欲的に取り組み、本校入学後、当該種目を3年間継続して活動する意志がある者 ※「これに準ずる大会」は、次の大会とする ・野球については、日本少年野球連盟ボーイズリーグまたは全日本リトル野球協会リトルシニアリーグ及びヤングリーグ、ポニーリーグが主催する大会 ・サッカーについては、都道府県サッカー協会が主催する大会 ・バスケットボールについては、都道府県バスケットボール協会が主催する大会 ※「レギュラー選手」とは各部活動で上記大会に出場実績のある選手をさす。	500	300	100			900
	園芸	30%								
	造園	30%								

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
石岡 第二	普通	10%		次のア～サのいずれかの要件を満たす者 ア <u>バレーボール部(男、女)</u> 中学校のバレーボール部又は地域のクラブチームに所属し、3年間継続して積極的に取り組んだ者。 本校入学後は、バレーボール部に所属し、3年間継続して活動する意志のある者。 イ <u>サッカー部(男)</u> 中学校のサッカー部又は地域のクラブチームに所属し、3年間継続して積極的に取り組んだ者。 本校入学後は、男子サッカー部に所属し、3年間継続して活動する意志のある者。 ウ <u>ソフトテニス部(男、女)</u> 中学校のソフトテニス部又は地域のクラブチームに所属し、3年間継続して積極的に取り組んだ者。 本校入学後は、ソフトテニス部に所属し、3年間継続して活動する意志のある者。 エ <u>卓球部(男、女)</u> 中学校の卓球部又は地域のクラブチームに所属し、3年間継続して積極的に取り組んだ者。 本校入学後は、卓球部に所属し、3年間継続して活動する意志のある者。 オ <u>吹奏楽部(男、女)</u> 中学校の吹奏楽部に所属し、3年間継続して積極的に取り組んだ者。 本校入学後は、吹奏楽部に所属し、3年間継続して活動する意志のある者。 カ <u>バスケットボール部(男、女)</u> 本校入学後は、バスケットボール部に所属し、3年間継続して活動する意志のある者。 キ <u>陸上競技部(男、女)</u> 本校入学後は、陸上競技部に所属し、3年間継続して活動する意志のある者。 ク <u>弓道部(男、女)</u> 本校入学後は、弓道部に所属し、3年間継続して活動する意志のある者。 ケ <u>バドミントン部(男、女)</u> 本校入学後は、バドミントン部に所属し、3年間継続して活動する意志のある者。 コ <u>サッカー部(女)</u> 本校入学後は、女子サッカー部に所属し、3年間継続して活動する意志のある者。 サ リーダーとしての資質を有し、本校入学後は <u>生徒会活動等</u> に3年間積極的に活動する意志のある者。	500	300	200			1000
	生活 デザイン	10%								

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
石岡 商業	商業	15%		下記のいずれかの部活動の活動実績(中学校の活動部または地域のクラブチーム等でもよい)を有し、必ず3年間意欲的に活動する意思のある者。 <u>硬式野球部(男)、弓道部、少林寺拳法部、ハンドボール部(男)、空手道部</u> <u>バスケットボール部、バドミントン部、ソフトテニス部、陸上競技部</u>	500	400	100			1000
	情報処理	15%								
中央	普通	10%		次のア、イの要件をともに満たす者 ア <u>野球(男)、サッカー(男)、バスケットボール、陸上競技、テニス、バレーボール(女)、剣道</u> のうち、いずれかの活動において、中学校の各運動部又は地域のクラブチーム等に所属し、3年間熱心に取り組んだ者 イ 本校入学後も同一の種目を3年間継続する意志のある者 なお、陸上競技を希望する者については、中学校で所属した運動部と同一種目の必要はない。 また、テニスを希望する者については、出願時はソフトテニスの活動でも可とするが、入学後は(硬式)テニス部に所属するものとする。	500	400	100			1000
	(普) スポーツ 科学コース	50% 以内			500	200	200		100	1000
				次のア、イの要件をともに満たす者 ア <u>野球(男)、サッカー(男)、バスケットボール、陸上競技、バレーボール(女)</u> のうち、いずれかの活動において、中学校の各運動部又は地域のクラブチーム等に所属し、3年間熱心に取り組んだ者 イ 本校入学後も同一の種目を3年間継続する意志のある者 なお、陸上競技を希望する者については、中学校で所属した運動部と同一種目の必要はない。						

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
竜ヶ崎 第一	普通	12%	文化 (2%)	①ア～エのいずれかの要件を満たし、かつ②入学後は各分野で意欲的に活動する意志のある者： ア <u>ICT</u> :IT パスポート、ジェネラリスト検定又はこれらと同等の IT 資格を所持する者、または中学の3年間に IT 技術に関する大会等で全国規模の実績をあげた者、または製作した IT サービス／アプリケーションを通じ有為な実績(ユーザ数／フォロワー数等)をあげた者 イ <u>国際</u> :CEFR B1 相当以上の能力を有する者、または中学の3年間に英語に関する大会等で全国規模の実績をあげた者 ウ <u>探究</u> : 中学の3年間に探究に関する大会等で全国規模の実績をあげた者、または起業の経験を有する者 エ <u>科学</u> : 高校卒業相当以上の数学の能力を有する者、または中学の3年間に数学や科学に関する大会等で全国規模の実績をあげた者	500	100	400			1000
			体育 (10%)	①ア～カのいずれかの要件を満たし、かつ②入学後は各部活動に所属しながら学業との両立を維持し、かつ③学校生活の中で強いリーダーシップを発揮する意志のある者 ア <u>硬式野球部</u> (男): 中学校の野球部又は地域の硬式野球チームに所属し、意欲的に活動した者 イ <u>バレーボール部</u> (男): 中学校のバレーボール部又は地域のクラブチームに所属し、意欲的に活動した者 ウ <u>陸上競技部</u> : なし エ <u>ソフトテニス部</u> (男): 中学校のソフトテニス部に所属し、意欲的に活動した者 オ <u>卓球部</u> : 中学校の卓球部又は地域のクラブチームに所属し、意欲的に活動した者 カ <u>サッカー部</u> (男): 中学校のサッカー部又は地域のクラブチームに所属し、意欲的に活動した者	500	400	100			1000

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
竜ヶ崎 第二	普通	15%		次のア、イのいずれかの要件を満たす者 ア 下記の種目のいずれかにおいて、中学校の運動部又は地域におけるスポーツクラブチームに所属し、積極的に取り組んだ者で、本校入学後も同一種目の部活動を3年間積極的に活動する意志のある者。ただし、陸上部については、中学校に部活動がない場合、中体連主催の大会に出場した者を含める。 <u>バスケットボール部(女)、陸上部、ソフトテニス部</u> イ 中学校で生徒会の本部役員として活動した経験を持ち、本校入学後も生徒会本部の活動に3年間積極的に参加する意志のある者	500	400	300			1200
	商業	30%		次のア、イ、ウのいずれかの要件を満たす者 ア 下記の種目のいずれかにおいて、中学校の運動部又は地域におけるスポーツクラブチームに所属し、積極的に取り組んだ者で、本校入学後も同一種目の部活動を3年間積極的に活動する意志のある者。ただし、陸上部については、中学校に部活動がない場合、中体連主催の大会に出場した者を含める。 <u>陸上部、ソフトテニス部</u> イ 中学校で生徒会の本部役員として活動した経験を持ち、本校入学後も生徒会本部の活動に3年間積極的に参加する意志のある者 ウ 中学校において、運動部あるいは文化部活動に熱心に取り組む、かつ、特にビジネスアプリケーションソフトウェア(表計算、ワープロ等)の操作技能およびプログラミングの知識を身に付け、本校入学後はその技能・知識を向上させるため <u>商業部</u> で活動する意志のある者						
	人間文化	30%		次のア、イ、ウのいずれかの要件を満たす者 ア 下記の種目のいずれかにおいて、中学校の運動部又は地域におけるスポーツクラブチームに所属し、積極的に取り組んだ者で、本校入学後も同一種目の部活動を3年間積極的に活動する意志のある者。ただし、陸上部については、中学校に部活動がない場合、中体連主催の大会に出場した者を含める。 <u>バスケットボール部(女)、陸上部、ソフトテニス部</u> イ 中学校で生徒会の本部役員として活動した経験を持ち、本校入学後も生徒会本部の活動に3年間積極的に参加する意志のある者 ウ 中学校において、ボランティア活動に継続的に取り組み、かつ、総合的な学習の時間等において、家庭科に関する研究を行った実績のある者で、本校入学後も3年間積極的に <u>学校家庭クラブ</u> で活動する意志のある者 ※ 学校家庭クラブとは、家庭科で学んだ知識や技術を生かして、学校や地域の生活の充実向上を目指す実践活動を行う組織です。						

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
竜ヶ崎南	普通	特色選抜は実施しない。								
江戸崎 総合	総合学科	20%	体育 (15%)	次のア、イの要件をともに満たす者 ア <u>野球(男)</u> 、 <u>バスケットボール</u> 、 <u>サッカー(男)</u> 、 <u>ソフトテニス</u> 、 <u>硬式テニス</u> 、 <u>弓道</u> 、 <u>陸上競技</u> のうち、いずれかの活動において、中学校の部活動又は地域のクラブチームなどに所属し、3年間積極的に取り組んだ実績のある者 ただし、 <u>陸上競技</u> については、所属していなくとも中体連、体育協会、市町村、その他同等と認める団体が主催又は共催する大会への出場実績があればよい。 イ 本校入学後も当該部活動に所属し、3年間積極的に活動する意志のある者 ただし、 <u>テニス</u> については、 <u>ソフトテニス部</u> 、 <u>硬式テニス部</u> のいずれでも可とする。	500	100	400			1000
			文化・芸術・ 生徒会活動 (5%)	次のア、イ、ウ、エのいずれかの要件を満たす者 ア 中学校において、 <u>吹奏楽部</u> 又は同様の団体の一員として3年間積極的に活動した実績のある者で、本校入学後も <u>吹奏楽部</u> で、3年間積極的に活動を継続する意志のある者 イ 中学校において、 <u>文化部(同好会を含む。)</u> の部長を務めた者 ウ 中学校において、 <u>生徒会本部役員</u> を務めた者で、本校入学後、生徒会役員、各種委員として積極的に活動する意志のある者 エ 中学校において、 <u>各種委員会の委員長</u> 、 <u>各種行事の実行委員長</u> を務めた者						
取手 第一	総合学科	15%		次のア～オのいずれかの要件を満たす者 ア <u>硬式野球部(男)</u> 中学校の野球部又は地域におけるスポーツのクラブチーム等に所属し、積極的に取り組んだ者 本校の野球部の活動に適應できる資質・能力を有し、入学後3年間積極的に活動する意欲のある者 イ <u>バレーボール部(女)</u> 中学校のバレーボール部又は地域におけるスポーツのクラブチーム等に所属し、積極的に取り組んだ者 本校のバレーボール部の活動に適應できる資質・能力を有し、入学後3年間積極的に活動する意欲のある者 (次ページにつづく)	500	300	100			900

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
取手 第一	総合学科	15%		(前ページからのつづき) ウ <u>剣道部</u> 中学校の剣道部又は地域におけるスポーツのクラブチーム等に所属し、積極的に取り組んだ者 本校の剣道部の活動に適應できる資質・能力を有し、入学後3年間積極的に活動する意欲のある者 エ <u>ラグビー部(男)</u> 中学校の部活動又は地域におけるスポーツのクラブチーム等に所属し、積極的に活動経験のある者 本校のラグビー部の活動に適應できる資質・能力を有し、入学後3年間積極的に活動する意欲のある者	500	300	100			900
取手 第二	普通	20%		次のア、イ、ウ、エのいずれかの要件を満たす者 ア <u>野球(男)</u> の活動において、中学校の部活動または地域のクラブチームに所属して3年間積極的に取り組み、公式大会等に出場した実績を持つ者で、本校入学後も3年間継続して活動する意志のある者 イ <u>バスケットボール</u> の活動において、中学校の部活動または地域のクラブチームに所属して3年間積極的に取り組み、公式大会等に出場した実績を持つ者で、本校入学後も3年間継続して活動する意志のある者 ウ <u>吹奏楽</u> の活動において、中学校の部活動に所属して3年間熱心に取り組む、コンクール・大会等に出場した実績を持つ者で、本校入学後も3年間継続して活動する意志のある者 エ 中学校で生徒会の本部役員として活動した経験を持ち、本校入学後も生徒会本部の活動に3年間積極的に参加する意志のある者	500	300	100			900
	家政	5%								
取手 松陽	普通	22%	体育 (20%)	次の要件を満たす者 中学校の運動部又は地域のクラブチームに所属して3年間積極的に取り組んだ者で、本校入学後、 <u>剣道</u> 、 <u>野球(男)</u> 、 <u>サッカー(男)</u> 、 <u>バスケットボール</u> 、 <u>陸上</u> 、 <u>卓球</u> のいずれかの部活動に適應できる資質・能力を有し、3年間積極的に活動する者	500	100	100		300	1000
			文化・芸術 (2%)	次の要件を満たす者 中学校の吹奏楽部に所属して3年間積極的に取り組んだ者で、コンクール・大会等への出場実績があり、本校入学後も <u>吹奏楽部</u> の活動に適應できる資質・能力を有し、3年間積極的に活動する者	500	200	100			800

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
取手 松陽	美術	特色選抜は実施しない。								
	音楽	特色選抜は実施しない。								
藤代	普通	12%		次のア、イの要件をともに満たす者 ア 中学校の運動部又は地域におけるスポーツのクラブチームに所属し、3年間積極的に取り組んだ者 イ 本校入学後、次のいずれかの部活動に適應できる資質・能力を有し、3年間積極的に活動する意欲のある者 <u>野球部(男)、陸上競技部、サッカー部(男)、剣道部</u>	500	200	200			900
藤代 紫水	普通	30%	体育 (28%)	次のア、イの要件をともに満たす者 ア 中学校の部活動又は地域におけるスポーツのクラブチームに所属し、3年間積極的に取り組んだ者 イ 本校入学後、次のいずれかの部活動に適應できる資質・能力を有し、3年間積極的に活動する意欲のある者 <u>バスケットボール部、硬式野球部(男)、サッカー部(男)、卓球部、ソフトテニス部、バドミントン部、ハンドボール部(男)、空手道部</u>	500	200	200		200	1100
			文化・芸術 (2%)	次のア、イの要件をともに満たす者 ア 中学校の部活動又は地域における団体に所属し、3年間積極的に取り組んだ者。書道においては中学校に部活動がない場合、この限りでない。 イ 本校入学後、次のいずれかの部活動に適應できる資質・能力を有し、3年間積極的に活動する意欲のある者 吹奏楽部、書道部	500	200	200			900

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
牛久	普通	15%		次のア～キのいずれかの要件を満たし、本校入学後に本校の当該運動部に入部し継続的に活動する意思のある者。 ア <u>野球(男)</u> 次のいずれかの実績を残した者 ・中学校の野球部に所属して3年間積極的に取り組み、中体連主催の郡市大会以上の出場実績を有する者。 ・地域の野球のクラブチームに所属して3年間積極的に取り組み、次のいずれかの大会の出場実績を有する者。 ①日本リトルシニア中学硬式野球協会主催の大会 ②日本少年野球連盟主催の大会 ③全日本少年硬式野球連盟主催の大会 ④日本ポニーベースボール協会主催の大会 イ <u>バレーボール(女)</u> 次のいずれかの実績を残した者 ・中学校のバレーボール部に所属して3年間積極的に取り組み、中体連主催の郡市大会以上の出場実績を有する者。 ・地域のバレーボールのクラブチームに所属して3年間積極的に取り組み、日本ヤングクラブバレーボール連盟主催の大会の出場実績を有する者。 ウ <u>柔道</u> 次のいずれかの実績を残した者 ・中学校の柔道部に所属して3年間積極的に取り組み、中体連主催の郡市大会以上の出場実績を有する者。 ・地域の柔道のクラブチームに所属して3年間積極的に取り組み、中体連主催の郡市大会以上または柔道連盟主催の大会の出場実績を有する者。 (次ページにつづく)	500	200	200			900

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
牛久	普通	15%		(前ページからのつづき) エ <u>バスケットボール(男)</u> 次のいずれかの実績を残した者 ・中学校のバスケットボール部に所属して3年間積極的に取り組み、中体連主催の郡市大会以上の出場実績を有する者。 ・地域のバスケットボールのクラブチームに所属して3年間積極的に取り組み、次のいずれかの大会の出場実績を有する者。 ①毎日・茨城杯中学バスケットボール大会 ②都道府県U15クラブバスケットボール選手権大会 オ <u>サッカー(男)</u> 次のいずれかの実績を残した者 ・中学校のサッカー部に所属して3年間積極的に取り組み、中体連主催の郡市大会以上の出場実績を有する者。 ・地域のサッカーのクラブチームに所属して3年間積極的に取り組み、クラブユースサッカー連盟主催の大会の出場実績を有する者。 カ <u>陸上競技</u> ・中学校の部活動又は地域のクラブチームに所属して3年間積極的に取り組み、中体連主催の陸上競技の郡市大会以上の出場実績を有する者。ただし、中学校の部活動及び地域のクラブチームは陸上競技に限定しない。 キ <u>ソフトテニス(女)</u> 次のいずれかの実績を残した者 ・中学校のソフトテニス部に所属して3年間積極的に取り組み、中体連主催の大会において、個人戦 地区大会ベスト16以上の出場実績を有する者、または、レギュラー選手として団体戦 地区大会ベスト8以上の出場実績を有する者(レギュラー選手とは、当該大会において、試合に出場した選手を指す)。 ・地域のソフトテニスのクラブチームに所属して3年間積極的に取り組み、日本ソフトテニス連盟主催の大会の出場実績を有する者。	500	200	200			900
牛久 栄進	普通	特色選抜は実施しない。								

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
筑波	普通	特色選抜は実施しない。								
竹園	普通、国際	特色選抜は実施しない。								
つくば サイエンス	科学技術	50% 以内		次のア、イのいずれかの要件を満たす者 ア 中学校時代に、科学に関連する探究活動(※1)に取り組んだ経験を有し、本校入学後も積極的に探究活動に挑戦する意志のある者。 イ 中学校時代に、科学に関連するコンテスト等(※2)に参加した経験を有し、本校入学後も積極的にその活動に挑戦する意志のある者。 ※1 「科学に関連する探究活動」とは、ロボット、情報、建築、化学、生物、宇宙、防災、エネルギー、まちづくり、環境、食品などをテーマとする探究活動。 ※2 「科学に関連するコンテスト等」とは、ロボットコンテスト、科学の甲子園ジュニア、プログラミングコンテスト、発明工夫展など。	700	200	200 注			1100
岩瀬	普通	特色選抜は実施しない。								
	衛生看護	特色選抜は実施しない。								
真壁	普通	10%		次のア～エのいずれかの要件を満たす者 ア 本校入学後、本校設置の部活動に、3年間継続して活動する意志がある者 イ 本校入学後、地域連携活動等に、積極的に参加する意志がある者 ウ 本校入学後、資格取得や検定等に、積極的に取り組む意志がある者 エ 本校入学後、生徒会活動に、積極的に参加する意志がある者	500	300	400			1200
	農業・ 環境緑地	10%		次のア～オのいずれかの要件を満たす者 ア 本校入学後、本校設置の部活動に、3年間継続して活動する意志がある者 イ 本校入学後、地域連携活動等に、積極的に参加する意志がある者 ウ 本校入学後、資格取得や検定等に、積極的に取り組む意志がある者 エ 本校入学後、生徒会活動に、積極的に参加する意志がある者 オ 本校入学後、学校農業クラブ活動に、積極的に参加する意志がある者						
	食品化学	10%								

注 つくばサイエンス高等学校は、面接に代えてプレゼンテーションを実施する。

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
下館 第一	普通	5%		次のア～カのいずれかの要件を満たし、本校入学後もその運動部に入部し意欲的に活動する意志のある者 ア <u>硬式野球(男)</u> 次のいずれかの実績を残した者 ・3年間継続して中学校の野球部に所属し、地区大会(県西大会など)にレギュラーとして出場した者。または県(地区)選抜選手に選ばれ、県大会以上の大会に出場した者。 ・地域のクラブチームに所属し、レギュラーとして各硬式野球団体主催の春・夏の全国大会・関東大会の支部予選を突破し、上位大会に進出した者。または選抜選手に選ばれ、関東大会以上の大会に出場した者。 イ <u>サッカー(男)</u> 次のいずれかの実績を残した者 ・3年間継続して中学校のサッカー部に所属し、地区大会(県西大会など)にレギュラーとして出場した者。 ・地域のクラブチームに所属し、関東大会以上の大会にレギュラーとして出場した者。 ・U15県(地区)トレーニングセンター選抜選手の実績を持つ者。 ウ <u>剣道</u> 次のいずれかの実績を残した者 ・3年間継続して中学校の剣道部に所属し、団体戦で地区大会(県西大会など)にレギュラーとして出場した者。または個人戦で地区大会に出場した者。 ・地域の道場に所属し、全国大会に繋がる県予選において団体戦ベスト8以上にレギュラーとして出場した者。または個人戦でベスト16以上の実績を持つ者。 エ <u>バスケットボール</u> 次のいずれかの実績を残した者 ・3年間継続して中学校のバスケットボール部に所属し、地区大会(県西大会など)にレギュラーとして出場した者。 ・地域のクラブチームに所属し、レギュラーとして県大会ベスト4以上の実績を持つ者。 ・第2、3学年時に、県または地区DC(育成センター)に選出された者。 オ <u>バレーボール</u> ・3年間継続して中学校のバレーボール部に所属し、地区大会(県西大会など)にレギュラーとして出場した者。または選抜メンバーに選ばれ、県大会以上の大会に出場した者。 (次ページにつづく)	500	250	100			850

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
下館 第一	普通	5%		(前ページからのつづき) カ <u>陸上競技</u> 次のいずれかの実績を残した者 ・中学校における陸上競技大会で地区予選(県西大会など)8位以上の実績を持つ者、または県大会(県通信大会含む)以上の大会に出場した者(リレー競技も可)。 ・ジュニアオリンピック等、日本陸上競技連盟や各都道府県陸上競技連盟が主催する大会に出場経験がある者。 ※「レギュラーとして出場した者」とは、「メンバー登録し、かつ試合に出場した者」とする。	500	250	100			850
下館 第二	普通	10%		次のア～エのいずれかの要件を満たし、本校入学後もその運動部に入部し意欲的に活動する意志のある者。 ア <u>バスケットボール部(男女)</u> 中学校の部活動または地域のクラブチームに所属して3年間積極的に取り組み、中体連の大会もしくはそれに準じる大会(毎日・茨城杯中学校バスケットボール大会、都道府県バスケットボール大会)において、*レギュラー選手として出場した者。 イ <u>ラグビー部(男女)</u> 中学校の何らかの運動部に所属して3年間積極的に取り組み、中体連の大会において、選手として出場した者。 ウ <u>剣道部(男女)</u> 中学校の部活動に所属して3年間積極的に取り組み、中体連の大会において、選手として出場した者。または、全日本剣道道場連盟の大会、スポーツ少年団の大会において、選手として出場した者。 エ <u>卓球部(男女)</u> 中学校の部活動に所属して3年間積極的に取り組み、中体連の地区大会以上の大会もしくはそれに準じる大会(茨城県卓球選手権大会ジュニアの部兼全日本ジュニアの部中学校県西地区予選会ベスト32)において、選手として出場した者。 *レギュラー選手 公式戦に出場した経験がある者	500	200	100			800

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
下館 工業	機械	10%		次のア～クのいずれかの要件を満たす者 ア <u>野球(男)</u> において、中学校の部活動又は地域のクラブチームに所属し、レギュラー選手もしくはそれに準ずる選手として活躍し、本校入学後も <u>野球部(男)</u> で3年間継続して活動する強い意志のある者 イ <u>剣道</u> において、中学校の部活動又は地域の道場に所属して3年間積極的に活動し、本校入学後も <u>剣道部</u> で3年間継続して活動する強い意志のある者 ウ <u>柔道</u> において、中学校の部活動又は地域の道場に所属して3年間積極的に活動し、本校入学後も <u>柔道部</u> で3年間継続して活動する強い意志のある者 エ <u>サッカー(男)</u> において、中学校の部活動又は地域のクラブチームに所属して3年間積極的に活動し、各種大会に出場経験があり、本校入学後も <u>サッカー部(男)</u> で3年間継続して活動する強い意志のある者 オ <u>バレーボール(男)</u> において、中学校の部活動に所属して3年間積極的に活動し、中体連の地区大会以上の大会において、レギュラー選手として出場した者や各地区選抜、県選抜選手として活躍し、本校入学後も <u>バレーボール部(男)</u> で3年間継続して活動する強い意志のある者 カ <u>バスケットボール(男)</u> において、中学校の部活動に所属して3年間積極的に活動し、中体連の地区大会以上の大会において、レギュラー選手として出場した者や各地区選抜、県選抜選手として活躍し、本校入学後も <u>バスケットボール部(男)</u> で3年間継続して活動する強い意志のある者 キ 学校の運動部もしくは地域スポーツクラブ等でのスポーツ経験があり、 <u>ラグビー</u> について興味・関心が高く、本校入学後は <u>ラグビー部</u> で3年間継続して活動する強い意志のある者 ク 中学校の吹奏楽や音楽系の部活動又は地域の教室等に所属して3年間積極的に活動し、本校入学後は <u>ジャズバンド部</u> で3年間継続して活動する強い意志のある者 ※レギュラー選手とは、各種大会で、途中出場を含め試合に出場した者	500	300	200			1000
	電気	10%								
	電子	10%								
	建設工学	10%								
明野	普通	特色選抜は実施しない。								

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
下妻 第一	普通	10%		次のア～コのいずれかの要件を満たし、本校入学後も要件を満たし出願した種目と同一の部活動に3年間所属し、強いリーダーシップを発揮する意志を持つ者 ア 野球(男) 次の①～⑥のいずれかの成績を残した者 ①レギュラー選手として、第2学年の新人大会又は第3学年の総合体育大会で各地区のベスト4以上又は県大会出場以上 ②レギュラー選手として、第3学年の県選抜野球大会でベスト8以上 ③レギュラー選手として、第3学年の為桜野球大会でベスト4以上 ④第3学年のときに県・地区選抜選手に選出。 ※クラブチーム選抜を含む ⑤第3学年のときに県の代表選手に選ばれ、全日本少年軟式野球大会出場 ⑥クラブチームに所属し、レギュラー選手として、下記の大会に出場 (第3学年)全日本中学野球選手権ジャイアンツカップ、全日本中学野球選手権関東ブロックジャイアンツカップ ・日本リトルシニア中学硬式野球協会(シニアリーグ) (第2学年)全国選抜大会、関東連盟秋季大会 (第3学年)日本選手権大会、関東連盟春季大会、関東連盟夏季大会 ・日本少年野球連盟(ボーイズリーグ) (第2学年)春季全国大会 (第3学年)選手権大会、茨城支部予選を経た関東大会 ・全日本少年硬式野球連盟(ヤングリーグ) (第2学年)春季大会 (第3学年)選手権大会、グランドチャンピオン大会、春季関東大会、東日本秋季大会 ・日本ポニーベースボール協会(ポニーリーグ) (第2学年)全日本選抜中学硬式野球大会、関東連盟秋季大会 (第3学年)全日本選手権大会、全日本コルトリーグ中学野球選手権大会、関東連盟春季大会、関東連盟コルト大会 (次ページに続く)	500	600	100			1200

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
下妻 第一	普通	10%		(前ページからのつづき) イ <u>サッカー(男)</u> 次の①～③のいずれかの成績を残した者 ①レギュラー選手として、第2学年の新人大会又は第3学年の総合体育大会で各地区のベスト4以上又は県大会出場以上 ②第2・3学年のときに県・地区選抜選手に選出。※クラブチーム選抜を含む ③クラブチームに所属し、第3学年のときにレギュラー選手として、下記の大会に出場 日本クラブユース選手権U15大会関東予選、関東ユースU15サッカーリーグ、高円宮杯U15サッカー選手権大会関東大会 ウ <u>陸上競技</u> 次の①～⑤のいずれかの成績を残した者 ①レギュラー選手として、第2学年の新人大会又は第3学年の総合体育大会(通信陸上を含む)で各地区のベスト4以上又は県大会出場以上。ただし、リレー競技は県大会でベスト8以上 ②レギュラー選手として、第3学年の中学駅伝(中体連主催)で県大会ベスト8以上 ③第3学年の県西地区中学校陸上競技大会(為桜アスレティッククラブ主催)でベスト4以上 ④県の代表選手に選ばれ、都道府県対抗駅伝に出場 ⑤JOC ジュニアオリンピック大会出場 エ <u>バスケットボール</u> 次の①～⑤のいずれかの成績を残した者 ①レギュラー選手として、第2学年の新人大会又は第3学年の総合体育大会で各地区のベスト4以上又は県大会出場以上 ②レギュラー選手として、第2学年の毎日・茨城杯茨城県U14バスケットボール大会でベスト8以上 ③第2・3学年のときに県・地区DCに選出。DC とは育成センターのことである ④第3学年の全国U15バスケットボール選手権大会(ジュニアウィンターカップ)に出場 ⑤第3学年の全国U15クラブバスケットボール選手権大会に出場 (次ページに続く)	500	600	100			1200

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
下妻 第一	普通	10%		(前ページからのつづき) オ <u>バドミントン</u> 次の①～③のいずれかの成績を残した者 ①レギュラー選手として、第2学年の新人大会又は第3学年の総合体育大会で各地区のベスト4以上又は県大会出場以上 ②第3学年の茨城県春季バドミントン大会で県ベスト8以上 ③JOCジュニアオリンピック大会出場 カ <u>バレーボール</u> 次の①～③のいずれかの成績を残した者 ①レギュラー選手として、第2学年の新人大会又は第3学年の総合体育大会で各地区のベスト4以上又は県大会出場以上 ②第3学年のときに県・地区選抜選手に選出 ③県の代表選手に選ばれ、JOCジュニアオリンピックカップに出場 キ <u>卓球</u> 次の①～③のいずれかの成績を残した者 ①レギュラー選手として、第2学年の新人大会又は第3学年の総合体育大会で各地区のベスト4以上又は県大会出場以上 ②第3学年の全日本選手権ジュニアの部 各地区1次予選でベスト4以上 ③全日本卓球選手権カデットの部出場 ク <u>ソフトテニス</u> 次の①～③のいずれかの成績を残した者 ①レギュラー選手として、第2学年の新人大会又は第3学年の総合体育大会で各地区のベスト4以上又は県大会出場以上 ②第2学年のときに県選抜選手に選出 ③JOC ジュニアオリンピック大会出場 ケ <u>剣道</u> 次の①～⑤のいずれかの成績を残した者 ①レギュラー選手として、第2学年の新人大会又は第3学年の総合体育大会で各地区のベスト4以上又は県大会出場以上 ②第3学年の県少年剣道選手権大会でベスト8以上 ③全国道場少年剣道選手権大会出場 ④レギュラー選手として、第3学年の県中学生剣道団体選手権大会I部でベスト8以上 ⑤第2学年のときに県強化選手に選出 (次ページに続く)	500	600	100			1200

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
下妻 第一	普通	10%		(前ページからのつづき) コ <u>水泳</u>(リレー種目を除く) 次の①②のいずれかの成績を残した者 ①第2学年の新人大会又は第3学年の総合体育大会で県大会ベスト8以上 ②JOC ジュニアオリンピック大会出場 ※レギュラー選手とは、「当該大会において、選手登録されて先発出場した選手、途中出場であってもチームの主力として競技した選手」とする。	500	600	100			1200
下妻 第二	普通	15%		次のア、イの要件をともに満たす者とする。(ただし、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、大会等の中止や出場できない地域・学校が出た場合にあっては、大会等の実績は「出願要件」にしない。) ア <u>野球(男)、サッカー(男)、バレーボール(女)、バスケットボール、卓球、陸上競技、剣道、ソフトボール(女)、ソフトテニス(女)</u>のうち、いずれかの活動において、中学校の部活動又は地域のクラブチームに所属して3年間積極的に取り組み、レギュラー選手として活躍した者。 ※「レギュラー選手として活躍した者」とは、学年を問わず、次のいずれかに該当する者をいう。 (ア)中体連主催の大会あるいはそれに準ずる大会(下記)において選手登録され、スターティングメンバーとして、あるいは途中出場であってもチームの主力メンバーとして、試合に出場している者。 (イ)地区以上の選抜選手。 「準ずる大会」は次のとおりとする。 ・野球(男): 中学校部活動(全日本少年春季軟式野球大会、全国中学校軟式野球大会、北関東中学野球大会、為桜大会、茨城県選抜中学野球大会、全国中学生都道府県対抗野球大会(K ボール大会)、全日本少年軟式野球大会(関東予選含む)) シニアリーグ(関東連盟春季大会(東関東支部予選を含む)、関東連盟秋季大会(東関東支部予選を含む)、日本選手権大会(東関東支部予選を含む)、全国選抜大会(東関東支部予選を含む)、全日本中学野球選手権ジャイアンツカップ、全日本中学野球選手権関東ブロックジャイアンツカップ、(ノーブルホーム旗)茨城県中学硬式野球選手権大会) (次ページに続く)	500	350	50			900

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
下妻 第二	普通	15%		(前ページからのつづき) ボーイズリーグ(関東大会、春季全国大会(茨城県支部予選会含む)、選手権大会(茨城県支部予選会含む)、関東ボーイズリーグ大会、東日本選抜大会(茨城県支部予選会含む)、全日本中学野球選手権ジャイアンツカップ、全日本中学野球選手権関東ブロックジャイアンツカップ、(ノーブルホーム旗)茨城県中学硬式野球選手権大会) ヤングリーグ(選手権大会(東関東支部予選を含む)、ヤングリーグ中学部春季大会(東関東支部予選を含む)、グランドチャンピオン大会、春季関東大会、東日本秋季大会、全日本中学野球選手権ジャイアンツカップ、全日本中学野球選手権関東ブロックジャイアンツカップ、(ノーブルホーム旗)茨城県中学硬式野球選手権大会) ポニーリーグ(全日本選手権大会(関東予選を含む)、全日本選抜中学硬式野球大会(関東予選を含む)、全日本コルトリーグ中学野球選手権大会(関東予選を含む)、全日本中学野球選手権ジャイアンツカップ、全日本中学野球選手権関東ブロックジャイアンツカップ、(ノーブルホーム旗)茨城県中学硬式野球選手権大会) ・サッカー(男):IFA リーグ(U-15)、関東クラブユースサッカー選手権(U-15)茨城県大会 ・バレーボール(女):水戸ライオンズクラブ・茨城新聞社杯茨城県中学校男女バレーボール新人大会(県オープン) ・バスケットボール:毎日・茨城杯中学生バスケットボール大会、茨城県 U15 クラブバスケットボール選手権大会、茨城県 U15 バスケットボール選手権兼 Jr. ウィンターカップ全国 U15 バスケットボール選手権大会茨城県予選会 ・卓球:全日本卓球選手権大会ジュニアの部茨城県予選会 ・陸上競技:茨城県陸上競技選手権大会 ・剣道:茨城県少年剣道選手権大会兼全国予選(個人)、茨城県少年剣道選手権大会兼全国予選(団体)、全国スポーツ少年団剣道交流大会茨城県大会(個人) ・ソフトボール(女):茨城県中学生ソフトボール選手権大会兼全日本中学生女子ソフトボール大会予選会 ・ソフトテニス(女):茨城県中学校選抜インドアソフトテニス大会 イ 本校入学後も、出願要件を満たし出願した種目と同一の部活動に所属し、活動を継続する意志のある者。	500	350	50			900

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
結城 第一	普通			特色選抜は実施しない。						
鬼怒 商業	商業に関する学科	20%		次のア、イ、ウ、エのいずれかの要件を満たす者 ア <u>野球(男)、バレーボール、サッカー(男)、バドミントン、柔道</u>において、中学校の部活動又は地域のクラブチームに所属して3年間積極的に取り組んだ者で、本校入学後も同一の部活動に所属し、3年間活動する意志のある者 イ 中学校の何らかの運動部又は地域の何らかのスポーツ競技のクラブチームに所属して3年間積極的に取り組んだ者で、本校入学後に上記アの部活動に所属し、3年間活動する意志のある者 ウ 中学校において<u>国語的分野、数的分野、外国語的分野、芸術、珠算、パソコン等</u>の外部主催の大会・コンクール等で入賞等の実績を残した者 ※<u>国語的分野</u>とは、作文、読書感想文、短歌、俳句等をいう ※<u>数的分野</u>とは、統計グラフ等をいう ※<u>外国語的分野</u>とは、スピーチコンテスト、インタラクティブフォーラム等をいう エ 中学校において<u>生徒会本部役員</u>を経験し、リーダーシップを発揮した者で、本校の生徒会活動の活性化に積極的に貢献する意志のある者	500	400	100			1000
石下 紫峰	普通			特色選抜は実施しない。						
水海道 第一	普通	10%		次のアの要件を満たす者 ア <u>野球(男)、サッカー(男)、バスケットボール、ハンドボール、バドミントン</u>のうち、いずれかの種目において中学校の部活動又は地域のクラブチームに所属して積極的に取り組み、以下のいずれかの実績を残して、本校入学後も同一の種目を継続する意志のある者 ・中体連主催の地区大会(県西・県南大会等)に団体戦(登録選手)あるいは個人戦で出場し、4位以上の成績を残した者 ・中体連主催の県大会、又はそれに相当する大会に団体戦(登録選手)あるいは個人戦で出場し、活躍した実績を持つ者 ・当該種目の県・地区(県西・県南地区等)強化指定選手・優秀選手・選抜選手であった者 (次ページに続く)	500	600	100			1200

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
水海道 第一	普通	10%		(前ページからのつづき) ※それに相当する大会 ・<u>野球(男)</u> 県選抜野球大会 全日本中学野球選手権ジャイアンツカップ 全日本中学野球選手権ジャイアンツカップ茨城県予選大会 日本リトルシニア中学硬式野球協会(シニアリーグ) 全国選抜大会 関東連盟秋季大会 関東連盟春季大会 日本選手権大会 関東連盟夏季大会(3回戦進出以上) 日本少年野球連盟(ボーイズリーグ) 春季全国大会 選手権大会 関東大会 東日本選抜大会 全日本少年硬式野球連盟(ヤングリーグ) 春季大会 選手権大会 グランドチャンピオン大会 支部予選を経た連盟主催の関東大会 日本ポニーベースボール協会(ポニーリーグ) 全日本選抜中学野球選手権大会 全日本選手権大会 全日本コルトリグ中学野球選手権大会 関東連盟春季・秋季大会(ベスト8以上) ・<u>サッカー(男)</u> 日本クラブユースサッカー選手権茨城県大会U-15(ベスト8以上) 高円宮杯JFA U-15 サッカーリーグ兼JFAリーグU-15(1部および2部リーグ) 県・地区(県西・県南等)トレーニングセンター選抜選手(U-15選抜選手) (次ページにつづく)	500	600	100			1200

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
水海道 第一	普通	10%		(前ページからのつづき) ・ <u>バスケットボール</u> 毎日・茨城杯茨城県 U14 バスケットボール大会(ベスト32以上) 茨城県U15バスケットボール選手権大会(決勝トーナメント進出) U15クラブバスケットボール選手権大会(決勝トーナメント進出) ・ <u>ハンドボール</u> JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会とその関東大会 春の全国中学生選手権大会	500	600	100			1200
水海道 第二	普通	20%		次のア又はイの要件を満たす者 ア <u>野球(男)</u> において、中学校の部活動又は地域のクラブチームに所属して3年間 熱心に取り組み、郡市以上の大会又はそれに相当する大会にレギュラー選手とし て出場した実績を有し、本校入学後も同一の部活動を継続する意志のある者 ※「それに相当する大会」とは、以下の協会または連盟に加入する野球のクラブチー ムによる県以上の大会とする。 ・全日本リトル協会(シニアリーグ) ・日本少年野球協会(ボーイズリーグ) ・全日本少年硬式野球連盟(ヤングリーグ) ・日本ポニーベースボール協会(ポニーリーグ) ・日本中学生野球連盟 イ <u>ハンドボール(女)</u> 、 <u>バスケットボール(女)</u> 、 <u>バレーボール(女)</u> において、中学校 の部活動に所属して3年間熱心に取り組み、郡市以上の大会にレギュラー選手とし て出場した実績を有し、本校入学後も同一の部活動を継続する意志のある者 ※「レギュラー選手」とは大会の登録選手とする。	500	300	100			900
	商業	20%								
	家政	25%								
八千代	総合学科	8%		次のア又はイの要件を満たし、かつウに定める要件を満たす者 ア 次の種目のいずれかの活動において、中学校の運動部又は地域のクラブチー ム等に所属して3年間積極的に取り組み、活躍した者 <u>ソフトテニス、柔道、サッカー(男)、野球(男)、バスケットボール(女)</u> イ <u>吹奏楽部</u> の活動において、中学校の部活動に所属して3年間積極的に取り組 み、活躍した者 ウ 本校入学後も同一の部活動を3年間継続する意欲のある者	500	300	100			900

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
古河 第一	普通	特色選抜は実施しない。								
	商業に関する学科	25%		次のア、イのいずれかの要件を満たす者 ア <u>野球(男)、サッカー(男)、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、ソフトテニス、卓球、空手道、柔道</u>のうち、いずれかの活動において、中学校の部活動または地域のクラブチームに所属し、3年間積極的に取り組んだ者で、全国大会・関東大会・県大会・地区大会・郡市大会またはこれに準ずる大会※1にレギュラー選手として出場またはレギュラー選手として登録※2した実績を持ち、本校入学後も同一の部活動に所属し、3年間活動する意志のある者 ※1 「これに準ずる大会」は、次の大会とする。 ・野球 シニアリーグ、ポニーリーグ、ボーイズリーグ、ヤングリーグ ・サッカー IFAリーグ兼高円宮杯、クラブユース選手権大会 ・バレーボール 全国都道府県対抗バレーボール大会 ・空手道 各会派大会 ・柔道 全日本カデット、全日本関東ジュニア ※2 「レギュラー選手として出場またはレギュラー選手として登録」とは、競技別に以下の者とする。 ・野球(男) 上記大会の試合に出場または選手登録をした実績のある選手(強化選手または選抜選手を含む。) ・サッカー(男) 上記大会の試合に出場または選手登録をした実績のある選手(強化選手または選抜選手を含む。) ・バスケットボール 上記大会の試合に出場または選手登録をした実績のある選手(強化選手または選抜選手を含む。) ・バレーボール 上記大会の試合に出場または選手登録をした実績のある選手(強化選手または選抜選手を含む。) ・バドミントン 団体戦において上記大会の試合に出場または選手登録をした実績のある選手、または個人戦において地区大会以上に出場した実績のある選手(強化選手または選抜選手を含む。) (次ページにつづく)	500	155	45			700

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
古河 第一	商業に関 する学科	25%		(前ページからのつづき) ・ソフトテニス 団体戦において上記大会の試合に出場または選手登録をした実績のある選手、または個人戦において地区大会以上に出場した実績のある選手(強化選手または選抜選手を含む。) ・卓球 団体戦において上記大会の試合に出場または選手登録をした実績のある選手、または個人戦において地区大会以上に出場した実績のある選手(強化選手または選抜選手を含む。) ・空手道 団体戦において上記大会の試合に出場または選手登録をした実績のある選手、または個人戦において地区大会以上に出場した実績のある選手(強化選手または選抜選手を含む。) ・柔道 団体戦において上記大会の試合に出場または選手登録をした実績のある選手、または個人戦において地区大会以上に出場した実績のある選手(強化選手または選抜選手を含む。) イ 吹奏楽において、中学校の部活動に所属し、3年間積極的に活動した者で、吹奏楽連盟主催の全日本大会・東日本大会・東関東大会・県大会またはこれに準ずる大会※3に出場した実績を持ち、本校入学後も吹奏楽部に所属し、3年間活動する意志のある者 ※3「これに準ずる大会」とは、公益社団法人吹奏楽指導者協会主催ソロコンテストとする。	500	155	45			700
古河 第二	普通	13%		次のア、イの要件をともに満たす者 ア <u>ソフトボール(女)、バスケットボール、硬式野球(男)、サッカー(男)</u>のうち、いずれかの活動において、中学校の部活動又は地域のクラブチームに所属して3年間積極的に取り組み、レギュラー選手として活躍した者。 イ 本校入学後も、同一の種目を継続する意志のある者。 ※レギュラー選手とは、各種大会で選手登録され、ベンチ入りを経験した者	500	300	50			850
	福祉	特色選抜は実施しない。								

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
古河 第三	普通	7%		次のア、イ、ウ、エのいずれかの要件を満たし、本校入学後もその部活動に入部し、3年間意欲的に活動する強い意志のある者 ア <u>硬式野球(男)、サッカー(男)、バスケットボール</u>のいずれかの活動において、中学校の部活動又は地域のクラブチームに所属して 3 年間積極的に取り組み、中体連主催の郡市大会以上の大会又はこれに準ずる大会にレギュラー選手として出場した実績を有する者 ※「硬式野球(男)」における中学校の部活動は「軟式野球」である。 ※「これに準ずる大会」は、次の大会とする。 ・硬式野球(男) 日本リトルシニア中学硬式野球協会(シニア) 日本少年野球連盟(ボーイズ) 日本ポニーベースボール協会(ポニー) 全日本少年硬式野球連盟(ヤング) ・サッカー(男) IFA リーグ クラブユースサッカー選手権 ・バスケットボール 毎日・茨城杯中学校バスケットボール大会 イ <u>ソフトテニス</u>において、中学校の部活動又は地域のクラブチームに所属し 3 年間積極的に取り組み、中体連主催の県大会以上の大会又はこれに準ずる大会に団体戦のレギュラー選手又は個人戦で出場した実績を有する者又は県の強化指定選手に選ばれた者 ※「これに準ずる大会」は、次の大会とする。 都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会 中学校冬季選抜ソフトテニス県大会 ウ <u>陸上競技</u>において、中体連主催の県大会以上の大会に個人種目で出場した実績を有する者。 ※リレー種目・駅伝種目は除く。 (次ページにつづく)	500	600	100			1200

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
古河 第三	普通	7%		(前ページからのつづき) エ <u>吹奏楽</u> において、中学校の部活動に所属して3年間積極的に取り組み、吹奏楽コンクール県大会以上の大会又はこれに相当する大会に出場した実績を有する者。 ※「これに相当する大会」は、次の大会とする。 アンサンブルコンテスト県大会以上 ソロコンテスト県大会以上 日本管楽合奏コンテスト(日本音楽教育文化振興会主催)全国大会 ※上記ア・イにおけるレギュラーとは、途中出場も含め試合に出場した者とする。	500	600	100			1200
総和 工業	機械	15%		次のア～エのいずれかの要件を満たす者 ア <u>バスケットボール(男)</u> の活動において、中学校の部活動に所属し、3年間積極的に取り組み、各種大会に出場経験があり、本校入学後バスケットボール部(男)に入部し、3年間継続して活動する意志のある者 イ <u>サッカー(男)</u> の活動において、中学校の部活動または地域のクラブチームに所属し、3年間積極的に取り組み、各種大会に出場経験があり、本校入学後サッカー部(男)に入部し、3年間継続して活動する意志のある者 ウ <u>野球(男)</u> の活動において、中学校の部活動または地域のクラブチームに所属し、3年間積極的に取り組み、各種大会に出場経験があり、本校入学後野球部(男)に入部し、3年間継続して活動する意志のある者 エ ものづくりへの興味・関心と将来の夢をもち、本校入学後、 <u>自動車部</u> に入部し、電気自動車と省燃費競技車両製作等に携わり、レースにも積極的に参加し、3年間継続して活動する意志のある者	500	300	200			1000
	電子機械	15%								
	電気	15%								
三和	普通	特色選抜は実施しない。								
	(普)ヒューマンサービスコース	特色選抜は実施しない。								
境	普通	13%		次のア～オのいずれかの要件を満たし、本校入学後もその運動部に入部し、3年間意欲的に活動する強い意志のある者 ア <u>野球(男)</u> 次の①または②のいずれかの実績を持つ者。 ①中学校の部活動または地域のクラブチームに3年間所属し、下記の大会に出場した者。 ・中体連主催 地区(県西等)大会以上の大会 ・北関東大会、為桜大会 ・日本リトルシニア中学硬式野球協会(シニア)主催大会 ・日本少年野球連盟(ボーイズ)主催大会 (次ページにつづく)	500	315	85			900

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
境	普通	13%		(前ページからのつづき) ・日本ポニーベースボール協会(ポニー)主催大会 ・全日本少年硬式野球連盟(ヤング)主催大会 ②地区(県西等)または県選抜メンバーに選ばれた者。 イ サッカー(男) 次の①または②のいずれかの実績を持つ者。 ①中学校の部活動または地域のクラブチームに3年間所属し、下記の大会に出場した者。 ・中体連主催 地区(県西等)大会以上の大会 ・高円宮杯 U-15 サッカーリーグ(IFA リーグ) 1部、2部、3部 ・高円宮杯全日本ユースサッカー選手権 ・クラブユースサッカー選手権 U-14 1次リーグ、決勝トーナメント U-15 県大会、関東大会、全国大会 ②地区(県西等)または県選抜メンバーに選ばれた者(U-14・15 トレセン)。 ウ バスケットボール(男) 次の①または②のいずれかの実績を持つ者。 ①中学校の部活動に3年間所属し、下記の大会に出場した者。 ・中体連主催 地区(県西等)大会以上の大会 ②地区(県西等)または県選抜メンバーに選ばれた者。 エ 剣道 次の①または②のいずれかの実績を持つ者。 ①中学校の部活動または地域の道場に3年間所属し、下記の大会の団体戦または個人戦に出場した者。 ・中体連主催 地区(県西等)大会以上の大会 ・道場連盟主催大会 全国道場少年剣道大会 全国スポーツ少年団剣道交流大会 関東少年剣道錬成大会 ②地区(県西等)または県選抜メンバーに選ばれた者。 オ ソフトテニス(男) 次の①または②のいずれかの実績を持つ者。 ①中学校のソフトテニス部に3年間所属し、下記の大会の団体戦または個人戦に出場した者。 ・中体連ソフトテニス専門部主催 地区(県西等)大会以上の大会 ・茨城県ソフトテニス連盟公認大会 茨城県中学校選抜インドアソフトテニス大会 地区(県西等)予選会以上の大会 ②県選抜メンバーに選ばれた者。	500	315	85			900

全日制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
坂東 清風	総合学科	30%		次のア、イの要件をともに満たす者 ア <u>野球(男)、サッカー(男)、バスケットボール、ソフトテニス</u> のいずれかの活動において、中学校の部活動又は地域のクラブチームに所属し、積極的に取り組んだ者 イ 本校入学後は本校にある上記のいずれかの運動部に所属する意志のある者	500	300	100			900
	農と食	30%		次のア又はイのいずれかの要件を満たす者 ア 次の(ア)、(イ)の要件をともに満たす者 (ア) <u>野球(男)、サッカー(男)、バスケットボール、ソフトテニス</u> のいずれかの活動において、中学校の部活動又は地域のクラブチームに所属し、積極的に取り組んだ者 (イ)本校入学後は、本校にある上記のいずれかの運動部に所属する意志のある者 イ 次の要件を満たす者 農業に高い関心をもち、本校入学後は、 <u>学校農業クラブ(※)</u> 活動を積極的に行う意志のある者 ※ 農業に関する学科等で農業を学ぶ全国の高校生は、各都道府県の学校農業クラブ連盟に加入し、農業の学習を生かして、研究、競技、交流、発表などの活動に取り組んでいる。						
守谷	普通	25%		次のア又はイの要件を満たす者 ア 中学校の運動部または地域のクラブチームに所属し、3年間積極的に取り組んだ生徒で、本校入学後に、 <u>野球(男)、サッカー(男)、ラグビー(男)、剣道(女)、バスケットボール、ハンドボール、陸上、卓球</u> のうち、いずれかの部活動に所属し、3年間継続して活動する意志のある者 イ 中学校の <u>吹奏楽部</u> に所属して3年間活動し、本校に入学後も <u>吹奏楽部</u> を3年間継続する意志がある者	500	400	100			1000

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
伊奈	普通	15%		次のア～コのいずれかの要件を満たし、本校入学後も該当する下線部の部活動に入学し、3年間意欲的に活動する強い意志のある者。 ア <u>硬式野球部(男)</u> 次の①または②のいずれかの実績を持つ者。 ①中学校の何らかの運動部又は地域の何らかのスポーツ競技のクラブチームに所属して、中学校在学時の3年間継続して積極的にその活動に取り組んだ者。ただし、転校や部活動の新設・統廃合により本人の意志とは関わらない事由により継続できなかった者はこの限りではない。 ②硬式野球または軟式野球における各競技団体の強化指定選手・優秀選手・選抜選手に選ばれた者。 ・競技団体とは以下のとおりである。 日本リトルシニア中学硬式野球協会(シニアリーグ)、日本少年野球連盟(ボーイズリーグ)、全日本少年硬式野球連盟(ヤングリーグ)、日本ポニーベースボール協会(ポニーリーグ)、日本中学生野球連盟(KWBボール) イ <u>バスケットボール部</u> 中学校のバスケットボール部又は地域のバスケットボールのクラブチームに所属して、中学校在学時の3年間継続して積極的に取り組み、郡市大会または下記の大会以上の出場経験を有するもの。ただし、転校や部活動の新設・統廃合により本人の意志とは関わらない事由により継続できなかった者はこの限りではない。 ・中体連、体育協会、競技団体並びに市や町が主催又は共催する大会。なお広域市町村圏事務組合が主催している大会は市町主催とみなす。 ・競技団体とは以下のとおりである。 日本バスケットボール協会、茨城県バスケットボール協会 ウ <u>サッカー部(男)</u> 次の①または②のいずれかの実績を持つ者。 ①中学校のサッカー部又は地域のサッカーのクラブチームに所属して、中学校在学時の3年間継続して積極的に取り組み、郡市大会または下記の大会以上の出場経験を有するもの。ただし、転校や部活動の新設・統廃合により本人の意志とは関わらない事由により継続できなかった者はこの限りではない。 ・中体連、体育協会、競技団体並びに市や町が主催又は共催する大会。なお広域市町村圏事務組合が主催している大会は市町主催とみなす。 ・競技団体とは以下のとおりである。 日本サッカー協会、茨城県サッカー協会 ②サッカーにおける県・地区(県西等)トレーニングセンター選抜選手 (次ページにつづく)	500	400	100			1000

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
伊奈	普通	15%		(前ページからのつづき) エ <u>ハンドボール部</u> 次の①または②のいずれかの実績を持つ者。 ①中学校のハンドボール部又は地域のハンドボールのクラブチームに所属して、中学校在学時の3年間継続して積極的に取り組み、郡市大会または下記の大会以上の出場経験を有するもの。ただし、転校や部活動の新設・統廃合により本人の意志とは関わらない事由により継続できなかった者はこの限りではない。 ・中体連、体育協会、競技団体並びに市や町が主催又は共催する大会。なお広域市町村圏事務組合が主催している大会は市町主催とみなす。 ・競技団体とは以下のとおりである。 日本ハンドボール協会、茨城県ハンドボール協会 ②ハンドボールにおける地区(県西等)または県選抜メンバー・強化指定選手に選ばれた者。 オ <u>剣道部</u> 次の①または②のいずれかの実績を持つ者。 ①中学校の剣道部又は地域の剣道の道場等に所属して、中学校在学時の3年間継続して積極的に取り組み、郡市大会または下記の大会以上の出場経験を有するもの。 ただし、転校や部活動の新設・統廃合により本人の意志とは関わらない事由により継続できなかった者はこの限りではない。 ・中体連、体育協会、競技団体並びに市や町が主催又は共催する大会。なお広域市町村圏事務組合が主催している大会は市町主催とみなす。 ・競技団体とは以下のとおりである。 茨城県剣道連盟、茨城県剣道道場連盟 ②剣道における地区(県西等)または県選抜メンバー・強化指定選手に選ばれた者。 カ <u>陸上競技部</u> 次の①または②のいずれかの実績を持つ者。 ①中学校の何らかの運動部又は地域の何らかのスポーツ競技のクラブチームに所属して、中学校在学時の3年間継続して積極的にその活動に取り組み、陸上競技の郡市大会または下記の大会以上の種目の出場経験を有するもの。ただし、転校や部活動の新設・統廃合により本人の意志とは関わらない事由により継続できなかった者はこの限りではない。 ・中体連、体育協会、競技団体並びに市や町が主催又は共催する大会。なお広域市町村圏事務組合が主催している大会は市町主催とみなす。 ・競技団体とは以下のとおりである。 日本陸上競技連盟、茨城県陸上競技協会 ②陸上競技種目の地区(県西等)または県選抜メンバー・強化指定選手に選ばれた者。 (次ページにつづく)	500	400	100			1000

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
伊奈	普通	15%		(前ページからのつづき) キ <u>バドミントン部</u> 次の①または②のいずれかの実績を持つ者。 ①中学校のバドミントン部又は地域のバドミントンのクラブチームに所属して、中学校在学時の3年間継続して積極的に取り組み、郡市大会または下記の大会以上の出場経験を有するもの。ただし、転校や部活動の新設・統廃合により本人の意志とは関わらない事由により継続できなかった者はこの限りではない。 ・中体連、体育協会、競技団体並びに市や町が主催又は共催する大会。なお広域市町村圏事務組合が主催している大会は市町主催とみなす。 ・競技団体とは以下のとおりである。 日本バドミントン協会、茨城県バドミントン協会 ②バドミントンにおける地区(県西等)または県選抜メンバー・強化指定選手に選ばれた者。 ク <u>卓球部</u> 中学校の卓球部又は地域の卓球のクラブチームに所属して、中学校在学時の3年間継続して積極的に取り組み、郡市大会または下記の大会以上の出場経験を有する者。 ただし、転校や部活動の新設・統廃合により本人の意志とは関わらない事由により継続できなかった者はこの限りではない。 ・中体連、体育協会、競技団体並びに市や町が主催又は共催する大会。なお広域市町村圏事務組合が主催している大会は市町主催とみなす。 ・競技団体とは以下のとおりである。 日本卓球協会、茨城県卓球連盟 ケ <u>バレーボール部(男)</u> 次の①または②のいずれかの要件を満たす者。 ①中学校の何らかの運動部又は地域の何らかのスポーツ競技のクラブチームに所属して、中学校在学時の3年間継続して積極的にその活動に取り組んだ者。ただし、転校や部活動の新設・統廃合により本人の意志とは関わらない事由により継続できなかった者はこの限りではない。 ②バレーボールにおける地区(県西等)または県選抜メンバー・強化指定選手に選ばれた者。 コ <u>吹奏楽部</u> 中学校の吹奏楽部に所属して、中学校在学時の3年間継続して積極的に取り組み、下記団体が主催または共催する大会等で県大会以上の出場実績がある者。 ただし、転校や部活動の新設・統廃合により本人の意志とは関わらない事由により継続できなかった者はこの限りではない。 ・全日本吹奏楽連盟、茨城県吹奏楽連盟、日本吹奏楽指導者協会、日本吹奏楽学会、日本音楽教育文化振興会、日本吹奏楽普及協会	500	400	100			1000

定時制課程

学校名	学科名	募集人員 の割合	分野 (募集人員 の割合)	出願要件	選抜資料及び配点					
					学力 検査	調査 書	面接	作文	実技 検査	合計
高萩	普通(午前)			特色選抜は実施しない。						
	普通(午後)			特色選抜は実施しない。						
日立工業	総合学科			特色選抜は実施しない。						
太田第一	普通			特色選抜は実施しない。						
水戸農業	農業(昼間)			特色選抜は実施しない。						
水戸南	普通(昼間)			特色選抜は実施しない。						
	普通(夜間)			特色選抜は実施しない。						
I T 未来	I T (午前)	50% 以内		次の要件を満たす者 中学校時代に、探究活動に取り組んだ経験、又はIT関係のコンテスト(※1)に参加するために継続して取り組んだ経験を有し、本校入学後もIT関係の探究活動又はコンテスト(※2)に積極的に挑戦する意志のある者。 ※1 U-22 プログラミング・コンテスト、全国小中学生プログラミング大会、中高生国際Ruby プログラミングコンテスト等の各種プログラミングコンテスト、全国小・中学生作品コンクール[プログラミング部門]、アプリ甲子園など。ただし、タイピングのようなスキルを測るものは除く。 ※2 日本情報オリンピック、パソコン甲子園、中高生情報学研究コンテスト、日本学生科学賞、U-22 プログラミング・コンテスト、日本ゲーム大賞U18 部門、IBARAKI ドリーム・パス事業など。	700	200	200 注			1100
	I T (午後)									
鹿島灘	普通(午前)			特色選抜は実施しない。						
	普通(午後)			特色選抜は実施しない。						
	普通(夜間)			特色選抜は実施しない。						
土浦第一	普通			特色選抜は実施しない。						
石岡第一	普通			特色選抜は実施しない。						
竜ヶ崎第一	普通			特色選抜は実施しない。						
茎崎	普通(午前)			特色選抜は実施しない。						
	普通(午後)			特色選抜は実施しない。						
	普通(夜間)			特色選抜は実施しない。						
結城第二	普通(午前)			特色選抜は実施しない。						
	普通(午後)			特色選抜は実施しない。						
	普通(夜間)			特色選抜は実施しない。						
古河第一	普通			特色選抜は実施しない。						

注 IT未来高等学校は、面接に代えてプレゼンテーションを実施する。

I T科及び科学技術科における特定教科の傾斜配点（特色選抜）

学校名	課程	学科名	倍率		配点	
			数学	理科	数学	理科
I T未来	定時制	I T（午前）	2	2	200	200
		I T（午後）				
つくばサイエンス	全日制	科学技術	2	2	200	200

令和6年度茨城県立高等学校入学者選抜を実施する高等学校の連絡先一覧

学校番号	学校名	〒	所在地	TEL	課 程	
1	高萩高等学校	318-0034	高萩市高萩1111	0293-22-3161		定時制
2	高萩清松高等学校	318-0001	高萩市赤浜1864	0293-23-4121	全日制	
3	日立第一高等学校	317-0063	日立市若葉町3-15-1	0294-22-6488	全日制	
4	日立第二高等学校	317-0071	日立市鹿島町3-2-1	0294-22-3254	全日制	
5	日立工業高等学校	317-0077	日立市城南町2-12-1	0294-22-1049	全日制	定時制
6	多賀高等学校	316-0036	日立市鮎川町3-9-1	0294-33-0044	全日制	
7	日立商業高等学校	319-1222	日立市久慈町6-20-1	0294-52-4779	全日制	
8	日立北高等学校	319-1411	日立市川尻町6-11-1	0294-43-2101	全日制	
9	磯原郷英高等学校	319-1541	北茨城市磯原町磯原912	0293-42-0260	全日制	
10	太田第一高等学校	313-0005	常陸太田市栄町58	0294-72-2115	全日制	定時制
11	太田西山高等学校	313-0007	常陸太田市新宿町210	0294-72-2136	全日制	
12	大子清流高等学校	319-3526	久慈郡大子町大子224	0295-72-0079	全日制	
13	小瀬高等学校	319-2401	常陸大宮市上小瀬1881	0295-56-2204	全日制	
14	常陸大宮高等学校	319-2255	常陸大宮市野中町3257-2	0295-52-2175	全日制	
15	水戸第一高等学校	310-0011	水戸市三の丸3-10-1	029-224-2254	全日制	
16	水戸第二高等学校	310-0062	水戸市大町2-2-14	029-224-2543	全日制	
17	水戸第三高等学校	310-0011	水戸市三の丸2-7-27	029-224-2044	全日制	
18	緑岡高等学校	310-0852	水戸市笠原町1284	029-241-0311	全日制	
19	水戸農業高等学校	311-0114	那珂市東木倉983	029-298-6266	全日制	定時制
20	水戸工業高等学校	310-0836	水戸市元吉田町1101	029-247-5711	全日制	
21	水戸商業高等学校	310-0036	水戸市新荘3-7-2	029-224-4402	全日制	
22	水戸南高等学校	310-0804	水戸市白梅2-10-10	029-247-6173		定時制
23	水戸桜ノ牧高等学校	310-0914	水戸市小吹町2070	029-243-3644	全日制	
23-1	水戸桜ノ牧高等学校常北校	311-4306	東茨城郡城里町春園1634	029-288-2028	全日制	
25	勝田工業高等学校	312-0016	ひたちなか市松戸町3-10-1	029-272-4351	全日制	
26	佐和高等学校	312-0061	ひたちなか市稲田636-1	029-285-1819	全日制	
27	那珂湊高等学校	311-1224	ひたちなか市山ノ上町4-6	029-262-2642	全日制	
28	海洋高等学校	311-1214	ひたちなか市和田町3-1-26	029-262-2525	全日制	
29	笠間高等学校	309-1611	笠間市笠間1668	0296-72-1171	全日制	
31	I T未来高等学校	309-1738	笠間市大田町352-15	0296-77-7676		定時制
32	大洗高等学校	311-1311	東茨城郡大洗町大貫町2908	029-267-6666	全日制	
33	東海高等学校	319-1112	那珂郡東海村村松771-1	029-282-7501	全日制	
34	茨城東高等学校	311-3157	東茨城郡茨城町小幡2524	029-292-6245	全日制	
35	那珂高等学校	311-0111	那珂市後台1710-1	029-295-2710	全日制	
36	鉾田第一高等学校	311-1517	鉾田市鉾田1090-2	0291-33-2161	全日制	
37	鉾田第二高等学校	311-1517	鉾田市鉾田1158	0291-33-2171	全日制	
38	玉造工業高等学校	311-3501	行方市芹沢1552	0299-55-0138	全日制	
39	麻生高等学校	311-3832	行方市麻生1806	0299-72-0098	全日制	
40	潮来高等学校	311-2448	潮来市須賀3025	0299-66-2142	全日制	
41	鹿島高等学校	314-0038	鹿嶋市城山2-2-19	0299-82-1903	全日制	
42	鹿島灘高等学校	311-2207	鹿嶋市志崎121	0299-69-2511		定時制
43	神栖高等学校	314-0125	神栖市高浜1468	0299-92-4169	全日制	
44	波崎高等学校	314-0343	神栖市土合本町2-9928-1	0479-48-0044	全日制	
45	波崎柳川高等学校	314-0252	神栖市柳川1603-1	0479-46-2711	全日制	

学校番号	学校名	〒	所在地	TEL	課 程	
46	土浦第一高等学校	300-0051	土浦市真鍋4-4-2	029-822-0137	全日制	定時制
47	土浦第二高等学校	300-0041	土浦市立田町9-6	029-822-5027	全日制	
48	土浦第三高等学校	300-0835	土浦市大岩田1599	029-821-1605	全日制	
49	土浦工業高等学校	300-0051	土浦市真鍋6-11-20	029-821-1953	全日制	
50	土浦湖北高等学校	300-0021	土浦市菅谷町1525-1	029-831-4170	全日制	
51	石岡第一高等学校	315-0001	石岡市石岡1-9	0299-22-4135	全日制	定時制
52	石岡第二高等学校	315-0013	石岡市府中5-14-14	0299-23-2101	全日制	
53	石岡商業高等学校	315-0033	石岡市東光台3-4-1	0299-26-4138	全日制	
54	中央高等学校	319-0133	小美玉市張星500	0299-46-1321	全日制	
55	竜ヶ崎第一高等学校	301-0844	龍ヶ崎市平畑248	0297-62-2146	全日制	定時制
56	竜ヶ崎第二高等学校	301-0834	龍ヶ崎市古城3087	0297-62-3078	全日制	
57	竜ヶ崎南高等学校	301-0021	龍ヶ崎市北方町120	0297-64-2167	全日制	
58	江戸崎総合高等学校	300-0504	稲敷市江戸崎甲476-2	029-892-2103	全日制	
59	取手第一高等学校	302-0013	取手市台宿2-4-1	0297-72-1348	全日制	
60	取手第二高等学校	302-0005	取手市東2-5-1	0297-73-0049	全日制	
61	取手松陽高等学校	302-0001	取手市小文間4770	0297-77-8934	全日制	
62	藤代高等学校	300-1537	取手市毛有640	0297-82-6283	全日制	
63	藤代紫水高等学校	300-1508	取手市紫水1-660	0297-83-6427	全日制	
64	牛久高等学校	300-1204	牛久市岡見町2081-1	029-873-6220	全日制	
65	牛久栄進高等学校	300-1201	牛久市東端穴町876	029-843-3110	全日制	
66	筑波高等学校	300-4231	つくば市北条4387	029-867-0041	全日制	
67	竹園高等学校	305-0032	つくば市竹園3-9-1	029-851-7515	全日制	
69	つくばサイエンス高等学校	305-0861	つくば市谷田部1818	029-836-1441	全日制	
70	茎崎高等学校	300-1272	つくば市茎崎447-8	029-876-3778		定時制
71	岩瀬高等学校	309-1294	桜川市岩瀬1511-1	0296-75-2475	全日制	
72	真壁高等学校	300-4417	桜川市真壁町飯塚210	0296-55-3715	全日制	
73	下館第一高等学校	308-0825	筑西市下中山590	0296-24-6344	全日制	
74	下館第二高等学校	308-0051	筑西市岡芹1-37	0296-22-5361	全日制	
75	下館工業高等学校	308-0847	筑西市玉戸1336-111	0296-22-3632	全日制	
76	明野高等学校	300-4515	筑西市倉持1176-1	0296-52-3121	全日制	
77	下妻第一高等学校	304-0067	下妻市下妻乙226-1	0296-44-5158	全日制	
78	下妻第二高等学校	304-0067	下妻市下妻乙347-8	0296-44-2549	全日制	
79	結城第一高等学校	307-0001	結城市結城1076	0296-33-2141	全日制	
80	結城第二高等学校	307-0001	結城市結城7355	0296-33-2195		定時制
81	鬼怒商業高等学校	307-0011	結城市小森1513-2	0296-32-3322	全日制	
82	石下紫峰高等学校	300-2706	常総市新石下1192-3	0297-42-3118	全日制	
83	水海道第一高等学校	303-0025	常総市水海道亀岡町2543	0297-22-0029	全日制	
84	水海道第二高等学校	303-0003	常総市水海道橋本町3549-4	0297-22-1330	全日制	
85	八千代高等学校	300-3561	結城郡八千代町平塚4824-2	0296-48-1836	全日制	
86	古河第一高等学校	306-0012	古河市旭町2-4-5	0280-32-0434	全日制	定時制
87	古河第二高等学校	306-0024	古河市幸町19-18	0280-32-0444	全日制	
88	古河第三高等学校	306-0054	古河市中田新田12-1	0280-48-2755	全日制	
89	総和工業高等学校	306-0211	古河市葛生1004-1	0280-92-0660	全日制	
90	三和高等学校	306-0123	古河市五部54-1	0280-76-4959	全日制	
91	境高等学校	306-0433	猿島郡境町175	0280-87-0123	全日制	
92	坂東清風高等学校	306-0631	坂東市岩井4319-1	0297-35-1667	全日制	
93	守谷高等学校	302-0107	守谷市大木70	0297-48-6409	全日制	
94	伊奈高等学校	300-2341	つくばみらい市福田711	0297-58-6175	全日制	

お問い合わせ先

茨城県教育庁 学校教育部高校教育課
高校教育改革推進室（入試制度改革担当）

〒309-1722 茨城県笠間市平町1410 教育研修センター内

電話：0296-78-2124

Email:kokyo2@pref.ibaraki.lg.jp

県立高校入試情報はこちら

<https://kyoiku.pref.ibaraki.jp/gakko/nyushi/highschool/>
高等学校入学者選抜についてのQ & Aも掲載していますので、
ご覧ください。

